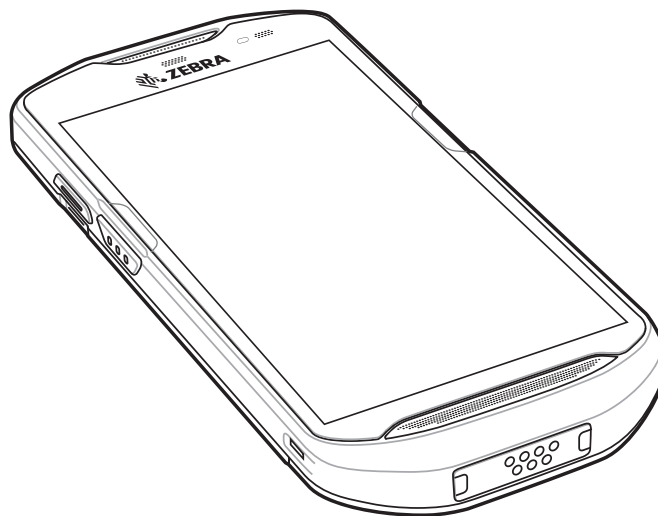


# TC56

タッチ コンピュータ



**ZEBRA**

**ユーザー ガイド**  
Android™ 7.1.2 Nougat  
向け

## 著作権

©2020 ZIH Corp. および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

著作権および商標：著作権および商標の詳細情報については、[www.zebra.com/copyright](http://www.zebra.com/copyright) を参照してください。

保証：保証に関する詳細情報については、[www.zebra.com/warranty](http://www.zebra.com/warranty) を参照してください。

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約：EULA の詳細情報については、[www.zebra.com/eula](http://www.zebra.com/eula) を参照してください。

## 使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を認めています。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者への開示を行うことは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。仕様および設計は、すべて予告なしに変更されることがあります。

- 免責条項

Zebra Technologies は、一定の手続きを通じて、公開したエンジニアリングの仕様とマニュアルが適正であることを確認しています。ただし、エラーが発生する可能性は皆無ではありません。Zebra Technologies は、かかるエラーを修正する権利を留保し、それに起因する責任は負わないものといたします。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の管轄区域では、付随的または間接的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

## 改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2017 年 11 月	初期リリース
-02 改訂版 A	2018 年 9 月	クリーニング手順を更新してください。
-04 改訂版 A	2020 年 1 月	バッテリー更新

# 目次

著作権 .....	2
使用の条件 .....	2
改訂版履歴 .....	2
このガイドについて .....	
はじめに .....	11
マニュアル セット .....	11
構成 .....	11
ソフトウェア バージョン .....	12
章の説明 .....	12
表記規則 .....	13
関連文書 .....	13
サービスに関する情報 .....	13
マニュアルに関するフィードバック .....	14
ご使用の前に .....	
はじめに .....	15
パッケージの開梱 .....	15
機能 .....	16
設定 .....	18
microSD カードの取り付け .....	18
SIM カードの取り付け .....	21
バッテリーの取り付け .....	23
バッテリーの充電 .....	24
充電インジケータ .....	25
Google アカウント設定 .....	25
バッテリーの交換 .....	25
microSD カードの交換 .....	27
SIM カードの交換 .....	28
デバイス設定へのアクセス .....	30
バッテリー管理 .....	31
バッテリー使用量の監視 .....	31
低バッテリー通知 .....	32
バッテリー最適化 .....	32
無線通信をオフにする .....	32
日付と時刻の設定 .....	33

ディスプレイの設定 .....	33
画面の輝度の設定 .....	33
画面回転の設定 .....	33
ホーム画面回転の設定 .....	34
画面のタイムアウトの設定 .....	34
フォント サイズの設定 .....	35
周辺光で調整されるディスプレイ (Ambient Display) .....	35
タッチ パネル モード .....	35
通知 LED の設定 .....	36
[Cast] (キャスト) .....	36
一般的なサウンド設定 .....	37
ウェイクアップ ソース .....	39
 <b>TC56 の使用</b>	
はじめに .....	40
Google モバイル サービス .....	40
ホーム画面 .....	41
ステータス バー .....	42
ステータス アイコン .....	42
通知アイコン .....	44
通知の管理 .....	44
アプリケーション通知の設定 .....	45
全アプリの通知設定の表示 .....	46
ロック画面の通知の制御 .....	46
クイック アクセス パネル .....	46
クイック設定のアイコンの編集 .....	47
アプリケーション ショートカットとウィジェット .....	48
アプリケーションをホーム画面に追加する .....	48
ホーム画面にウィジェットを追加する .....	48
ホーム画面での項目の移動 .....	48
アプリケーション ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する .....	49
フォルダ .....	49
フォルダの作成 .....	49
フォルダの名前付け .....	49
フォルダの削除 .....	49
ホーム画面の壁紙 .....	49
タッチスクリーン の使用方法 .....	50
キーボード .....	50
テキストの編集 .....	50
数字、記号、および特殊文字の入力 .....	50
キーボードの設定 .....	51
AOSP キーボード .....	51
GMS キーボード .....	51
非通知機能 .....	51
音と振動の制限 .....	51
完全非通知 .....	51
アラームのみ .....	52
優先通知のみ .....	52
音と振動の自動的なブロック .....	53
一定時間での音のミュート .....	53



イベントおよび会議でのミュート .....	53
サウンドをオンに戻す .....	54
特定アプリの非通知の上書き .....	54
アプリケーション .....	54
アプリケーションへのアクセス .....	58
最近使用したアプリケーションの切り替え .....	58
画面のロック解除 .....	59
デバイスのリセット .....	63
ソフト リセットの実行 .....	63
ハード リセットの実行 .....	63
サスペンド モード .....	64
USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する .....	65
メディア転送プロトコルを使用してファイルを転送する .....	65
写真転送プロトコルを使用してファイルを転送する .....	66
ホスト コンピュータから切断する .....	66
<b>通話</b> .....	
はじめに .....	67
緊急通話 .....	67
音声モード .....	67
Bluetooth ヘッドセットの使用 .....	67
有線ヘッドセットの使用 .....	68
音量の調節 .....	68
ダイヤラを使用して電話をかける .....	69
ダイヤラのダイヤル オプション .....	71
連絡先を使用して電話をかける .....	72
ダイヤラの使用 .....	72
連絡先アプリケーションの使用 .....	73
通話履歴を使用して電話をかける .....	74
GSM で会議通話を確立する .....	75
Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける .....	78
通話への応答 .....	79
通話設定 .....	80
<b>アプリケーション</b> .....	
はじめに .....	82
ActiveEdge タッチ ゾーン .....	82
バッテリー マネージャ .....	86
Device Central .....	89
[Device Central] タブ .....	90
RS6000 リング スキャナの呼び出し .....	90
ファイル ブラウザ .....	92
メッセージング .....	94
テキスト メッセージの送信 .....	94
マルチメディア メッセージの送信 .....	94
連絡先 .....	96
連絡先の追加 .....	96
連絡先の編集 .....	96
連絡先の削除 .....	96

カメラ	97
写真の撮影	97
パノラマ写真の撮影	98
ビデオの録画	98
写真設定	99
ビデオの設定	101
ギャラリー	102
アルバムの処理	103
アルバムの共有	104
アルバム情報の取得	104
アルバムの削除	104
写真の処理	105
写真の表示およびブラウズ	105
写真のトリミング	106
連絡先アイコンとして写真を設定する	106
写真の共有	107
写真の削除	107
ビデオの処理	107
ビデオの再生	107
ビデオの共有	107
ビデオの削除	107
写真	109
アルバムの処理	110
アルバムの共有	111
アルバムの削除	111
写真の処理	112
写真の表示およびブラウズ	112
写真のトリミング	113
連絡先アイコンとして写真を設定する	113
写真の共有	114
写真の削除	114
ビデオの処理	114
ビデオの再生	114
ビデオの共有	114
ビデオの削除	114
DataWedge のデモンストレーション	115
サウンド レコーダ	117
PTT Express Voice Client	118
PTT 音声通知	118
通知アイコン	119
PTT 通信を有効にする	120
トーク グループの選択	120
PTT 通信	120
グループ通話の作成	121
プライベート応答での応答	121
PTT Express Voice Client 通信を無効にする	121
RxLogger	122
RxLogger ユーティリティ	123
診断ツール	124
設定	128
バッテリー テストの情報	128

GPS テスト情報 .....	129
システム テストの情報 .....	129
WLAN テストの情報 .....	129
WWAN テストの情報 .....	129
Bluetooth テストの情報 .....	130
<b>データ収集</b>	
はじめに .....	131
イメージング .....	131
動作モード .....	131
RS507 ハンズフリー イメージャ .....	132
RS6000 Bluetooth リング スキャナ .....	132
DS3678 デジタル スキャナ .....	132
スキャン操作に関する考慮事項 .....	133
内蔵イメージャを使用したバーコードのスキャン .....	133
RS6000 Bluetooth リング スキャナを使用したバーコード データの収集 .....	135
RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り .....	136
DS3678 Bluetooth スキャナを使用したバーコード データの収集 .....	137
RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング .....	139
Near Field Communication を使用してペアリングする .....	139
HID モードで Near Field Communication を使用してペアリングする .....	140
Simple Serial Interface を使用してペアリングする .....	141
Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする .....	142
DS3678 デジタル スキャナをペアリングする .....	142
Simple Serial Interface を使用してペアリングする .....	142
Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする .....	143
DataWedge .....	144
DataWedge を有効にする .....	144
DataWedge を無効にする .....	144
<b>無線</b>	
はじめに .....	145
無線ワイド エリア ネットワーク .....	145
モバイル データ接続の共有 .....	145
USB テザリング .....	145
Bluetooth テザリング .....	146
ポータブル Wi-Fi ホットスポット .....	146
携帯電話ネットワークの設定 .....	147
データローミングを無効にする .....	147
Preferred Network Type (優先ネットワーク タイプ) .....	148
Enhanced 4G LTE モード .....	148
マイクロセルの検索 .....	148
System Select (システム選択) .....	149
アクセス ポイント名の編集 .....	149
SIM カードのロック .....	149
データ使用量 .....	150
データ使用量の警告の設定 .....	151
データ制限の設定 .....	151
無線ローカル エリア ネットワーク .....	152

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続 .....	152
Wi-Fi ネットワークの削除 .....	154
Bluetooth .....	155
適応型周波数ホッピング .....	155
セキュリティ .....	155
Bluetooth プロファイル .....	156
Bluetooth の電源の状態 .....	156
Bluetooth 無線の電源 .....	157
Bluetooth を有効にする .....	157
Bluetooth を無効にする .....	157
Bluetooth デバイスを検出する .....	157
Bluetooth の名前の変更 .....	158
Bluetooth デバイスへの接続 .....	158
Bluetooth デバイスのプロファイル選択 .....	158
Bluetooth デバイスのペアリング解除 .....	158
Near Field Communications .....	159
NFC カードの読み取り .....	159
NFC を使用した情報の共有 .....	160
 アクセサリ .....	
はじめに .....	161
アクセサリ .....	161
1 スロット USB 充電クレードル .....	165
デバイスの充電 .....	165
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入 .....	166
バッテリーの充電 .....	167
充電温度 .....	167
4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き) .....	168
TC56 の充電 .....	168
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入 .....	170
バッテリーの充電 .....	170
メイン バッテリーの充電 .....	170
予備バッテリーの充電 .....	170
充電温度 .....	171
5 スロット充電専用クレードル .....	172
TC56 の充電 .....	172
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入 .....	173
バッテリーの充電 .....	174
充電温度 .....	174
5 スロット イーサネット クレードル .....	175
TC56 の充電 .....	175
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入 .....	176
バッテリーの充電 .....	176
充電温度 .....	177
イーサネット接続の確立 .....	177
LED インジケータ .....	177
4 スロット バッテリー充電器 .....	178
予備バッテリーの充電 .....	178
バッテリーの充電 .....	179
予備バッテリーの充電 .....	179

充電温度 .....	179
高耐久性ブーツ .....	180
取り付け .....	180
スタイラスペンの取り付け .....	181
クレードルで充電する .....	182
2.5 mm オーディオ アダプタ .....	184
3.5 mm オーディオ アダプタ .....	185
高耐久性充電 /USB ケーブル .....	186
TC56 への接続 .....	186
高耐久性ブーツを装着している TC56 への接続 .....	187
USB 通信 .....	188
デバイスの充電 .....	188
高耐久性充電 /USB ケーブルの取り外し .....	189
バッテリーの充電 .....	190
メイン バッテリーの充電 .....	190
充電温度 .....	190
トリガ ハンドル .....	191
高耐久性ブーツの取り付け .....	191
オプションのストラップの取り付け .....	193
トリガ ハンドルへのデバイスのセット .....	194
トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し .....	195
電源 .....	197
 メンテナンスとトラブルシューティング .....	
はじめに .....	198
TC56 の保守 .....	198
ディスプレイのベスト プラクティス .....	199
画像の残留 .....	199
バッテリーの安全に関するガイドライン .....	199
クリーニング方法 .....	200
使用可能な洗剤の活性成分 .....	200
有害成分 .....	200
クリーニング方法 .....	200
クリーニングの際の注意事項 .....	201
必要なクリーニング材料 .....	201
クリーニングの頻度 .....	201
TC56 のクリーニング .....	201
筐体 .....	201
ディスプレイ .....	201
カメラと出力ウィンドウ .....	201
コネクタのクリーニング .....	201
クレードルのコネクタのクリーニング .....	202
トラブルシューティング .....	203
TC56 .....	203
 技術仕様 .....	
はじめに .....	206
TC56 .....	206

**Index**

# このガイドについて

---

## はじめに

このガイドでは、TC56 モバイル コンピュータとアクセサリの使用方法について説明します。



注：このガイドで示している画面とウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際の画面と異なることがあります。

---

## マニュアル セット

TC56 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供しており、次のマニュアルで構成されています。

- TC56 Touch Computer Quick Start Guide - TC56 をはじめてお使いいただく方向けのクイック スタートガイドです。
- TC56 タッチ コンピュータ ユーザー ガイド (Android 向け) バージョン 7.1.2 - TC56 の使用方法について説明しています。
- TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2 - TC56 とアクセサリの設定方法について説明しています。


---

## 構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集 オプション	オペレーティング システム
TC56CJ	WLAN: 802.11 a/b/g/n/d/h/i/k/r WPAN: Bluetooth v4.1 Low Energy WWAN: HSPA+/ LTE/CDMA	5.0" High Definition (1280 x 720) LCD	2GB RAM/16GB フラッシュまた は 4GB RAM/32GB フラ ッシュ	2D イメージャ (SE-4710) お よび NFC 搭載	Android Open Source Project (AOSP) 7.1.2 また は Google™ モバ イル サービス (GMS) 7.1.2
TC56DJ	WLAN: 802.11 a/b/g/n/d/h/i/k/r WPAN: Bluetooth v4.1 Low Energy WWAN: HSPA+/ LTE	5.0" High Definition (1280 x 720) LCD	2GB RAM/16GB フラッシュまた は 4GB RAM/32GB フラ ッシュ	2D イメージャ (SE-4710) お よび NFC 搭載	Android Open Source Project (AOSP) 7.1.2 また は Google™ モバ イル サービス (GMS) 7.1.2

## ソフトウェア バージョン

現在のソフトウェア バージョンを確認するには、ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。

 **[About phone]** ( 電話機情報 ) をタッチします。

- **[Model number]** ( モデル番号 ) - モデル番号を表示します。
- **[Android version]** (Android バージョン) - オペレーティング システムのバージョン番号を表示します。
- **[Kernel version]** ( カーネル バージョン ) - カーネルのバージョン番号を表示します。
- **[Build number]** ( ビルド番号 ) - ソフトウェアのビルド番号を表示します。
- **[Serial number]** ( シリアル番号 ) - シリアル番号を表示します。

デバイスのシリアル番号を確認するには、 **[About phone]** ( 電話機情報 ) > **[Status]** ( ステータス ) をタッチします。

- **[Serial number]** ( シリアル番号 ) - シリアル番号を表示します。

## 章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **ご使用の前に**では、TC56 を初めて使用する際の手順について説明します。
- **TC56 の使用**では、TC56 の操作手順について説明します。
- **通話**では、音声通話の手順について説明します。
- **アプリケーション**では、TC56 にインストールされているアプリケーションの使用方法について説明します。



- **データ収集**では、イメージャを使用してバーコード データを収集する手順について説明します。
- **無線**では、さまざまな無線オプションについて説明します。
- **アクセサリ**では、TC56 用のアクセサリの使用方法について説明します。
- **メンテナンスとトラブルシューティング**では、クリーニングの手順と、TC56 の操作中に発生する問題に対するトラブルシューティング ソリューションについて説明します。
- **技術仕様**では、TC56 の技術仕様について説明します。

---

## 表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
  - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
  - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
  - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
  - 画面上のアイコン
  - キーボード上のキー名
  - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
  - 実行する操作
  - 代替方法のリスト
  - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (たとえば、順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

---

## 関連文書

- TC56 Touch Computer Quick Start Guide (p/n MN-002859-xx)
- TC56 Touch Computer Regulatory Guide (p/n MN002860-xx)
- TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2 (p/n MN002869-xx)
- RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide (p/n 72E-12082-xx)
- DS36X8 Product Reference Guide (p/n MN-002689-xx)
- RS6000 User Guide (MN-002704-xx)

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、次のサイトから入手可能です。[www.zebra.com/support](http://www.zebra.com/support)。

---

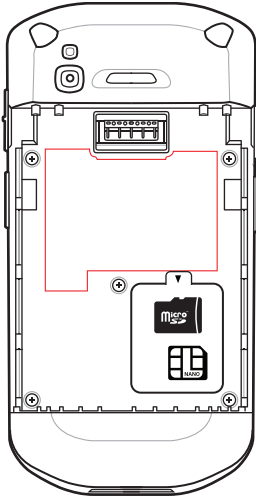
## サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当のカスタマー サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、次のサイトに記載されています。[www.zebra.com/support](http://www.zebra.com/support)。

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)

- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号
- IMEI 番号



カスタマー サポートは、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メール、または電話で回答を行います。

カスタマー サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。弊社は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。修理のために発送する際には、事前に SIM カードおよび / または microSD カードをデバイスから取り外してください。

ご使用の製品をビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

---

## マニュアルに関するフィードバック

このガイドについてのご意見、ご質問またはご提案がある場合は、[EVM-Techdocs@zebra.com](mailto:EVM-Techdocs@zebra.com) まで電子メールにてご連絡ください。

# ご使用前に

---

## はじめに

この章では、デバイスを初めて使用する際の手順について説明します。

---

## パッケージの開梱

1. TC56 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。
2. 次のものが含まれていることを確認します。
  - TC56 タッチ コンピュータ
  - $\geq 15.48$  ワット時 (一般) /  $\geq 4,150$  mAh PowerPercision+ リチウム イオン バッテリ
  - 規制ガイド
3. 機器に破損がないか確認してください。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
4. TC56 を初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

## 機能

図1 TC56 正面図

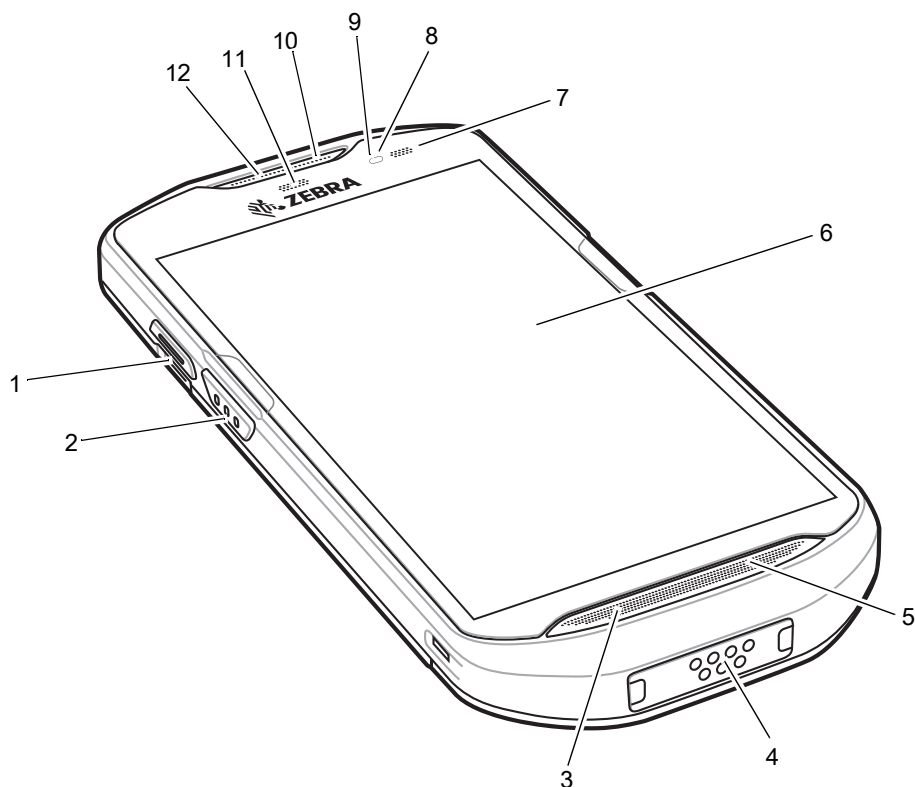


表1 正面図の機能

番号	項目	機能
1	PTT ボタン	プッシュトゥートーク通信を開始します (プログラム可能)。
2	スキャン ボタン	データの収集を開始します (プログラム可能)。
3	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。
4	インタフェース コネクタ	ホストとクライアントの USB 通信、ケーブルやアクセサリを使ったオーディオおよびデバイスの充電に使用します。 注意: 適切なデバイスシーリングを確保するために、インタフェースコネクタを取り外さないでください。
5	スピーカ	ビデオと音楽の再生にオーディオを出力します。スピーカーフォンモードで音声を出力します。
6	タッチ スクリーン	TC56 の操作に必要なすべての情報が表示されます。
7	充電 / 通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
8	光センサ	ディスプレイ バックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。

表 1 正面図の機能 (続き)

番号	項目	機能
9	近接センサ	ハンドセット モードでディスプレイをオフにする場合の近接状態を判別します。
10	マイク	スピーカーフォン モードでの通信に使用します。
11	データ収集 LED	データ収集ステータスを示します。
12	レシーバ	ハンドセット モードでのオーディオ再生に使用します。

図 2 TC56 背面図

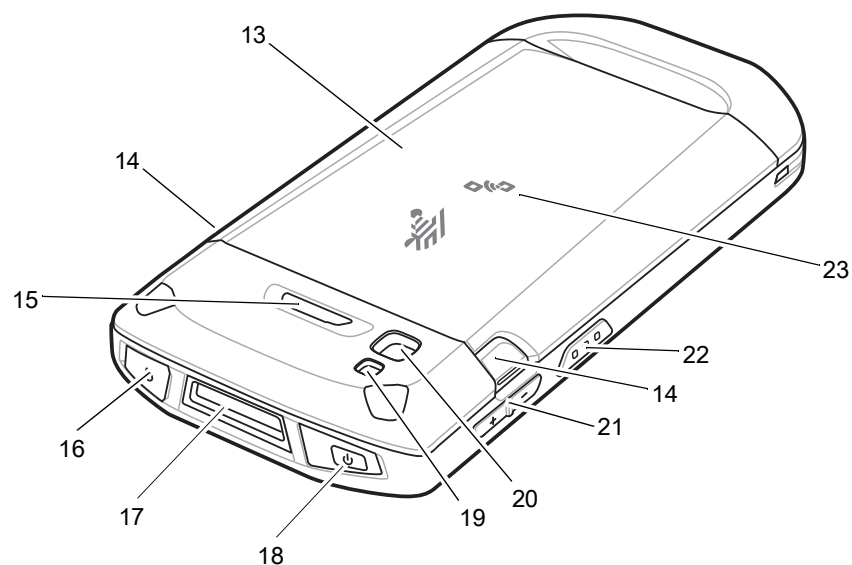


表 2 背面図の機能

番号	項目	機能
13	バッテリー	デバイスに電力を供給します。
14	バッテリー リリース ラッチ	押して、バッテリーを取り外します。
15	プログラム可能ボタン	プログラム設定できます。
16	ヘッドセット ジャック	ヘッドセットへの音声の出力に使用します。
17	スキャナ ウィンドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します。
18	電源ボタン	ディスプレイのオン/オフを切り替えます。ボタンを長押ししてリセット、電源オフまたはバッテリー交換を行います。
19	カメラ	写真やビデオを撮影します。
20	カメラ フラッシュ	カメラの照明に使用します。
21	音量上/下ボタン	オーディオの音量を上げたり下げたりします (プログラム可能)。
22	スキャン ボタン	データの収集を開始します (プログラム可能)。
23	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。

## 設定

この手順は、初めて TC56 を使用するときに行います。

1. micro Secure Digital (SD) カードを取り付けます (オプション)。
2. nano SIM カードを取り付けます (オプション)。
3. ハンドストラップを取り付けます (オプション)。
4. バッテリーを取り付けます。
5. TC56 を充電します。
6. TC56 の電源をオンにします。

### microSD カードの取り付け

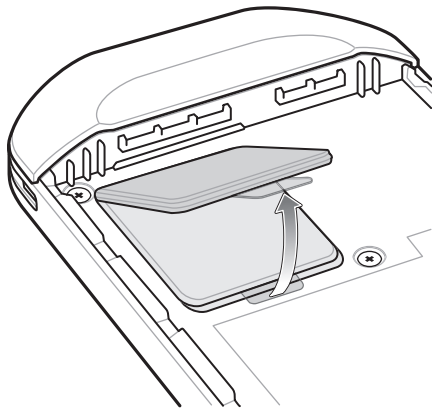
microSD カードをスロットに挿入すると、不揮発性のセカンダリストレージとして使用できます。スロットはバッテリーパックの下にあります。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。



注意: microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項をお守りください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

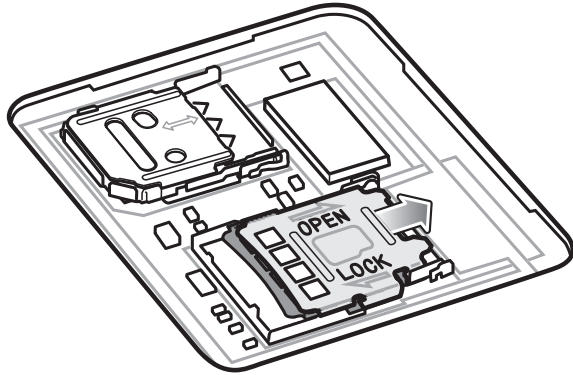
1. アクセスドアを持ち上げます。

図3 アクセスドアの持ち上げ



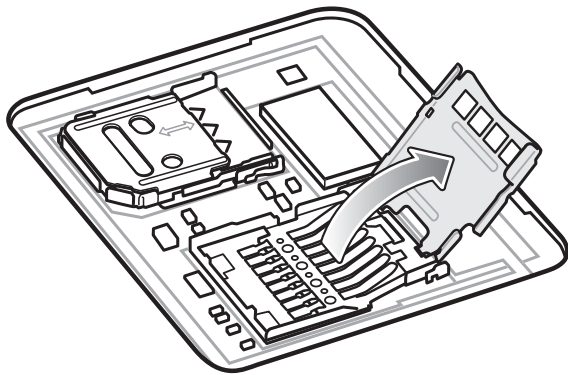
2. microSD カードホルダーをスライドさせて開きます。

図4 microSD カードホルダーを開く



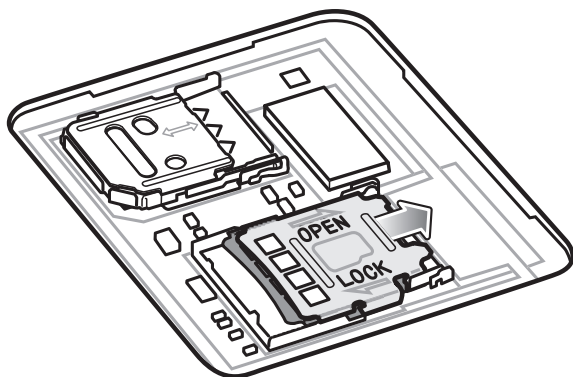
3. microSD カードホルダーを持ち上げます。

図5 microSD カードホルダーを持ち上げる



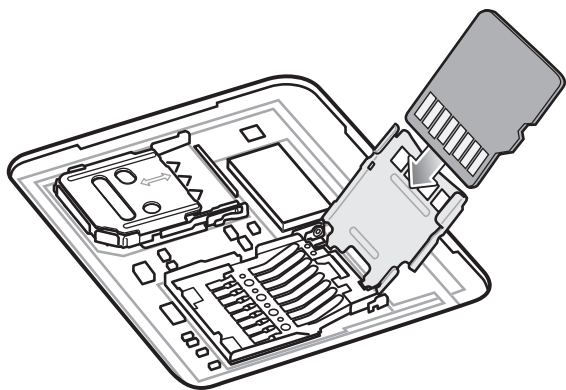
4. microSD カードをカードホルダー ドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

図6 SIM カードホルダーを持ち上げる



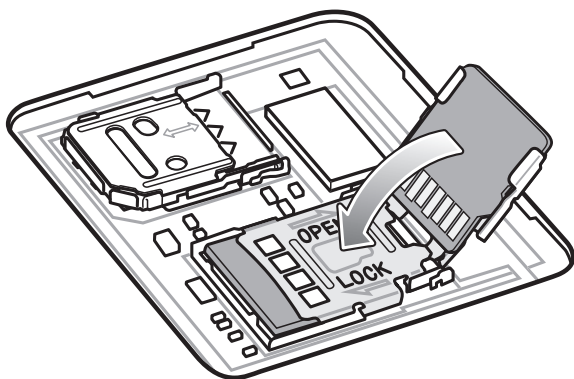
5. microSD カードをカードホルダー ドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

図7 microSD カードをホルダーに挿入する



6. microSD カードホルダーのドアを開じます。

図8 microSD カードをホルダーに挿入する



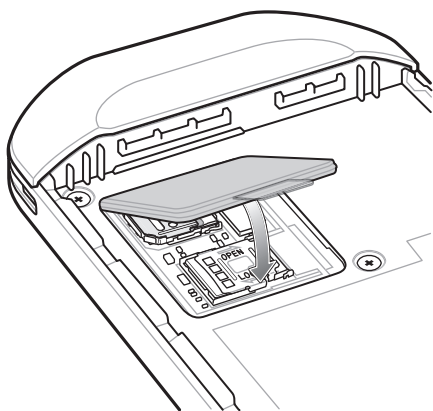
7. microSD カードホルダーのドアをスライドさせてロックします。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

8. アクセスドアを元に戻します。

図9 アクセスドアを元に戻す





## SIM カードの取り付け



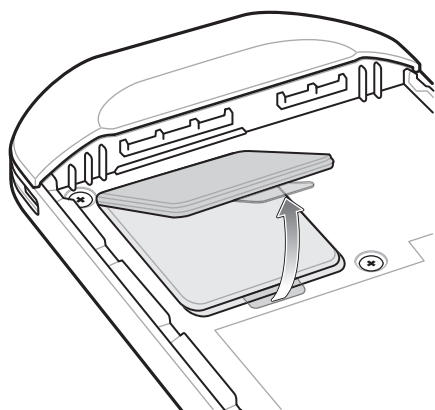
注: nano SIM カードのみを使用してください。



注意: SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項をお守りください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

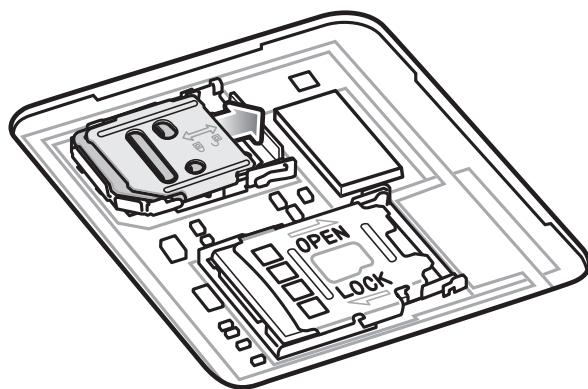
1. アクセス カバーを取り外します。

図 10 アクセス ドアの取り外し



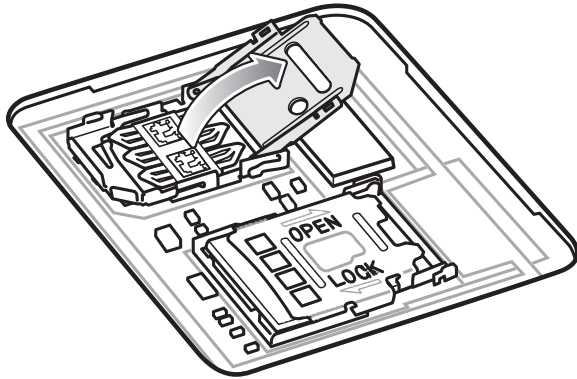
2. SIM カード ホルダーをスライドさせてロックを解除します。

図 11 SIM カード ホルダーのロック解除



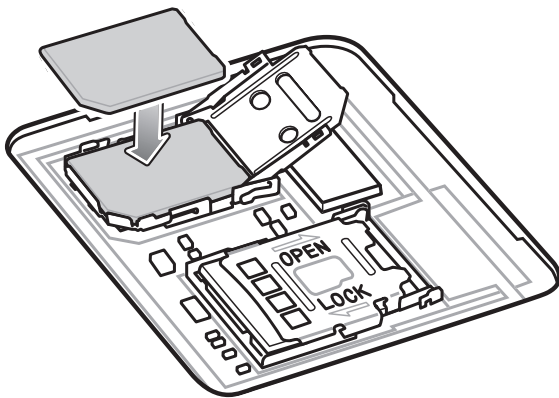
3. SIM カード ホルダーのドアを持ち上げます。

図12 SIM カード ホルダーを持ち上げる



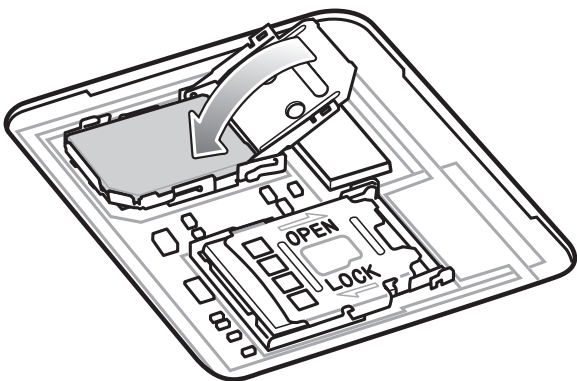
4. カードホルダーに nano SIM カードを下向きに取り付けます。

図13 SIM カードをホルダーに挿入する



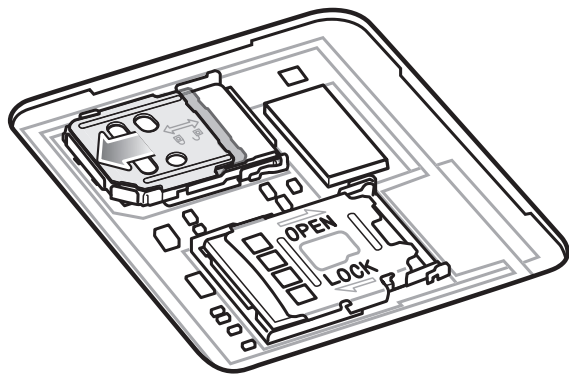
5. SIM カードホルダーのドアを閉じます。

図14 SIM カードホルダーのドアを閉じる



6. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックします。

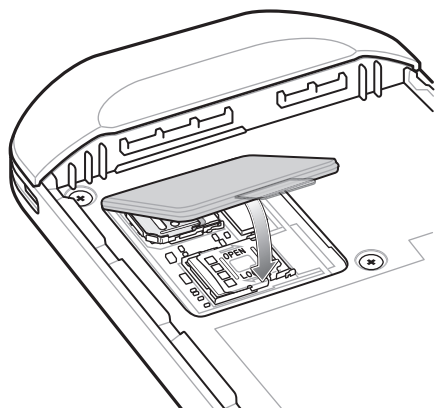
図15 SIM カード ホルダーのドアをロックする



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス ドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

7. アクセス ドアを元に戻します。

図16 アクセス ドアを元に戻す



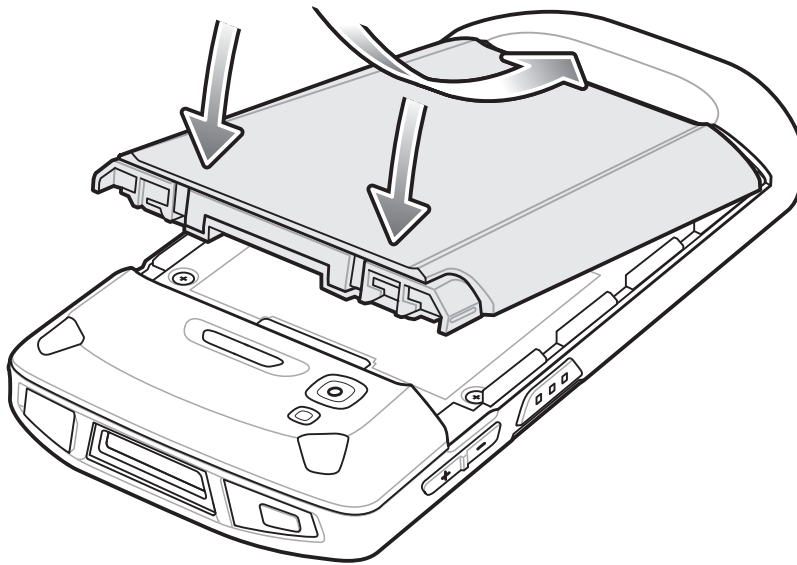
## バッテリーの取り付け



注: デバイスやアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング (保護等級 (IP))、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けないでください。

1. TC56 の背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。

図 17 バッテリーの下側をバッテリー収納部に入れる



2. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し込みます。

## バッテリーの充電

TC56 を初めて使用する場合は、まずバッテリー充電/通知 LED が緑色に点灯するまで、メイン バッテリーを充電します。TC56 を充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。TC56 で使用可能なアクセサリの詳細については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。

≥15.48 ワット時 (一般) / ≥4,150 mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。








最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。TC56 やアクセサリのバッテリー充電は、常に安全かつ適切に行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、TC56 やアクセサリは、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には、LED が点灯するとともにディスプレイに通知が表示されます。

1. メイン バッテリーを充電するには、充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. TC56 をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。TC56 の電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電/通知 LED が黄色で点滅し、充電が完了すると緑色に変わります。

## 充電インジケータ

表 3 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	LED	意味
消灯		TC56 は充電していません。TC56 が正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。充電器 / クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		TC56 を充電中です。
赤色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		TC56 を充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色の点灯		充電が完了しました。
赤色の点灯		充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎる、または高すぎる。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。</li> </ul>
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎる、または高すぎる。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。</li> </ul>

## Google アカウント設定



注: Google アカウントを設定するには、TC56 がインターネットに接続されている必要があります。  
Google アカウントを必要とするのは、GMS ソフトウェアがインストールされているデバイスのみです。

TC56 を初めて起動すると、セットアップ ウィザードが表示されます。画面に表示される指示に従って Google アカウントの設定、Play ストアからアイテムを購入するための Google ウォレットの設定を行い、個人情報を入力して、バックアップ/リストア機能を有効にします。

## バッテリーの交換

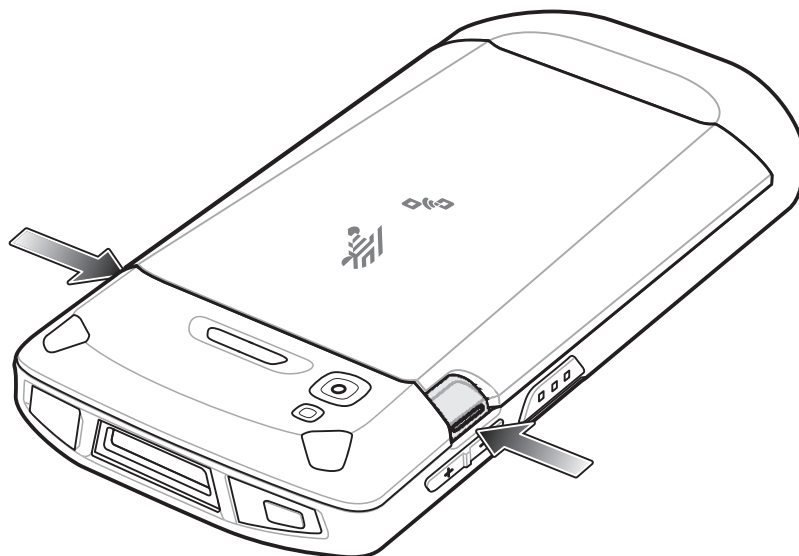


注意: バッテリーの交換中は、microSD カードの挿入や取り出しを行わないでください。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. [Battery Swap] (バッテリー交換) をタッチします。
3. 画面に表示される指示に従います。
4. LED が消灯するのを待ちます。
5. ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップを外します。

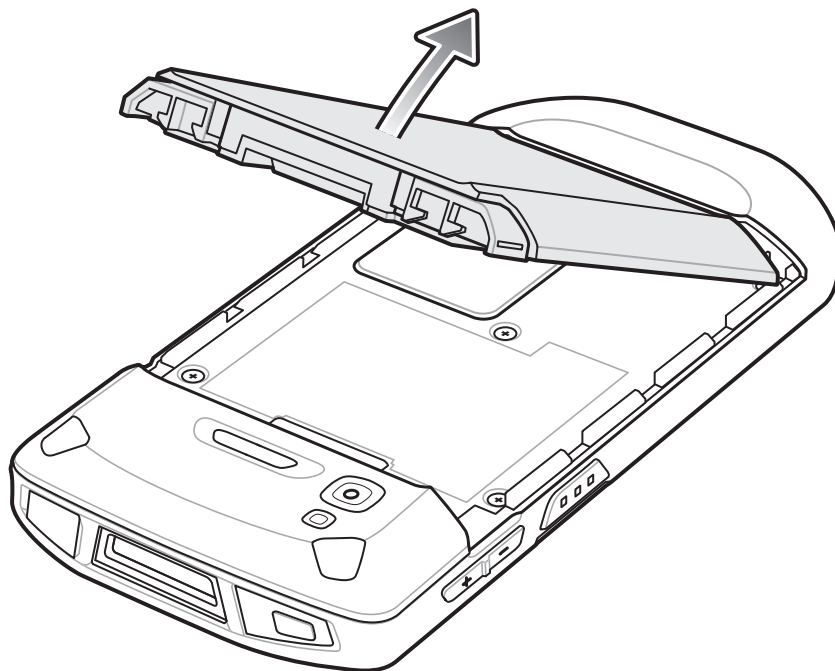
6. 2つのバッテリー ラッチを押し入れます。

図18 バッテリー ラッチを押す



7. バッテリーを TC56 から取り出します。

図19 バッテリーの取り出し



注意: 90 秒以内にバッテリーを交換します。90 秒経過するとデバイスが再起動し、データが失われる可能性があります。

8. TC56 の背面のバッテリー収納部に、交換用のバッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。
9. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
10. 必要に応じて、ハンドストラップを元に戻します。

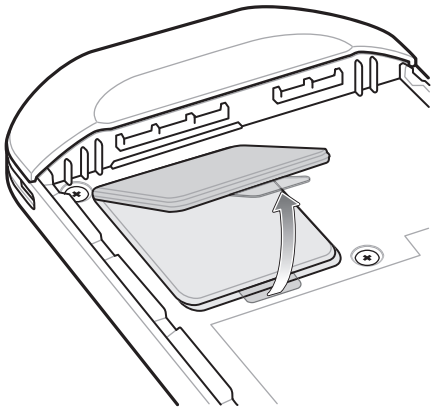
11. 電源ボタンを押して、TC56 の電源をオンにします。

## microSD カードの交換

microSD カードを交換するには、次の手順に従います。

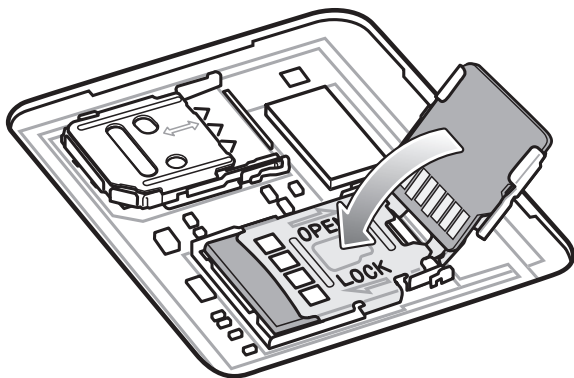
1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
3. **[OK]** をタッチします。
4. ハンド ストラップが取り付けられている場合は、ハンド ストラップ クリップを TC56 の上部にスライドさせ、持ち上げます。
5. 2つのバッテリー ラッチを押し入れます。
6. バッテリーを TC56 から取り出します。
7. アクセス ドアを持ち上げます。

図 20 アクセス ドアの取り外し



8. microSD カード ホルダーをスライドさせて開きます。
9. microSD カード ホルダーを持ち上げます。
10. microSD カードをホルダーから取り外します。
11. 交換用の microSD カードをカード ホルダーのドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。
12. microSD カード ホルダーのドアを閉じます。

図 21 microSD カードをホルダーに挿入する



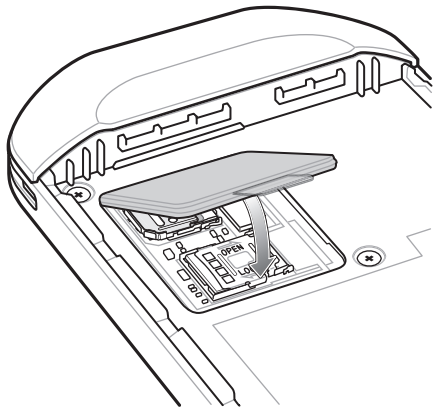
13. microSD カード ホルダーのドアをスライドさせてロックします。
14. アクセス ドアを押し下げて、しっかりセットされていることを確認します。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス ドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

15. アクセス ドアを元に戻します。

図 22 アクセス ドアを元に戻す



16. TC56 の背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。
17. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
18. 必要に応じて、ハンドストラップを元に戻します。
19. 電源ボタンを長押しして、TC56 の電源をオンにします。

---

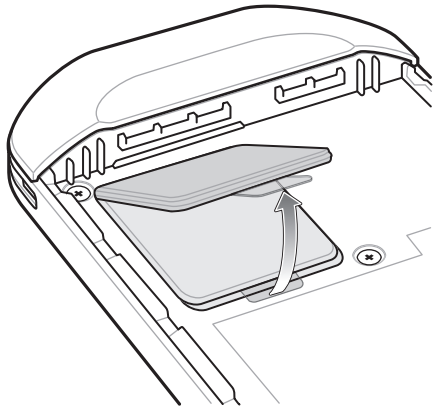
## SIM カードの交換

SIM カードを交換するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Power off]** (電源オフ) をタッチします。
3. **[OK]** をタッチします。
4. ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップ クリップを TC56 の上部にスライドさせ、持ち上げます。
5. 2つのバッテリー ラッチを押し入れます。
6. バッテリーを TC56 から取り出します。
7. アクセス ドアを持ち上げます。

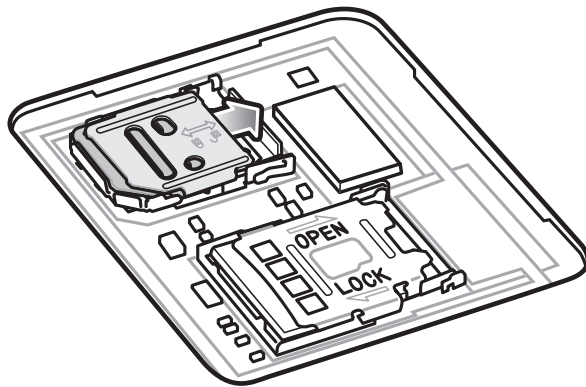


図23 アクセス ドアの取り外し



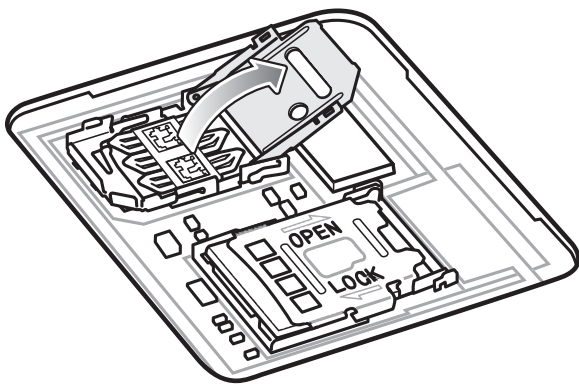
8. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックを解除します。

図24 SIM カードホルダーのドアのロック解除



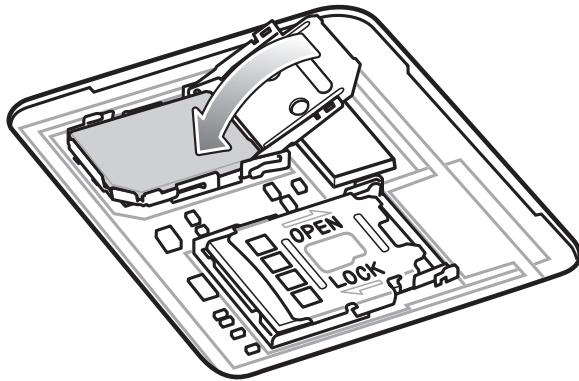
9. SIM カードホルダーのドアを持ち上げます。

図25 SIM カードホルダーのドアを持ち上げる



10. SIM カードを取り外します。  
11. カードホルダーに新しいSIMカードを下向きに取り付けます。  
12. SIM カードホルダーを閉じます。

図26 SIM カードのドアを閉じる



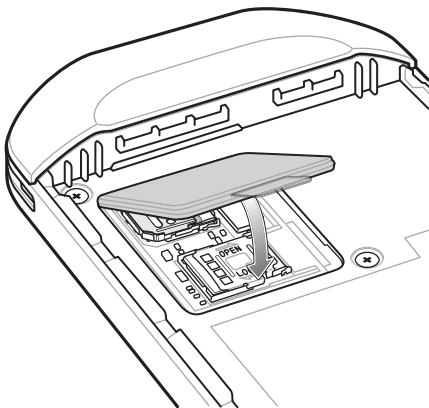
13. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックします。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス ドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

14. アクセス ドアを元に戻します。

図27 アクセス ドアを元に戻す



15. TC56 の背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。



16. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に固定されるまで、バッテリーを押し下げます。

17. 必要に応じて、ハンドストラップを元に戻します。

18. 電源ボタンを長押しして、TC56 の電源をオンにします。

## デバイス設定へのアクセス

本ガイドの各説明では、次の方法でデバイスの設定にアクセスしています。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. ホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

## バッテリー管理



注: バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての AC 電源 (クレードルまたはケーブル) から TC56 を取り外します。

メイン バッテリーの充電状態を確認するには、[Settings] (設定) を開いて、[About phone] (電話機情報) (i) > [Battery Information] (バッテリー情報) をタッチします。

[Battery status] (バッテリー状態) にはバッテリーの放電状況が示され、[Battery level] (バッテリーレベル) にはバッテリー充電量 (フル充電と比較した割合) が表示されます。バッテリーのパーセンテージは、クイック アクセス パネルのバッテリー アイコンの隣に表示させることもできます。ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。

## バッテリー使用量の監視

[Battery] (バッテリー) 画面には、バッテリー電力を最も消費しているアプリケーションが表示されます。この画面では、ダウンロードしたアプリケーションの中で電力を消費しすぎているアプリケーションがあれば、そのアプリケーションをオフにすることもできます。



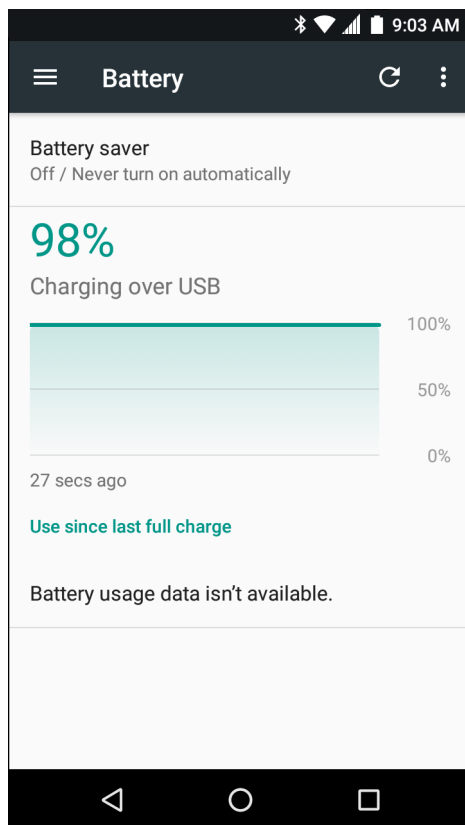
1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Battery] (バッテリー) をタッチします。

図 28 [Battery] (バッテリー) 画面



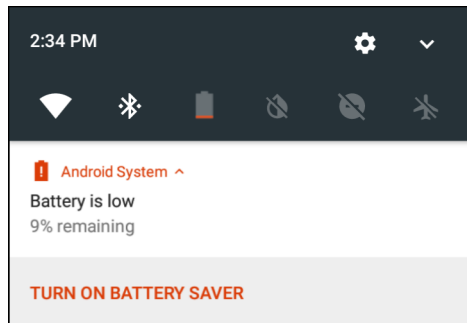
[Battery] (バッテリー) 画面には、バッテリーを使用しているアプリケーションが表示されます。画面上部の放電状況グラフには、最後に充電されたときからのバッテリーの放電率と (充電器に接続された短期間は、図の下部に薄い緑色の線で示されます)、バッテリー電源で稼動している時間が表示されます。

[Battery] (バッテリー) 画面でアプリケーションにタッチすると、そのアプリケーションの電力消費についての詳細が表示されます。アプリケーションによって、表示される情報は異なります。一部のアプリケーションには、設定画面を開くボタンが付いていて、電力消費を調整できるものもあります。

### 低バッテリー通知

バッテリー充電残量が 18% 未満になると、TC56 を電源に接続するように指示する通知が表示されます。いずれかの充電アクセサリを使用してバッテリーを充電する必要があります。

図 29 低バッテリー通知



バッテリー充電残量が 10% 未満になると、TC56 を電源に接続するように指示する通知が表示されます。いずれかの充電アクセサリを使用してバッテリーを充電してください。

バッテリー充電残量が 4% 未満になると、TC56 の電源がオフになります。

いずれかの充電アクセサリを使用して TC56 を充電してください。


### バッテリー最適化

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- DataWedge 起動プログラムのプロファイルを無効にします。手順については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android 7.1.2』を参照してください。
- しばらく使用しなかった場合には画面がオフになるように設定します。[34 ページの「画面のタイムアウトの設定」](#)を参照してください。
- 画面の明るさを抑えます。[33 ページの「画面の輝度の設定」](#)を参照してください。
- 無線を使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。
- 電子メール、カレンダー、連絡先、および他のアプリケーションの自動同期機能をオフにします。
- TC56 がサスペンド状態に入るのを妨げてしまうアプリケーション (音楽やビデオ アプリケーションなど) の使用を最小限に抑えます。




### 無線通信をオフにする

すべての無線をオフにするには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Airplane mode] (機内モード)** をタッチします。すべての無線がオフになっていることを示す飛行機のアイコン  がステータス バーに表示されます。

## 日付と時刻の設定

TC56 を携帯電話ネットワークに接続すると、日付と時刻は NITZ サーバーを使用して自動的に同期されます。携帯電話ネットワークに接続されていない場合、または無線 LAN でネットワーク タイム プロトコル (NTP) がサポートされていない場合のみ、タイム ゾーンの設定または日付と時刻の設定を行う必要があります。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Date & time] (日付と時刻) をタッチします。
3. [Automatic date & time] (日付と時刻の自動同期) をタッチして、日付と時刻の自動同期を無効にします。
4. [Set date] (日付の設定) をタッチします。
5. スライダを上下に移動し、月、日、年を選択します。
6. [Done] (完了) をタッチします。
7. [Set time] (時間の設定) をタッチします。
8. スライダを上下に移動し、時、分、午前/午後を選択します。
9. [Done] (完了) をタッチします。
10. [Select time zone] (タイム ゾーンを選択) をタッチします。
11. リストから現在のタイム ゾーンを選択します。
12.  をタッチします。

## ディスプレイの設定

画面の輝度の変更、背景画像の変更、画面の回転の有効化、スリープ時間の設定、およびフォント サイズの変更はディスプレイの設定を使用して行います。

### 画面の輝度の設定



手動で画面の輝度を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. アイコンをスライドさせて画面の輝度レベルを調整します。

図 30 輝度のダイアログ ボックス






内蔵光センサを使用して、TC56 の画面の輝度を自動的に調整するには、次の手順に従います。

1.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
2. [Brightness Level] (輝度レベル) をタッチします。
3. [Adaptive brightness] (アダプティブ輝度) をタッチして、明るさを自動調整にします。
4.  をタッチします。

### 画面回転の設定

デフォルトでは、画面回転は無効になっています。画面回転を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [When device is rotated] (デバイスを回転させたとき) をタッチして [Rotate to contents of the screen] (画面のコンテンツを回転させる) を選択し、TC56 を回転させたときに TC56 の向きが自動的に切り替わるように設定します。
4.  をタッチします。

## ホーム画面回転の設定

デフォルトでは、ホーム画面の回転は無効になっています。ホーム画面回転を設定するには、次の手順に従います。



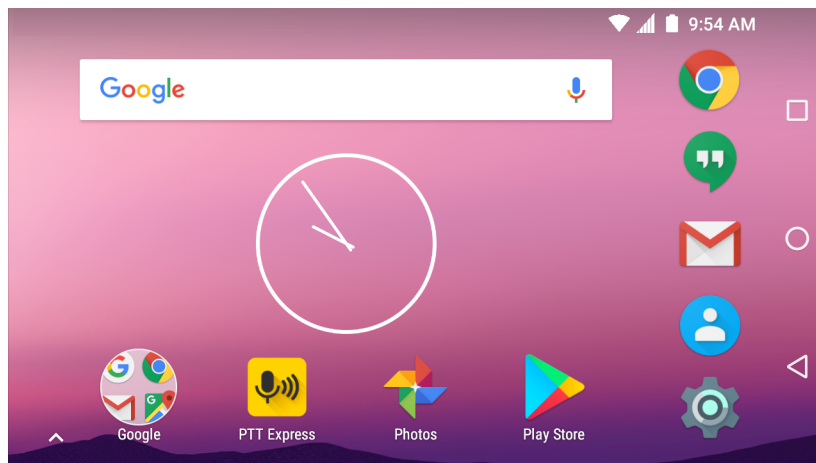


1. オプションが表示されるまで、ホーム画面を長押しします。
2.  をタッチします。
3. [Allow rotation switch] (回転許可スイッチ) をタッチします。
4.  をタッチします。
5. デバイスを回転させます。

図 31 ホーム画面の回転



## 画面のタイムアウトの設定

画面のスリープ時間を設定するには、次の手順に従います。



1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Sleep] (スリープ) をタッチします。
4. スリープ値を 1 つ選択します。
  - [15 seconds] (15 秒)
  - [30 seconds] (30 秒)
  - [1 minute] (1 分) (デフォルト)
  - [2 minutes] (2 分)

- [5 minutes] (5 分)
- [10 minutes] (10 分)
- [30 minutes] (30 分)

5. ○をタッチします。



## フォント サイズの設定

システム アプリケーションのフォント サイズを設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、をタッチします。
2. [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Font size] (フォント サイズ) をタッチします。
4. フォント サイズ値を 1 つ選択します。
  - [Small] (小)
  - [Normal] (標準) (デフォルト)
  - [Large] (大)
  - [Largest] (最大)
5. ○をタッチします。

## 周辺光で調整されるディスプレイ (Ambient Display)

周辺光で調整されるディスプレイ (Ambient Display) を設定すると、通知の受信で画面がスリープ状態から復帰するようになります。この機能を無効にするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、をタッチします。
2. [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Ambient display] (周辺光で調整されるディスプレイ) をタッチして無効にします。
4. ○をタッチします。

## タッチ パネル モード

TC56 では、スクリーン保護シートの有無にかかわらず、指、導電性チップのスタイラスペン、または手袋をはめた指によるタッチを検出できます。



注：医療用のラテックス、皮革、綿または羊毛製の手袋を使用できます。

最適なパフォーマンスを得るためには、Zebra 認定スタイラスペンをご使用ください。



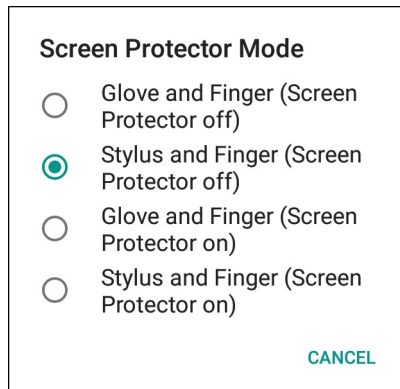
1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、をタッチします。
2. [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Touch panel mode] (タッチ パネル モード) をタッチします。

図 32 [Screen Protector Mode] (スクリーン 保護シート モード) のダイアログ ボックス



4. 以下の中から選択します。
  - a. **[Glove and Finger (Screen Protector off)]** (手袋および指 (スクリーン保護シートなし)): スクリーン保護シートが貼られていない画面で、指や手袋をはめた指を使用できます。
  - b. **[Stylus and Finger (Screen Protector off)]** (スタイラスペンおよび指 (スクリーン保護シートなし)): スクリーン保護シートが貼られていない画面で、指やスタイラスペンを使用できます。
  - c. **[Glove and Finger (Screen Protector on)]** (手袋および指 (スクリーン保護シートあり)): スクリーン保護シートが貼られた画面で、指や手袋をはめた指を使用できます。
  - d. **[Stylus and Finger (Screen Protector on)]** (スタイラスペンおよび指 (スクリーン保護シートあり)): スクリーン保護シートが貼られた画面で、指やスタイラスペンを使用できます。
5. ○をタッチします。

## 通知 LED の設定

充電/通知LEDは、電子メールやVoIPなどのアプリケーションでプログラム可能な通知が生成された場合、またはTC56がBluetoothデバイスに接続されたことを示す場合に青色に点灯します。デフォルトでは、LED通知は有効になっています。通知設定を変更するには、次を実行します。

1. ステータスバーから2本の指で下にスワイプして、クイックアクセスパネルを開き、をタッチします。
2. [Notifications] (通知) をタッチします。
3. > [Pulse notification light] (パルス通知ライト) をタッチして、通知をオンまたはオフに切り替えます。
4. ○をタッチします。

## [Cast] (キャスト)

[Cast] (キャスト) を使用して、Miracast 対応無線ディスプレイに TC56 の画面をミラー表示します。

1. ステータスバーから2本の指で下にスワイプして、クイックアクセスパネルを開き、をタッチします。
2. [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Cast] (キャスト) をタッチします。
4. > [Enable wireless display] (無線ディスプレイを有効にする) をタッチします。TC56は近くのMiracastデバイスを検索して一覧表示します。
5. デバイスをタッチしてキャストを開始します。
6. ○をタッチします。



## 一般的なサウンド設定

[Sounds] (サウンド) 設定を使用して、メディアおよびアラームの音量を設定します。



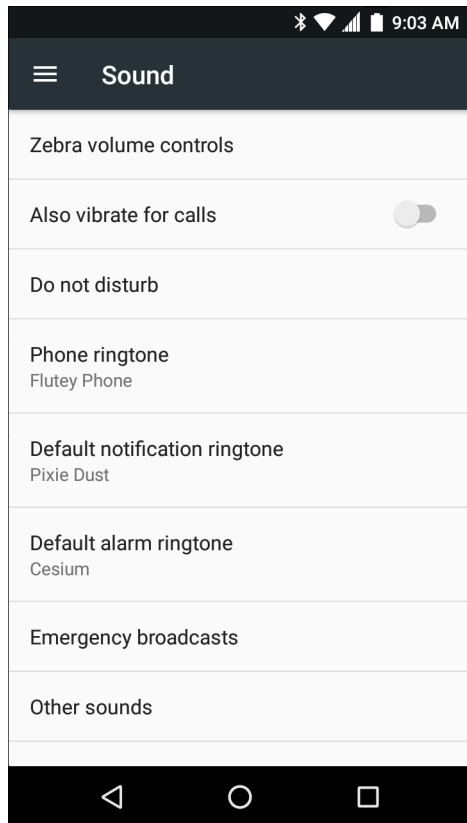



1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Sounds] (サウンド) をタッチします。

図 33 [Sounds] (サウンド) 画面



- **Zebra の音量コントロール**
  - **[Ring volume] (着信音音量)** - 着信音の音量を制御します。
  - **[Media volume] (メディアの音量)** - 音楽、ゲーム、メディアの音量を制御します。
  - **[Alarm volume] (アラームの音量)** - アラーム時計の音量を制御します。
  - **[Notifications volume] (通知の音量)** - 通知の音量を制御します。
  - **[Scanner volume] (スキャナ音量)** - スキャナの音量を制御します。
  - 音量の事前設定
    -  - 着信音、通知、スキャナをミュートにします。TC56 は音も振動も出さなくなります。
    -  - メディアおよびアラーム以外のすべての音をミュートにします。振動モードは動作します。
    -  - ユーザーが指定したレベルですべてのサウンドが有効になります。
- **[Also vibrate for calls] (着信時に振動)** - スイッチをオンにすると、着信時にデバイスが振動します (デフォルト - 無効)。

- **[Do not disturb] (非通知)** - TC56 をミュートにします。不要なときに振動や音を出さないようにします。
- **[Priority only allows] (優先通知のみ許可)** - 優先度を設定するために使用します。
  - **[Alarms] (アラーム)** - 無効です。
  - **[Reminders and Events] (リマインダとイベント)** - オン/オフを切り替えます。
  - **[Messages] (メッセージ)** - 全員許可、星付きの連絡先の許可、すべての連絡先の許可、許可しないのいずれかを選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
  - **[Repeat callers] (繰り返しの発信者)** - 同じ人から 15 分以内に再び着信があった場合に、TC56 の着信音を鳴らすかどうかを選択します。
- **[Automatic rules] (自動ルール)** - 夜間や週末など、特定の時間帯に自動的に TC56 をミュートにします。デフォルトのルール [Weekend] (週末) または [Weeknight] (平日の夜) をタッチします。また、独自のルールを作成するには、[Add rule] (ルールの追加)、[Time rule] (時間ルール) の順にタッチします。
- **通知表示のブロック**
  - **[Block when screen is on] (画面がオンのときにブロック)** - デバイスを使用しているときに受信した通知を制御します。[Do not Disturb] (非通知) が有効になっているときに、通知などのバナーを無効にする場合は、このオプションをオンにします。またこの設定により、通知ののぞき見も防止されます。
  - **[Block when screen is off] (画面がオフのときにブロック)** - ディスプレイがスリープになっている場合など、デバイスを使用していないときに受信した通知を制御します。新しい通知の受信時にディスプレイのスリープ解除を防止するには、このオプションをオンにします。この設定により、新しい通知の受信時に電話から送信される LED 点灯による警告も無効になります。
- **[Phone ringtone] (着信音)** - タッチして、着信時に鳴るサウンドを選択します。
- **[Default notification ringtone] (デフォルト通知着信音)** - タッチして、すべてのシステム通知に対して再生されるサウンドを選択します。
- **[Default alarm ringtone] (デフォルトのアラーム音)** - タッチして、アラームのサウンドを選択します。
- **[Emergency Broadcasts] (緊急警報)** - タッチして、緊急警報の設定および通知を構成します。
- **その他のサウンド**
  - **[Dial pad tones] (ダイヤル パッド操作音)** - ダイヤル パッドのキーを押したときに音が鳴ります (デフォルト - 無効)。
  - **[Screen locking sounds] (画面ロック サウンド)** - 画面をロックまたはロック解除したときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
  - **[Charging sounds] (充電音)** - 使用できません。
  - **[Touch sounds] (タッチ サウンド)** - 画面上で選択を行ったときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
  - **[Vibrate on tap] (タップ時の振動)** - 画面上で選択を行ったときに、デバイスが振動します (デフォルト - 無効)。

## ウェイクアップ ソース

デフォルトでは、電源ボタンを押すとサスペンド モードから復帰 (ウェイクアップ) します。デバイスの左側にある PPT ボタンまたはスキャン ボタンを押した場合に復帰するよう設定できます。



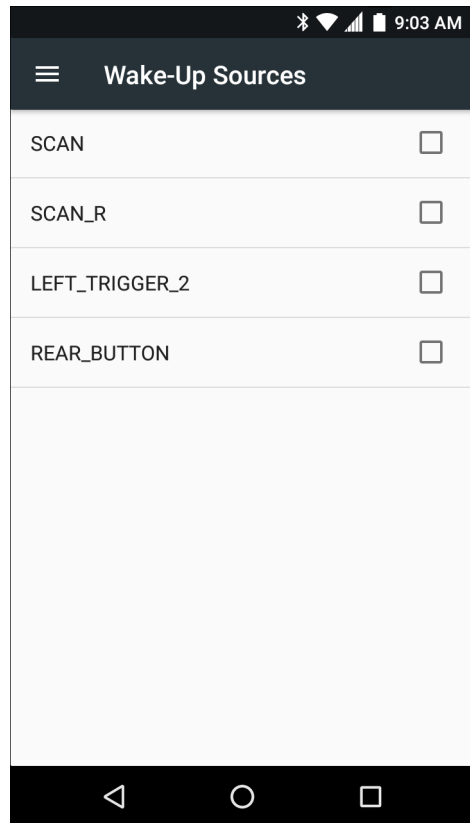

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Wake-Up Sources] (ウェイクアップ ソース) をタッチします。
3. [SCAN] (スキャン) チェックボックスをタッチします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。
4. [SCAN\_R] (SCAN\_R) チェックボックスをタッチします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。
5. [LEFT\_TRIGGER\_2] (LEFT\_TRIGGER\_2) チェックボックスをタッチします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。
6. [REAR\_BUTTON] (REAR\_BUTTON) チェックボックスをタッチします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。

図 34 ウェイクアップ ソース



7.  をタッチします。

# TC56 の使用

---

## はじめに

ここでは、TC56 のボタン、ステータス アイコン、コントロールについて説明します。また、TC56 のリセット方法、データの入力方法など、TC56 の基本的な使用方法についても説明します。

---

## Google モバイル サービス



注: このセクションは、Google モバイル サービス (GMS) ソフトウェアが搭載された TC56 デバイスにのみ適用されます。

GMS が搭載された TC56 には、TC56 に機能を追加するアプリケーションとサービスが含まれています。

GMS には次のコンポーネントが含まれています。

- **アプリケーション** - GMS は、Chrome、Gmail、ドライブ、マップなどのさまざまな Google アプリケーションおよび関連ウィジェットを追加します。
- **サービス:**
  - **音声入力** - 接続されたネットワークと切断されたネットワークの両方で多言語による自由形式の音声入力をテキストに変化します。キーボードのマイクのアイコンをタッチして起動します。
  - **TalkBack サービス** - ユーザー インタフェースのさまざまな部分で音声によるフィードバックを提供します。有効にするには、[Settings] (設定) > [Accessibility] (ユーザー補助) を選択します。
  - **ネットワーク位置情報プロバイダ** - モバイル ネットワーク タワー情報および Wi-Fi アクセス ポイント情報を使用して、GPS を使用せずに位置情報を提供する位置情報プロバイダを追加します。有効にするには、[Settings] (設定) > [Location access] (位置情報アクセス) を選択します。
  - **Widevine DRM** - デジタル著作権管理を有効にして、保護されたコンテンツを再生します。Play Store からの DRM 情報を使用して有効にします。
  - **Google Cloud Messaging** - サーバーから TC56 にデータを送信できるようにし、同時に同じ接続上でデバイスからメッセージを受信できるようにします。
  - **バックアップと復元** - ユーザー設定とアプリケーションを Google サーバーにバックアップし、工場出荷時の設定にリセットした後でそのサーバーから設定を復元できます。
- **Google アカウント** - Google アカウントを作成し、そのアカウントを使用して、メール、ファイル、音楽、写真、連絡先、カレンダー イベントを同期できます。

## ホーム画面

ホーム画面は、TC56 をオンにすると表示されます。設定によって、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダが表示されます。画面にタッチし、上にスライドさせてロックを解除します。画面のロックの詳細については、[59 ページの「画面のロック解除」](#)を参照してください。

図 35 ホーム画面



表 4 ホーム画面の項目

項目	説明
1 — 履歴ボタン	最近使用したアプリケーションを表示します。
2 — ホーム	ホーム画面を表示します。
3 — 戻る	前の画面を表示します。
4 — ショートカット アイコン	TC56 にインストールされているアプリケーションを開きます。詳細については、 <a href="#">48 ページの「アプリケーション ショートカットとウィジェット」</a> を参照してください。

表 4 ホーム画面の項目 (続き)

項目	説明
5 — ウィジェット	ホーム画面で実行するスタンドアロンのアプリケーションを起動します。詳細については、48 ページの「アプリケーション ショートカットとウィジェット」を参照してください。
6 — ステータス バー	時間、ステータス アイコン (右側)、および通知アイコン (左側) が表示されます。詳細については、42 ページの「ステータス バー」および 44 ページの「通知の管理」を参照してください。

ホーム画面には、ウィジェットとショートカットの配置に関する 4 つの追加画面が表示されます。画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。

## ステータス バー


ステータス バーには、時間、通知アイコン (左側)、およびステータス アイコン (右側) が表示されます。



注: 表示するアイコンが多すぎる場合、一部のステータス アイコンがステータス バーに表示されないことがあります。







図 36 通知アイコンおよびステータス アイコン



ステータス バーに表示可能な数より多くの通知がある場合は、他にも通知があることを示す  が表示されます。[Notifications] (通知) パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。




## ステータス アイコン

表 5 ステータス アイコン

アイコン	説明
	アラームがアクティブであることを示します。
	メイン バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	メイン バッテリーの一部が消耗された状態であることを示します。
	メイン バッテリーの充電が少ないことを示します。
	メイン バッテリーの充電が非常に少ないことを示します。
	メイン バッテリーが充電中であることを示します。



















注 1: 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社 / ネットワークにより異なります。

表 5 ステータス アイコン ( 続き )

アイコン	説明
	メディアおよびアラーム以外のすべてのサウンドがミュートで振動モードがアクティブであることを示します。
	機内モードがアクティブであることを示します。すべての無線がオフになります。
	Bluetooth がオンになっていることを示します。
	TC56 が Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。
	Wi-Fi ネットワークに接続されています。
	Wi-Fi ネットワークに接続されていないか、Wi-Fi 信号がありません。
	イーサネット ネットワークに接続されています。
	ポータブル Wi-Fi ホットスポットが有効です。
	モバイル ネットワーク信号の強度を示します。
	モバイル ネットワーク信号がないことを示します。
	4G LTE/LTE-CA ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	DC -HSPA、HSDPA、HSPA+、HSUPA、LTE/LTE-CA、または WCDMA ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	1x-RTT (Sprint)、EGDGE、EVDO、EVDV、または WCDMA ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	DC - HSPA、HSDPA、HSPA+、または HSUPA ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	EDGE ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	GPRS ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	GPRS ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	1x-RTT (Verizon) ネットワークに接続されています ( 注 1 を参照 ) 。
	ネットワークからローミングしていることを示します。
	SIM カードが取り付けられていないことを示します。
注 1: 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社 / ネットワークにより異なります。	

## 通知アイコン

表 6 通知アイコン

アイコン	説明
	メイン バッテリーの残量が少ないことを示します。
	表示されていない通知がまだあることを示しています。
	データが同期中であることを示します。
	次のイベントを示します。
	公開 Wi-Fi ネットワークが利用できることを示します。
	曲が再生中であることを示します。
	サインインまたは同期に関する問題が生じたことを示します。
	TC56 がデータをアップロードしていることを示します。
	動画が表示されている場合は TC56 がデータのダウンロード中であることを示し、ダウンロードが完了すると静止画が表示されます。
	USB テザリングが有効であることを示します。
	TC56 が VPN (仮想プライベート ネットワーク) 経由で接続している、または VPN が切断されたことを示します。
	内部ストレージを準備しています。
	TC56 で USB デバッグが有効になっていることを示します。
	ヘッドセットがデバイスに接続されています。
	PTT Express Voice クライアントのステータスを示します。PTT Express 通知アイコンの一覧については、「通知アイコン」を参照してください。
	RxLogger アプリケーションが実行中であることを示します。
	RS507 または RS6000 が TC56 に接続されていることを示します。
	RS507 または RS6000 が HID モードでデバイスに接続されていることを示します。

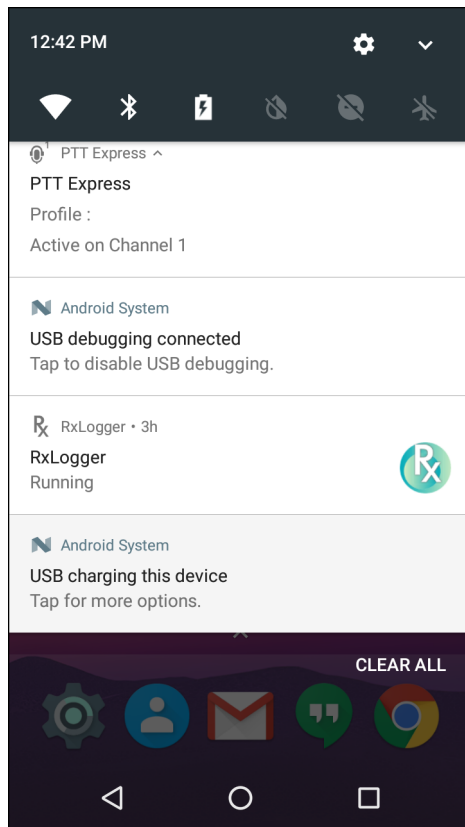
## 通知の管理

通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、およびアラームに加えて、進行中のイベントも報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。表示される可能性のある通知アイコンとその説明のリストについては、[44 ページの「通知アイコン」](#)を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、[Notifications] (通知) パネルを開きます。

[Notifications] (通知) パネルを開くには、画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。



図 37 [Notifications] (通知) パネル





通知に応答するには、[Notifications] (通知) パネルを開き、通知をタッチします。[Notifications] (通知) パネルが閉じて、次のアクティビティが通知によって決まります。

すべての通知をクリアするには、[通知] パネルを開き、**[CLEAR ALL] (すべてクリア)** をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されます。進行中の通知はそのままリストに残ります。進行中の通知はそのままリストに残ります。


[Notifications] (通知) パネルを閉じるには、[Notifications] (通知) を上にスワイプします。

## アプリケーション通知の設定


特定のアプリの通知設定を変更するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  **[Notifications] (通知)** をタッチします。
3. アプリケーションを選択します。
4. 使用可能なオプションを選択します。
  - **[Block all] (すべてブロック)** - このアプリケーションからの通知は表示しません。
  - **[Show silently] (消音で表示)** - このアプリケーションからの通知については、着信音、振動、または概要表示を許可しません。
  - **[Override Do Not Disturb] (非通知を上書き)** - [Do Not Disturb] (非通知) が [Priority Only] (優先通知のみ) に設定されている場合は、通知に割り込みを許可します。





**重要:** 通知の表示内で、通知をわずかに左または右にスライドして  にタッチします。

## 全アプリの通知設定の表示

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Notifications]** (通知) をタッチします。
3. **[All apps]** (すべてのアプリ) の横にある下矢印をタッチします。
4. 特定の設定に現在設定されているアプリをすべて表示するには、その設定をタッチします。

## ロック画面の通知の制御

TC56 がロックされているときに、通知を表示するかどうかを制御します。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Notifications]** (通知) をタッチします。
3.  > **[On the lock screen]** (ロック画面に表示) の順にタッチして、次のいずれかを選択します。
  - **[Show all notification content]** (すべての通知コンテンツを表示) (デフォルト)
  - **[Don't show notifications at all]** (通知を表示しない)

## クイック アクセス パネル

クイック アクセス パネルを使用して、**[Airplane Mode]** (機内モード) をオンにするなど、使用頻度の高い設定を行います。クイック アクセス パネルを開くには、画面の上から下に 2 本の指でスワイプするか 1 本の指で 2 回スワイプします。

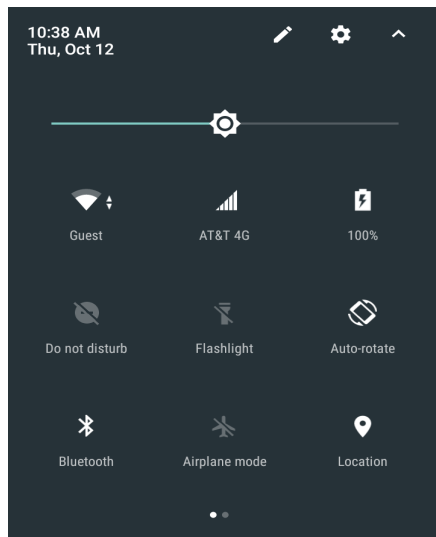
図 38 クイック設定



すべての **[Quick Settings]** (クイック設定) パネルを表示するには、次の手順に従います。

- TC56 がロックされている場合は、1 回下にスワイプします。
- TC56 がロック解除されている場合は、2 本の指で 1 回、または 1 本の指で 2 回下にスワイプします。
- クイック設定バーが開いている場合は、下矢印をタッチします。

図 39 クイック設定パネル





設定を変更するには、次のアイコンにタッチします。

- ディスプレイの輝度: スライドして画面の輝度を下げる、または上げることができます。
- Wi-Fi ネットワーク: Wi-Fi をオンまたはオフにします。Wi-Fi 設定を開くには、Wi-Fi ネットワーク名をタッチします。
- Bluetooth の設定: Bluetooth をオンまたはオフにします。Bluetooth の設定を開くには、[Bluetooth] をタッチします。
- [Battery Power] (バッテリー電力) - バッテリー電力の残量をパーセントで示します。タッチすると、バッテリーの使用状況が表示されます。
- [Invert colors] (色を反転) - 表示色を反転します。
- 非通知: 通知を受信する方法とタイミングを制御します。
- 機内モード: 機内モードをオンまたはオフにします。機内モードとは、デバイスが Wi-Fi または Bluetooth に接続しないという意味です。
- 自動回転: デバイスの向きを縦または横方向でロックするか、自動的に回転するように設定します。
- フラッシュライト: カメラのフラッシュをオンまたはオフにします。
- 位置情報: 位置情報機能を有効または無効にします。
- [Data Saver] (データ セーバー) - 一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を防止するには、このオプションをオンにします。



## クイック設定のアイコンの編集

最初のいくつかの設定タイルが、クイック設定バーになります。



設定タイルを移動するには、次の手順に従います。

1. [Quick Settings] (クイック設定) パネルを開きます。
2.  をタッチします。
3. 設定タイルをタッチして別の場所にドラッグします。
4. タイルを放します。
5.  をタッチしてタイルを保存し、クイック設定に戻ります。

設定タイルを追加するには、次の手順に従います。

1. [Quick Settings] (クイック設定) パネルを開きます。
2.  をタッチします。
3. [Quick Settings] (クイック設定) パネルを上スライドして、その他のタイルを表示します。
4. 設定タイルをタッチして、[Drag to add tiles] (ドラッグしてタイルを追加) 領域からメインの領域にタイルをドラッグします。
5. タイルを放します。
6.  をタッチしてタイルを保存し、クイック設定に戻ります。

設定タイルを削除するには、次の手順に従います。

1. [Quick Settings] (クイック設定) を開きます。
2.  をタッチします。
3. 設定タイルをタッチして、[Drag here to remove] (ここまでドラッグして削除) 領域にタイルをドラッグします。
4. タイルを放します。
5.  をタッチしてタイルを保存し、クイック設定に戻ります。

## アプリケーション ショートカットとウィジェット

アプリケーション ショートカットはホーム画面に置かれており、アプリケーションにすばやく簡単にアクセスできます。アプリケーション ウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリケーションであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

### アプリケーションをホーム画面に追加する

1. ホーム画面に移動します。
2. 画面の一番下から上にスワイプします。
3. リストをスクロールして、アプリケーション アイコンを見つけます。
4. ホーム画面が表示されるまで、アイコンを長押しします。
5. アイコンを画面に配置したら、指を放します。

### ホーム画面にウィジェットを追加する

ホーム画面にウィジェットを追加するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面に移動します。
2. メニューが表示されるまで長押しします。
3. [WIDGETS] (ウィジェット) をタッチします。
4. リストをスクロールして、ウィジェットを見つけます。
5. ホーム画面が表示されるまで、ウィジェットを長押しします。
6. ウィジェットを画面に配置したら、指を放します。

### ホーム画面での項目の移動

1. 画面でフローティング状態になるまで項目を長押しします。
2. 項目を新しい場所にドラッグします。画面の端で少し待ってから、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。

3. 指を持ち上げ、項目をホーム画面に配置します。

### アプリケーション ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する

1. ホーム画面に移動します。
2. アプリケーションのショートカット アイコンまたはウィジェット アイコンを、画面でフローティング状態になるまで長押しします。
3. 画面上部の ✕ Remove までアイコンをドラッグしてから放します。

## フォルダ

フォルダを使用して、同様のアプリケーションを整理します。フォルダをタップして、フォルダ内の項目を開き、表示します。

### フォルダの作成

フォルダを作成するには、ホーム画面に 2 つ以上のアプリのアイコンが必要です。

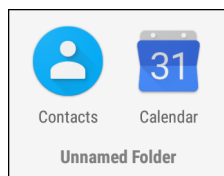
1. ホーム画面に移動します。
2. 1 つのアプリケーション アイコンを長押しします。
3. アイコンをドラッグし、別のアイコンの上に重ねます。
4. 指を放します。

### フォルダの名前付け

フォルダに名前を付けるには、次の手順に従います。

1. フォルダをタッチします。

図 40 フォルダ名を開く



2. タイトル領域をタッチし、キーボードを使用してフォルダ名を入力します。
3. キーボードの ✓ をタッチします。
4. ホーム画面をタッチしてフォルダを閉じます。フォルダの下にフォルダ名が表示されます。

### フォルダの削除

フォルダを削除するには、次の手順に従います。

1. フォルダ アイコンが拡大表示されるまで長押しします。
2. フォルダを ✕ Remove までドラッグして放します。

## ホーム画面の壁紙

ホーム画面の壁紙を変更するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、画面を長押しします。

2. **[WALLPAPERS]** (壁紙) をタッチします。
3. **[My photos]** (マイ フォト) をタッチして、ギャラリー、またはプレインストールされている写真から画像を選択します。
4. **[Save wallpaper]** (壁紙の保存) をタッチします。

## タッチスクリーンの使用方法

高感度のマルチタップ スクリーンを使用して、デバイス进行操作します。

- **タップ** - タップして次を行います。
  - 画面上の項目を選択します。
  - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
  - 画面ボタンを押します。
- **タップして長押し** - 次の項目をタップして長押し、以下の操作を行います。
  - ホーム画面の項目を長押しして、新しい場所またはゴミ箱に移動します。
  - [Apps] (アプリ) 内の項目を長押しして、ショートカットをホーム画面に作成します。
  - ホーム画面を長押しして、ホーム画面をカスタマイズするメニューを開きます。
  - ホーム画面の何も表示されていないエリアを長押しして、メニューを開きます。
- **ドラッグ** - タップして長押ししてから、新しい位置まで指を移動させます。
- **スワイプ** - 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
  - 画面のロックを解除します。
  - 別のホーム画面を表示します。
  - [Launcher] (起動プログラム) ウィンドウにその他のアプリケーション アイコンを表示します。
  - アプリケーションの画面に詳細を表示します。
- **ダブルタップ** - Web ページ、マップ、または他の画面で 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。
- **ピンチ** - 一部のアプリケーションでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズームアウト)、離したり (ズームイン) して、ズームインとズームアウトを行うことができます。

## キーボード





テキスト フィールドにテキストを入力するには、画面キーボードを使用します。

### テキストの編集

入力したテキストを編集して、メニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けを行います。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を使用するものもあります。

### 数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。

- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの 1 つを長押ししてから、数字を選択します。キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。
- Shift キーを 1 回タッチすると、大文字を 1 回入力できます。Shift キーを 2 回タッチすると、大文字ロックされます。もう一度 Shift キーをタッチすると、Capslock のロックが解除されます。
-  にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで  にタッチすると、別の記号が表示されます。
- テキスト メッセージに絵文字アイコンを入力するには、AOSP キーボードで  をタッチするか、GMS キーボードで  をタッチします。



特殊文字を入力するには、他の記号のメニューが開くまで数字または記号のキーを長押しします。

- キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。
- キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。



## キーボードの設定

キーボードを設定するには、『TC56 Integrator Guide for Android Version 7.1.2』のキーボードの設定のセクションを参照してください。

### AOSP キーボード

キーボード設定を行うには、 (カンマ) >  を長押ししてから、[Android Keyboard Settings (AOSP)] (Android キーボード設定 (AOSP)) を選択します。

### GMS キーボード

キーボードの設定を行うには、 (カンマ) >  を長押ししてから、[Gboard Keyboard settings] (Gboard キーボード設定) を選択します。

## 非通知機能

このモードは、TC56 をミュートして音や振動を出さないようにします。

たとえば、次のような場合に [Do Not Disturb] (非通知) を使用します。

- 夜間やイベント中に音を自動的に制限する
- アラーム以外の通知をミュートする
- 通知をお気に入りの連絡先からのメッセージに限定する

## 音と振動の制限

TC56 を完全にミュートにするか、重要なアラームまたは重要な着信は通知させます。

### 完全非通知

TC56 を完全にミュートして音や振動が出ないようにするには、[Total Silence] (完全非通知) を選択します。

完全非通知モードの場合：


- アラームの受信時に音が出ません。
- メッセージまたは通知の受信時でも、TC56 は振動または音を出しません。

- 音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアのサウンドはミュートになります。



注: 完全非通知モードの場合は、アラームも鳴りません。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. **[Do not disturb] (非通知) > [Total silence] (完全非通知)** をタッチします。
3. **[Until you turn it off] (オフにするまで)** を選択するか、一定の期間を選択します。
4. **[Done] (完了)** をタッチします。


**[Total Silence] (完全非通知)** がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

**[Total Silence] (完全非通知)** をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、**[Total Silence] (完全非通知)** をタッチします。

## アラームのみ

TC56 のミュート時でもアラームは再生されるように設定するには、**[Alarms Only] (アラームのみ)** を選択します。このオプションでは、音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアからのサウンドはミュートになりません。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. **[Do not disturb] (非通知) > [Alarms only] (アラームのみ)** をタッチします。
3. **[Until you turn it off] (オフにするまで)** を選択するか、一定の期間を選択します。
4. **[Done] (完了)** をタップします。

**[Alarms Only] (アラームのみ)** がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

**[Alarms Only] (アラームのみ)** をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、**[Alarms Only] (アラームのみ)** をタッチします。





注: すばやく **[Alarms Only] (アラームのみ)** をオンにするには、画面が表示されている状態で、音量が最小になるまで音量下ボタンを長押しします。音量が最小の状態、音量下ボタンをもう一度押すと、**[Alarms Only] (アラームのみ)** がオンになります。

**[Alarms Only] (アラームのみ)** をオフにするには、音量上ボタンまたは音量下ボタンを押し、警告メッセージで **[END NOW] (今すぐ終了)** をタッチします。この時点で **[Alarms Only] (アラームのみ)** をオンにするには、音量上ボタンをもう一度押します。

## 優先通知のみ

重要な通知のみを出力させるには、**[Priority Only] (優先通知のみ)** を選択します。このオプションでは、音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアからのサウンドはミュートになりません。

**[Priority Only] (優先通知のみ)** モードをオンにする場合は、事前に通知の優先度を設定しておいてください。


1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  **[Sound] (サウンド) > [Do not disturb] (非通知) > [Priority only allows] (優先通知のみ許可)** をタッチします。
3. 優先度を設定します。
  - **[Alarms] (アラーム)**: デフォルトでは無効です。
  - **[Reminders] (リマインダ)** と **[Events] (イベント)**: オンとオフを切り替えます。



- **[Messages]** (メッセージ) と **[Calls]** (通話): **[From anyone]** (全員を許可)、**[From contacts only]** (連絡先のみを許可)、**[From starred contacts only]** (星付きの連絡先のみを許可)、または **[none]** (許可しない) を選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
- **[Repeat callers]** (繰り返しの発信者): 同じ人から 15 分以内に再び着信があった場合に TC56 の着信音を再生するかどうかを選択します。

通知に優先度を設定したら、**[Priority only]** (優先通知のみ) モードをオンにして通知を制限します。優先通知の着信音と振動は、現在の設定ボリュームに基づきます。その他の通知はミュートになります。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. **[Do not disturb]** (非通知) > **[Priority only]** (優先通知のみ) をタッチします。
3. **[Until you turn it off]** (オフにするまで) を選択するか、一定の期間を選択します。
4. **[Done]** (完了) をタップします。



**[Priority Only]** (優先通知のみ) がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

**[Priority Only]** (優先通知のみ) をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、**[Priority Only]** (優先通知のみ) をタッチします。

## 音と振動の自動的なブロック



### 一定時間での音のミュート

夜間や週末など、特定の時間帯に TC56 を自動的にミュートするには、時間帯のルールを設定します。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  **[Sound]** (サウンド) > **[Do not disturb]** (非通知) > **[Automatic rules]** (自動ルール) をタッチします。
3. デフォルトの **[Weekend]** (週末) または **[Weeknight]** (平日の夜) をタッチします。または、新しいルールを作成するには、**[Add rule]** (ルールの追加)、**[Time rule]** (時間ルール) の順にタッチします。
4. 新しいルールを編集するには、次の手順に従います。
  - **[Rule name]** (ルール名): ルールに名前を付けます。
  - **[Days]** (日数)、**[Start time]** (開始時刻)、**[End time]** (終了時刻): ルールのスケジュールを設定します。
  - **[Do not disturb]** (非通知): ルールで **[Alarms only]** (アラームのみ)、**[Priority only]** (優先通知のみ)、**[Total silence]** (完全非通知) のいずれを使用するかを選択します。
5. **[On/Off]** (オン/オフ) テキストまたは上部のスイッチをタッチしてルールをオンにします。



### イベントおよび会議でのミュート

イベントまたは会議中に TC56 を自動的にミュートするには、イベント ルールを設定します。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  **[Sound]** (サウンド) > **[Do not disturb]** (非通知) > **[Automatic rules]** (自動ルール) をタッチします。
3. デフォルトのルールを編集するには、**[Event]** (イベント) をタッチします。また、新しいルールを作成するには、**[Add rule]** (ルールの追加) > **[Event rule]** (イベントルール) をタッチします。
4. ルール設定を編集します。
  - **[During events for]** (次のイベント中): ルールで使用する Google カレンダーのイベントを選択します。

- **[Where reply is]** (返信の必要性): オプション: **[Yes, Maybe, or Not replied]** (必要、不明、または不要)、**[Yes or Maybe]** (必要または不明)、または **[Yes]** (必要)。
  - **[Do not disturb]** (非通知): ルールで **[Priority only]** (優先通知のみ)、**[Alarms only]** (アラームのみ)、**[Total silence]** (完全非通知) のいずれを使用するかを選択します。
5. 上部の **[On/Off]** (オン/オフ) スイッチをタッチしてルールをオンにします。

## サウンドをオンに戻す

TC56 が **[Do not Disturb]** (非通知) モードになっている場合、**[Alarms only]** (アラームのみ)/**[Priority only]** (優先通知のみ) 、または **[Total silence]** (完全非通知)  が表示されます。

**[Do not Disturb]** (非通知) をオフにするには、次のどちらかの手順に従います。

- クイック アクセス パネルで、**[Alarms only]** (アラームのみ)、**[Priority only]** (優先通知のみ)、または **[Total silence]** (完全非通知) をタッチします。
- 音量下ボタンを押して、**[End Now]** (今すぐ終了) をタッチします。

## 特定アプリの非通知の上書き

特定のアプリの通知を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[Settings]** (設定) >  **[Notifications]** (通知) を開きます。
2. アプリをタッチします。
3. **[Override Do Not Disturb]** (非通知を上書き) をタッチします。

## アプリケーション

**[APPS]** (アプリ) 画面には、インストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。次の表に、TC56 にインストールされているアプリケーションの一覧を示します。アプリケーションのインストールおよびアンインストールの詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

表 7 アプリケーション





アイコン	説明
	<b>[ActiveEdge Touch Zone]</b> (ActiveEdge タッチ ゾーン) - 他のワークフロー アプリケーションやタスクの途中で、主要機能やアプリケーションにすばやく簡単にワンタッチでアクセスできるようにします。
	<b>[AppGallery]</b> - TC56 にインストールできるユーティリティおよびデモンストレーション アプリケーションへのリンクを表示します。
	<b>[Battery Management]</b> (バッテリー管理) - 充電レベル、ステータス、健全性、消耗レベルなどのバッテリー情報を表示します。
	<b>[Battery Swap]</b> (バッテリー交換) - バッテリーの交換時、デバイスをバッテリー交換モードにするために使用します。

表 7 アプリケーション ( 続き )

アイコン	説明
	[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) - バーコードをスキャンして TC56 と RS507 ハンズフリー イメージャをペアリングするために使用します。
	[Calculator] (電卓) - 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[Calendar] (カレンダー) - イベントおよび予定を管理するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[Calendar] (カレンダー) - イベントおよび予定を管理するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Chrome] (Chrome) - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Chromium] - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。GMS が未搭載の TC56 のみ。
	[Clock] (時計) - 予定にアラームを利用したり、目覚ましとして使用したりします。
	[Contacts] (連絡先) - 連絡先の情報を管理するために使用します。詳細については、 <a href="#">96 ページの「連絡先」</a> を参照してください。
	[DataWedge] - イメージャを使用したデータ収集を可能にします。
	[Device Central] - TC56 および接続された周辺機器に関して詳細情報を表示します。詳細については、 <a href="#">89 ページの「Device Central」</a> を参照してください。
	[Diagnostic Tool] (診断ツール) - TC56 の診断に使用します。
	[Downloads] (ダウンロード) - すべてのダウンロード ファイルをリストします。
	[Drive] (ドライブ) - 写真、ビデオ、ドキュメント、およびその他のファイルを個人用ストレージ サイトにアップロードします。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Duo] (デュオ) - 1 対 1 のビデオ通話が可能なアプリケーションです。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。

表 7 アプリケーション ( 続き )

アイコン	説明
	[DWDemo] - イメージャを使用したデータ収集機能のデモンストレーションを行うことができます。詳細については、 <a href="#">115 ページの「DataWedge のデモンストレーション」</a> を参照してください。
	[Email] ( 電子メール ) - 電子メールを送受信するために使用します。
	[File Browser] ( ファイル ブラウザ ) - TC56 上のファイルを整理および管理します。詳細については、 <a href="#">92 ページの「ファイル ブラウザ」</a> を参照してください。
	[Gallery] ( ギャラリー ) - microSD カードに保存されている写真を表示するために使用します。詳細については、 <a href="#">102 ページの「ギャラリー」</a> を参照してください。GMS が未搭載の TC56 のみ。
	[Gmail] - Google メール アカウントを使用して電子メールを送受信するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Google] - Google 検索アプリケーションを起動します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Maps] ( マップ ) - 地図上で自分がいる場所を表示するために使用します ( 公共の乗り継ぎ、交通、または衛星オーバーレイを使用します )。目的の会社や場所を検索します。車、自転車、徒歩、公共の交通機関で移動するユーザーのために、音声ガイド付きのナビゲーションを提供し、渋滞回避情報や迂回ルートも表示します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Messaging] ( メッセージング ) - SMS および MMS メッセージを送信します。詳細については、 <a href="#">94 ページの「メッセージング」</a> を参照してください。
	[Music] ( 音楽 ) - microSD カードに保存されている音楽を再生します。GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[Notes] ( メモ ) - メモを取って保存するために使用します。
	[Phone] ( 電話 ) - 一部の Voice Over IP (VoIP) クライアントとの使用時に、携帯電話で電話をかける、または電話番号をダイヤルするために使用します。
	[Photos] ( 写真 ) - 写真を Google アカウントと同期するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Play Movies & TV] ( Play ムービー & TV ) - デバイスでムービーとビデオを表示します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。

表 7 アプリケーション ( 続き )

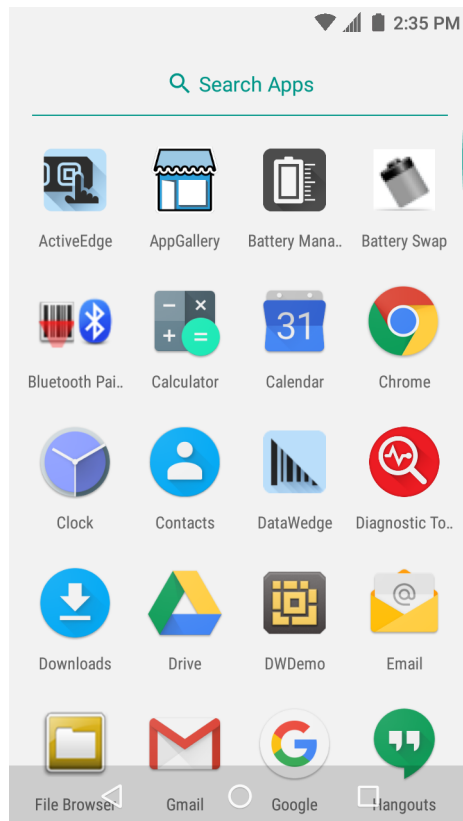
アイコン	説明
	[Play Music] (Play ミュージック) - 音楽を聴くために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Play Store] (Play ストア) - 音楽、ムービー、書籍、Android アプリ、ゲームを Google Play ストアからダウンロードします。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[PTT Express] - VoIP 通信用の PTT Express クライアントの起動に使用します。
	[RxLogger] - デバイスおよびアプリケーションに関する問題を診断するために使用します。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。
	[RxLogger Utility] (RxLogger ユーティリティ) - RxLogger のデータの表示、バックアップ、およびアーカイブに使用します。
	[Search] (検索) - GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[Settings] (設定) - TC56 の設定に使用します。
	[SimulScan Demo] (SimulScan デモ) - TC56 の文書収集機能をデモンストレーションする際に使用します。
	[SMARTMU] - 知的診断アプリケーションです。周辺領域を診断し、受信範囲の穴の検出や付近のアクセスポイントなど、ネットワークに関する統計情報を表示します。
	[Snapdragon Camera] (Snapdragon カメラ) - 写真を撮ったり、ビデオを録画したりします。詳細については、 <a href="#">97 ページの「カメラ」</a> を参照してください。
	[Sound Recorder] (サウンドレコーダ) - 音声を録音するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[StageNow] (StageNow) - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、デバイスを初めて使用する際にステージングを行うことができます。
	[Voice Search] (音声検索) - 質問することで検索を実行させるために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[YouTube] - YouTube Web サイトでビデオを観るために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。

## アプリケーションへのアクセス

デバイスにインストールされたすべてのアプリケーションには、[APPS] (アプリ) ウィンドウを使用してアクセスできます。

1. ホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプします。

図 41 アプリ ウィンドウの例



2. [APPS] (アプリ) ウィンドウを左か右にスライドすると、その他のアプリケーション アイコンが表示されます。アプリケーションを開くには、アイコンをタッチします。

ホーム画面にショートカットを作成する方法の詳細については、[48 ページの「アプリケーション ショートカットとウィジェット」](#)を参照してください。

## 最近使用したアプリケーションの切り替え


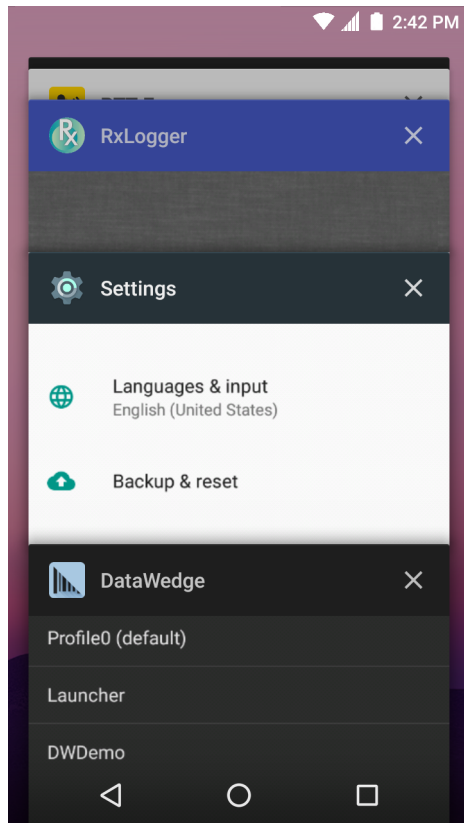
1.  をタッチします。最近使用したアプリケーションのアイコンが表示されたウィンドウが画面に表示されます。



図 42 最近使用したアプリケーション



2. ウィンドウを上下にスライドすると、最近使用したすべてのアプリケーションを表示できます。
3. 左か右にスワイプすると、リストからアプリケーションを削除して、強制的にそのアプリケーションを終了します。
4. アイコンをタッチするとアプリケーションが開きます。◀をタッチすると現在の画面に戻ります。

## 画面のロック解除

[Lock screen] (画面のロック) を使用して、TC56 上のデータへのアクセスを保護します。電子メール アカウントによっては、画面をロックする必要があります。ロック機能の設定の詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

画面がロックされた場合、デバイスのロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要になります。電源ボタンを押すと、画面がロックされます。また、事前に定義したタイムアウト時間が経過した場合もデバイスがロックされます。

電源ボタンを押してから放すと、画面が戻ってきます。

ロック画面が表示されます。画面を上をスワイプしてロックを解除します。

[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能を有効にしている場合は、ロック画面ではなく、パターン画面が表示されます。

[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能を有効にしている場合は、画面をロック解除した後、PIN またはパスワードを入力します。

図43 ロック画面

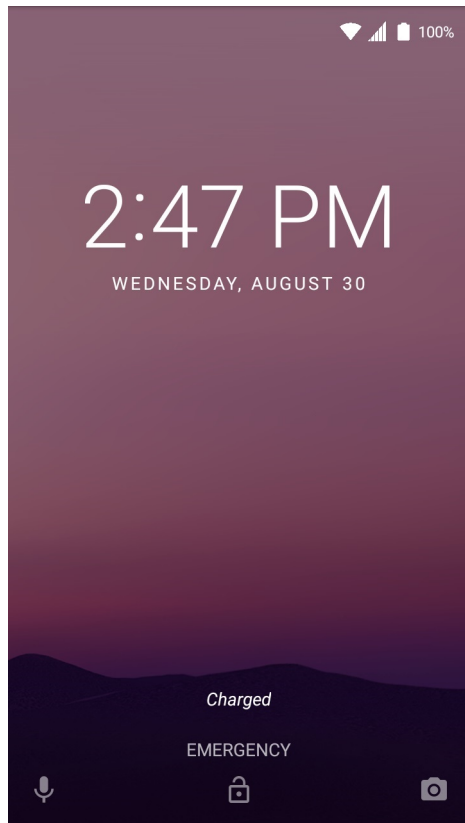




図44 PIN 画面

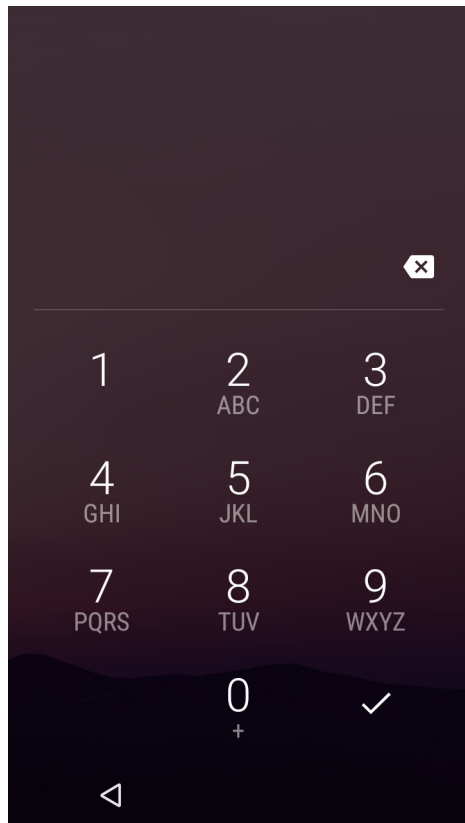


図45 パターン画面

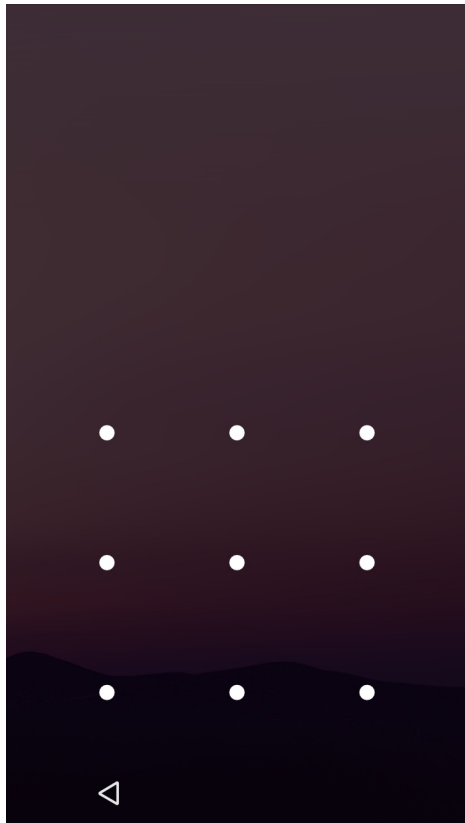
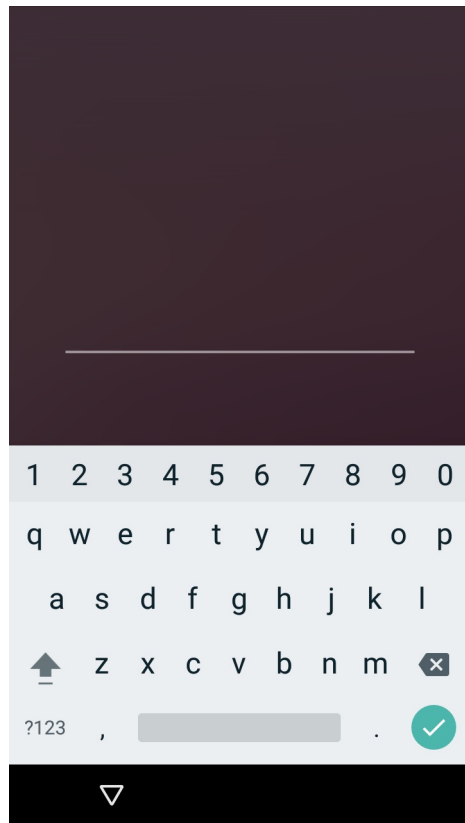


図 46 パスワード画面



---

## デバイスのリセット

リセット機能には、ソフト リセットとハード リセットの 2 種類があります。

### ソフト リセットの実行

アプリケーションが応答を停止した場合は、ソフト リセットを実行します。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを長押しします。
2. **[Reset] (リセット)** をタッチします。
3. デバイスが再起動します。

### ハード リセットの実行



注意: TC56 に microSD カードが取り付けられている状態でハード リセットを実行すると、microSD カードの損傷やデータ破損が発生する可能性があります。

TC56 が応答を停止した場合は、ハード リセットを実行します。

1. 電源ボタン、PTT ボタン、および音量上げボタンを 4 秒以上同時に押します。
2. 画面がオフになったら、ボタンを放します。
3. TC56 が再起動します。

## サスペンド モード

ユーザーが電源ボタンを押した、または使用しないまま指定した時間 ([Display] (ディスプレイ) 設定ウィンドウで設定) が経過した場合、TC56 はサスペンド モードに入ります。

TC56 をサスペンド モードからウェイクアップするには、電源ボタンを押します。

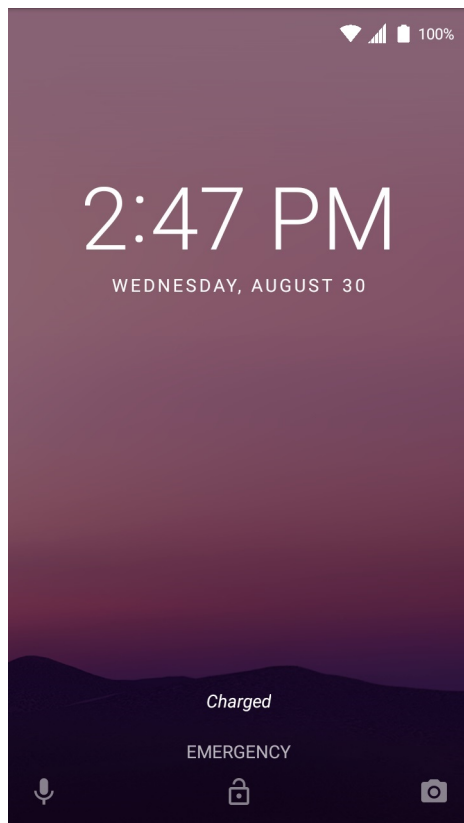
ロック画面が表示されます。画面を上から下にスワイプしてロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能を有効にしている場合は、ロック画面ではなく、パターン画面が表示されます。[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能を有効にしている場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。[59 ページ](#)の「[画面のロック解除](#)」を参照してください。



注: 間違った PIN、パスワードまたはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 秒待たなければなりません。

PIN、パスワードまたはパターンを忘れてしまった場合は、システム管理者に連絡してください。

図 47 ロック画面



## USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する

USB 充電ケーブルまたは 1 スロット USB クレードルを使用して TC56 をホスト コンピュータに接続し、TC56 とホスト コンピュータ間でファイルを転送します。詳細については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。

TC56 をホスト コンピュータに接続する際には、ファイルを破損しないように、USB デバイスの接続および接続解除の際はホスト コンピュータの指示に従ってください。

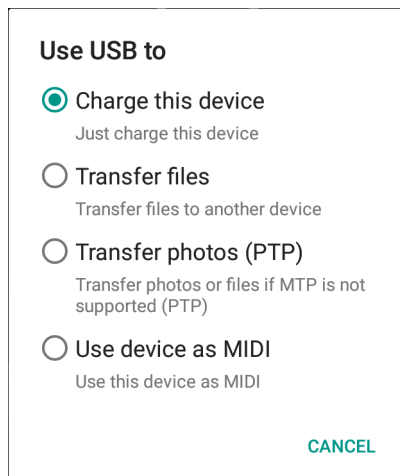
## メディア転送プロトコルを使用してファイルを転送する



注: メディア転送プロトコル (MTP) を使用して、TC56 (内部メモリまたは microSD カード) とホスト コンピュータ間でファイルをコピーします。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続するか、TC56 を 1 スロット USB/充電専用クレードルに配置します。セットアップ情報については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。
2. [Notifications] (通知) パネルを表示して、[USB charging this device] (USB でこのデバイスを充電中) をタッチします。

図 48 [Use USB] (USB の用途) ダイアログ ボックス



3. [Transfer files] (ファイルの転送) をタッチします。
4. ホスト コンピュータ上で、ファイル エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. ポータブル デバイスとして表示される **TC56** を探します。
6. **SD カード**または内部ストレージ フォルダを開きます。
7. 目的に応じて、TC56 とホスト コンピュータ間でファイルのコピーまたは削除を行います。

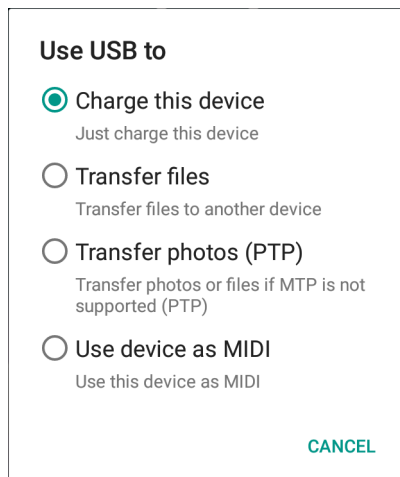
## 写真転送プロトコルを使用してファイルを転送する



注: 写真転送プロトコル (PTP) を使用して、microSD カード または内部メモリからホスト コンピュータに写真をコピーします。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続するか、TC56 を 1 スロット USB/充電専用クレードルに配置します。セットアップ情報については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。
2. [Notifications] (通知) パネルを表示して、[USB charging this device] (USB でこのデバイスを充電中) をタッチします。

図 49 [Use USB] (USB の用途) ダイアログ ボックス



3. [Transfer photos (PTP)] (写真の転送 (PTP)) をタッチします。
4. ホスト コンピュータ上で、ファイル エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. SD カードまたは内部ストレージ フォルダを開きます。
6. 目的に応じて、写真のコピーまたは削除を行います。

## ホスト コンピュータから切断する



注意: 情報がなくなってしまうよう、ホスト コンピュータの指示に従って、慎重に microSD カードをアンマウントし、USB デバイスの接続を正しく切断します。

1. ホスト コンピュータで、デバイスをアンマウントします。
2. USB 充電ケーブルをデバイスから取り外すか、デバイスをクレードルから取り外します。

# 通話

---

## はじめに

[Phone] (電話) アプリケーション、[Contacts] (連絡先) アプリケーションまたはその他のアプリケーション、あるいは連絡先情報を表示するウィジェットから電話をかけます。

---

## 緊急通話

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な緊急電話番号 (110 や 119 など) を 1 つまたは複数用意しています。この番号には、電話がロックされている場合や SIM カードが装着されていない場合、電話が有効でない場合でも電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードにプログラムすることができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用する場合は、デバイスに SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。



注: 緊急番号は、国によって異なります。電話機にあらかじめ設定されている緊急番号はあらゆる地域で使用できるわけではありません。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

---

## 音声モード

デバイスは、通話中に使用できる 3 種類の通話音声モードを備えています。

- **ハンドセット モード:** デバイスの前面上部にあるレシーバから音声が出力され、デバイスをハンドセットとして使用できます。デフォルトのモードです。
- **スピーカ モード:** デバイスをスピーカ フォンのように使用できます。
- **ヘッドセット モード:** Bluetooth ヘッドセットまたは有線ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

---

## Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットをデバイスに接続する方法については、[155 ページの「Bluetooth」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカ フォンはミュートになります。

---

## 有線ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、有線ヘッドセットとオーディオアダプタを使用して音声通信を行うことができます。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。有線ヘッドセットを接続すると、スピーカフォンはミュートになります。

有線ヘッドセットによる通話を終了するには、通話が終了するまでヘッドセット ボタンを長押しします。

図 50 3.5 mm ヘッドセット アダプタ



---

## 音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、音量ボタンを使用します。



注: 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。



## ダイヤラを使用して電話をかける

ダイヤラ タブを使用して電話番号をダイヤルします。



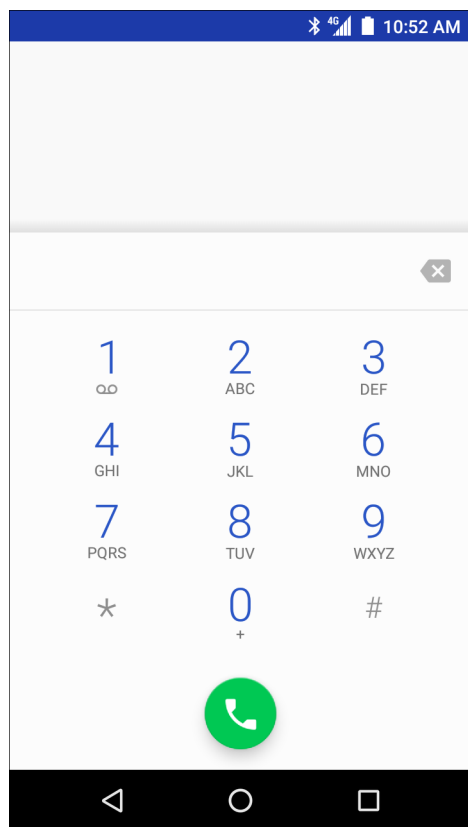
1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。

図 51 ダイヤラ画面




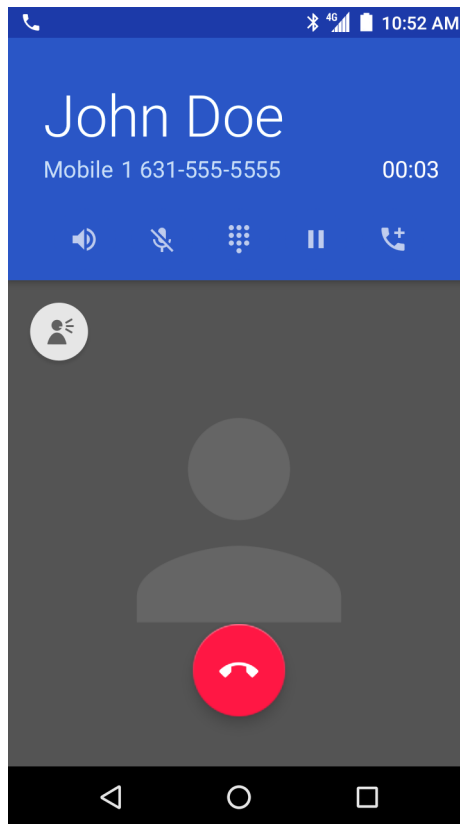







3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。

図 52 通話中

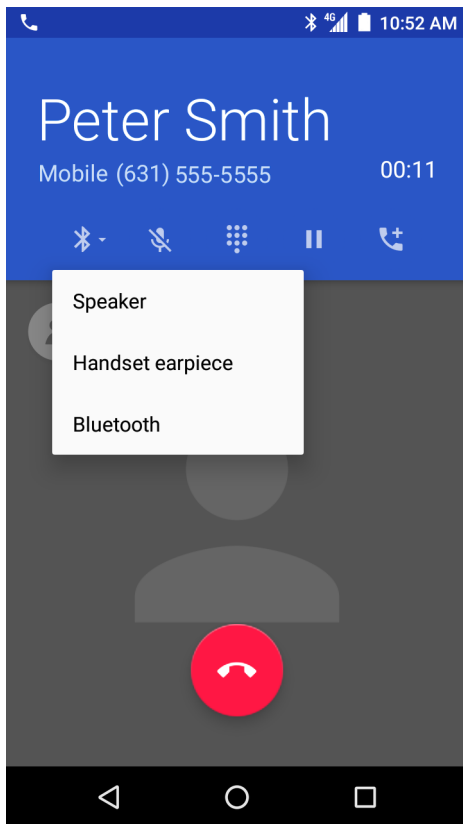


-  - タッチして、スピーカ フォンに音声を送ります。
-  - タッチして、通話をミュートにします。
-  - タッチして、ダイヤル パッドを表示します。
-  - タッチして、通話を保留にします (一部のサービスでは利用できません)。
-  - タッチして、会議通話を作成します。
-  - タッチして、音声のボリュームを上げます。

5. 通話を終了するには、 をタッチします。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、詳細な音声オプションが利用できます。音声アイコンをタッチして、音声メニューを開きます。

図 53 Bluetooth 音声オプション



- - 音声 Bluetooth ヘッドセットに送られていることを示します。
- - 音声 スピーカフォンに送られていることを示します。
- - 音声 イヤホンに送られていることを示します。

## ダイヤラのダイヤル オプション

ダイヤラでは、ダイヤルした番号を連絡先に保存するオプション、ダイヤル文字列に一時停止と待機を挿入するオプション、また通話設定を行うオプションが用意されています。オプションにアクセスするには、少なくとも 1 桁を入力します。以下のオプションにアクセスするには、 をタッチします。

- **[Add 2-sec pause] (2 秒間の一時停止を追加)** - 2 秒間一時停止してから次の数字をダイヤルします。連続して複数の一時停止を追加できます。
- **[Add wait] (待機を追加)** - 残りの桁の送信確認を待機します。

## 連絡先を使用して電話をかける

連絡先を使用して電話をかける方法は 2 通りあります。

- ダイヤラの使用
- 連絡先アプリケーションの使用

### ダイヤラの使用



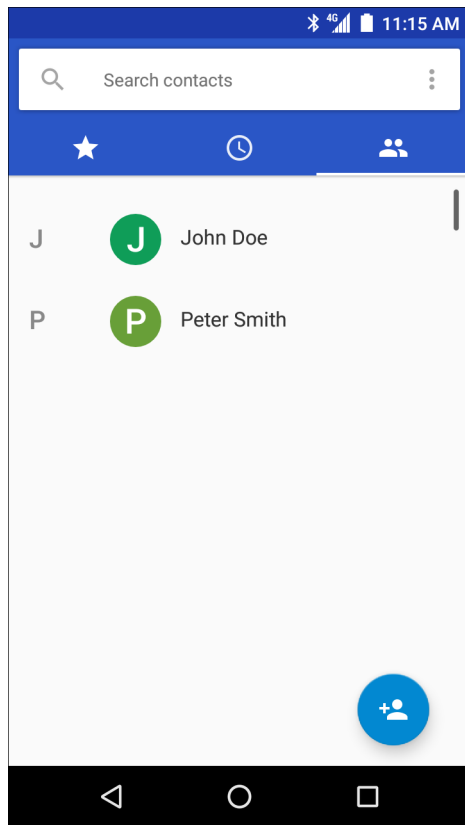


1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  タブをタッチします。

図 54 ダイヤラの連絡先タブ



3. 連絡先をタッチします。
4. 通話を開始するには、 をタッチします。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

## 連絡先アプリケーションの使用

連絡先アプリケーションを使用して電話をかけるには、以下の手順に従います。


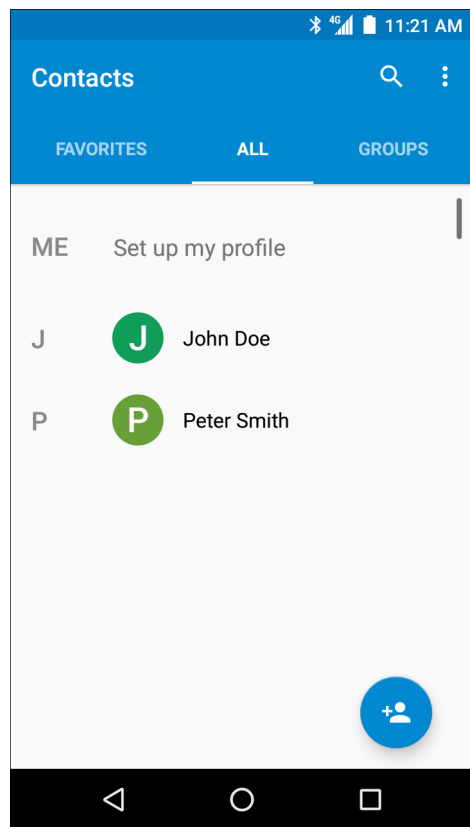
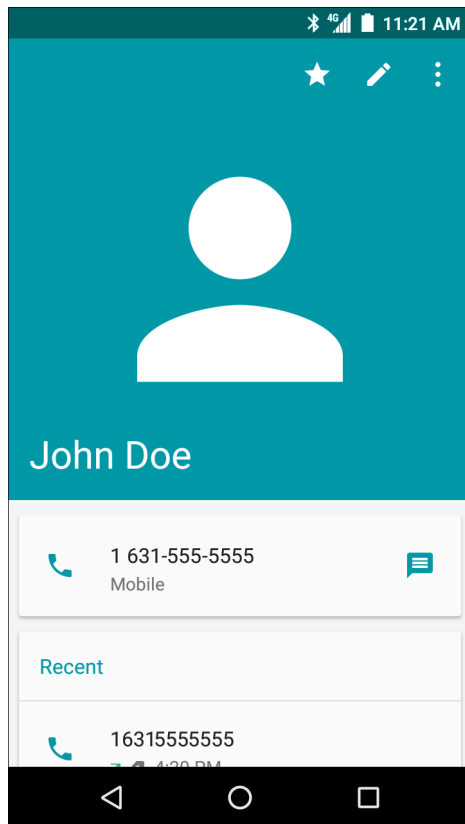
1.  をタッチします。

図 55 連絡先アプリケーション



2. 連絡先の名前をタッチします。

図 56 連絡先情報






3. タッチして通話を開始します。

## 通話履歴を使用して電話をかける

通話履歴とは、発信、着信、または不在着信したすべての通話リストになります。リダイヤル、折り返し、連絡先への番号の追加などを行う際に便利です。

通話の横にある矢印アイコンで通話の種類を示しています。複数の矢印は複数の通話を示しています。

-  - 不在着信
-  - 応答した着信
-  - 発信



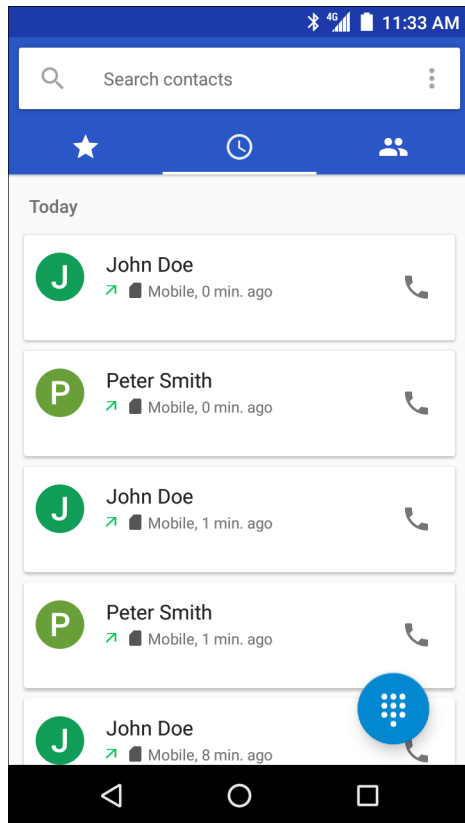


1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  タブをタッチします。

図 57 通話履歴タブ








3. 連絡先の横にある  をタッチして、通話を開始します。
4. 連絡先をタッチして、他の機能を実行します。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

## GSM で会議通話を確立する

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。



注：一部のサービスでは、会議通話機能を使用できないことがあります。また、会議通話数が異なる場合があります。会議通話機能の可否については、サービス プロバイダにお問い合わせください。

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
5. 電話がつながったら、 をタッチします。  
1 番目の通話相手が保留になります。
6.  をタッチします。
7. キーをタッチし、2 番目の電話番号を入力します。


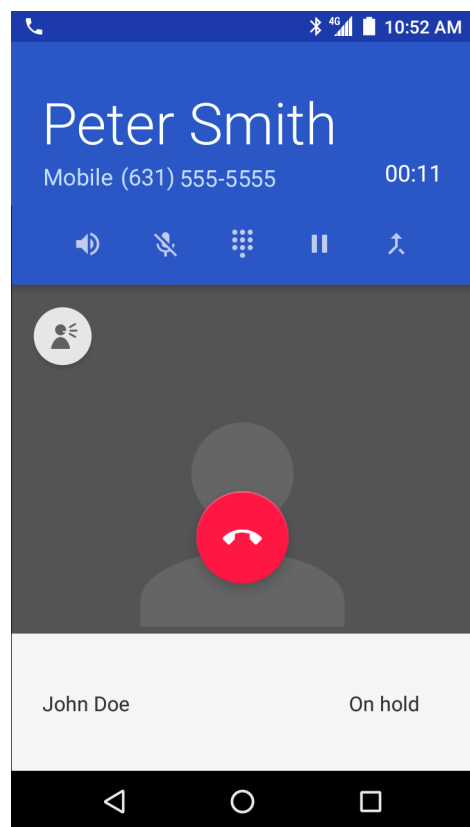
8. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
9. 電話がつながると、1 番目の通話が保留になり、2 番目の通話がアクティブになります。

図 58 2 つの通話




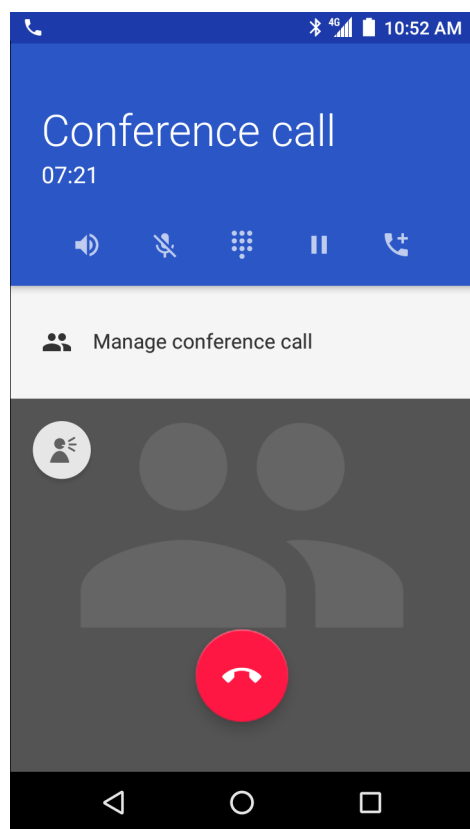
10.  アイコンをタッチして、3 者による会議通話を作成します。



図 59 通話の結合







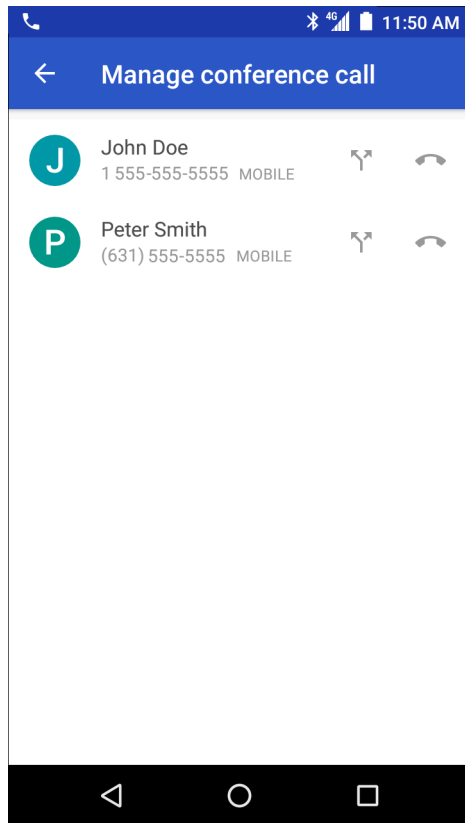



11. 別の通話を追加するには、 をタッチします。  
会議通話が保留になります。
12.  をタッチします。
13. キーをタッチし、別の電話番号を入力します。
14. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
15. 3 番目の通話を会議に追加するには、 アイコンをタッチします。
16. **[Manage Conference call]** (会議通話の管理) をタッチし、すべての通話者を表示します。

図 60 通話の結合解除



17. 会議から 1 人の通話者を除外するには、その通話者の隣にある  をタッチします。

会議通話中に 1 人の相手とプライベートな会話を行うには、 をタッチします。すべての通話相手を再度参加させるには、 をタッチします。

---

## Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける

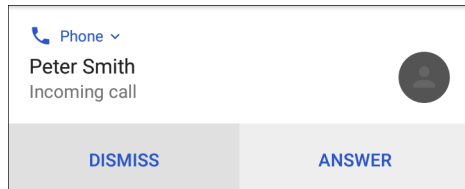
Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかけるには、以下の手順に従います。

1. Bluetooth ヘッドセットとのペアリングを行います。
2. Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。
3. 通話を終了するには、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

## 通話への応答

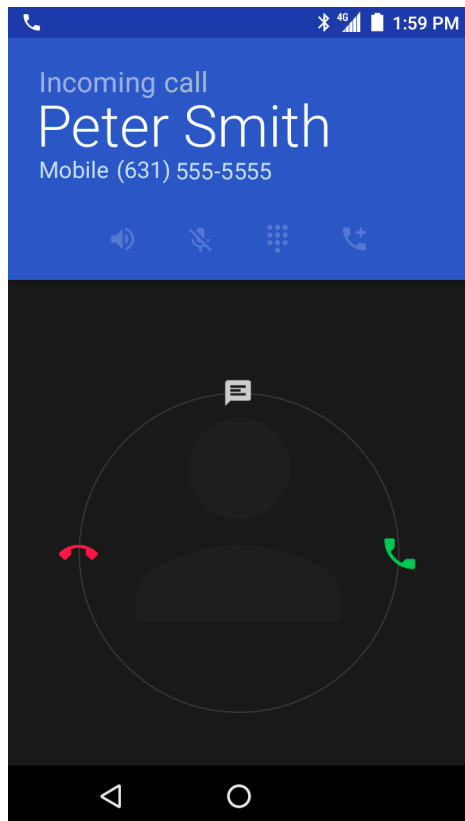
電話がかかってくると、[Incoming Call] (着信) 画面が開き、発信者 ID と [Contacts] (連絡先) アプリケーションにある発信者に関する情報が表示されます。

図 61 [Incoming Call] (着信) 画面






[Answer] (応答) をタッチして応答するか、[Dismiss] (終了) をタッチして通話者に留守電を残してもらいます。画面ロックを有効にしている場合でも、ロック解除をせずに通話に応答することができます。

図 62 着信ロック画面



電話がかかってきたら、白い電話アイコンをタッチして、次のいずれかのアイコンまでスライドします。

-  [Answer call] (通話に応答) - 発信者との通話を開始します。
-  [Send to voice mail] (留守電) - 発信者に留守電メッセージを残してもらいます。
-  [Send a message] (メッセージを送信) - クイック テキスト応答のリストを開きます。いずれかをタッチし、発信者にただちに送信します。

通話が終了しても、デバイスはロックされたままです。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、着信したら、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンをタッチして応答します。通話を終了するには、ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

すべての着信は、[Phone] (電話) アプリケーションの [Call log] (コール ログ) タブに記録されます。電話に出られなかった場合は、通知を受信します。電話に応答する前に着信音を無音にするには、デバイスの横にある音量を下げるボタンを押します。

## 通話設定



注: すべての設定ですべてのオプションが使用できるわけではありません。

通話機能に関連するオプションを変更するには、ホーム画面で  >  > [Settings] (設定) の順にタッチします。

- 表示オプション
  - [Sort by] (並び替え) - オプション: [First name] (名) または [Last name] (姓) 順に並び替えます。
  - [Name format] (名前の形式) - オプション: [First name first] (名姓順) または [Last name first] (姓名順) の形式にします。
- 着信音とバイブレーション
  - [Phone ringtone] (着信音) - タッチして、着信時に鳴る音を選択します。
  - [Also vibrate for calls] (着信時にバイブ) - オンにすると、着信時に振動します (デフォルトでは無効)。
  - [Dialpad tones] (ダイヤルパッド操作音) - オンにすると、電話キーにタッチしたときに音が鳴ります (デフォルトでは有効)。
- [Quick responses] (クイック レスポンス) - タッチして、通話に応答する代わりに使用するクイック レスポンスを編集します。
- [Speed dial settings] (短縮ダイヤルの設定) - 連絡先の短縮ダイヤルのショートカットを設定します。
- 通話
  - 通話アカウント
    - [SIP Accounts] (SIP アカウント) - デバイ스에追加されたアカウントのインターネット通話を受信する、SIP アカウントを表示または変更する、またはインターネット通話アカウントを追加する場合に選択します。
    - [Use SIP calling] (SIP 通話の使用) - オプション: [For all calls] (すべての通話) または [Only for SIP calls] (SIP 通話のみ) (デフォルト)。
    - [Receive incoming calls] (着信を受信) - 有効にすると、着信を許可します (デフォルト - 無効)。
  - [Voicemail] (ボイスメール) - タッチして、ボイスメール設定を行います。
    - [Service] (サービス) - ボイスメール サービスにサービス プロバイダまたは別のプロバイダを設定します。
    - [Setup] (設定) - タッチして、ボイスメールへのアクセスに使用する電話番号を更新します。
    - [Sound] (サウンド) - タッチして、ボイスメールの受信時に再生されるサウンドを選択します。
    - [Vibrate] (振動) - 振動オプションを設定します (デフォルト - 無効)。
  - [Fixed Dialing Numbers] (発信先固定) - [Fixed Dialing] (発信先固定) リストに指定された電話番号または市外局番以外をダイヤルできないようにデバイスを制限できます。
  - [Call forwarding] (自動転送) - 自動転送を使用して、着信を別の電話番号に転送します。



注: 自動転送は、すべてのネットワークで利用できるわけではありません。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダに確認してください。

- 追加設定
  - **[Caller ID] (発信者 ID)** - 発信者 ID により発信しているのが誰なのかを特定できます。オプション: **[Network default] (ネットワークのデフォルト)** (デフォルト)、**[Hide number] (番号の非表示)**、**[Show number] (番号の表示)**。
  - **[Call waiting] (割込通話)** - 通話中に別の着信があると通知します。
- **[Call barring] (発着信制限)** - 発着信制限を使用して、特定のタイプの着信および発信をブロックします。ブロックする着信および発信のタイプを選択します。
- **[Call Blocking] (通話のブロック)** - 特定の電話番号からの通話とテキストをブロックします。電話番号をブロックするには、**[ADD NUMBER] (番号の追加)** をタッチします。
- ユーザー補助
  - **[TTY mode] (TTY モード)** - タッチして、TTY 設定を行います。TC56 でオプションのテレタイプライタ (TTY) デバイスを使用し、通話の送受信を行います。TTY デバイスのプラグを TC56 のヘッドセット ジャックに接続して、TC56 がいずれかの TTY モードで動作するように設定します。



注: TSB-121 準拠ケーブル (TTY メーカー製) を使用して、TTY デバイスを TC56 に接続します。

正しく動作させるためには、TC56 の音量を中間レベルに設定します。誤字の数が多い場合は、エラー率を最小限に抑えるよう音量を必要に応じて調整してください。

最適なパフォーマンスを得るためには、TC56 は TTY デバイスから 30cm (12 インチ) 以上離してください。TC56 と TTY デバイスの距離が近すぎると、エラー率が高くなる場合があります。

- **[TTY off] (TTY オフ)** - TTY はオフです (デフォルト)。
- **[TTY Full] (TTY フル)** - TTY 文字を送受信します。
- **[TTY HCO]** - TTY 文字を送信しますが、受信はイヤホンで聞くことによって行います。
- **[TTY VCO]** - TTY 文字を受信しますが、送信はマイクで話すことによって行います。

# アプリケーション

---

## はじめに

このセクションでは、デバイスにインストールされているアプリケーションについて説明します。

---

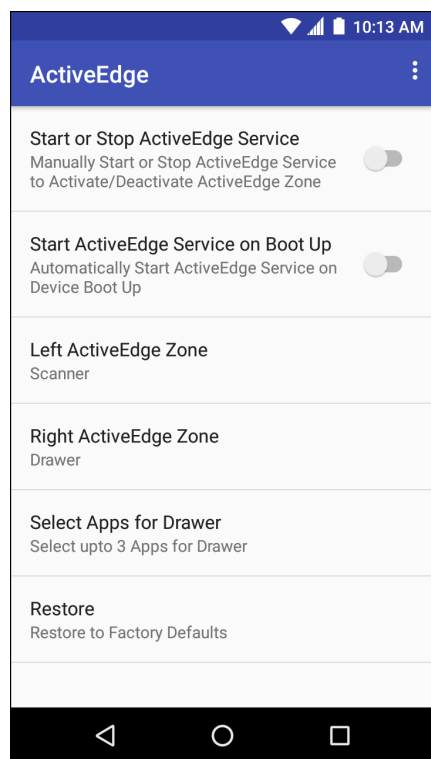
## ActiveEdge タッチ ゾーン

**ActiveEdge タッチ ゾーン** アプリケーションは、ユーザーが別のアプリケーションを使用している、あるいは別の作業を行っている場合に、よく使用する機能やアプリケーションにワンタッチですばやく簡単にアクセスできるよう設定を変更することができるアプリケーションです。設定を行うと、ディスプレイの周辺に配置されたソフト キーを使って頻繁に使用するアプリケーションや機能にアクセスできるようになります。



注: **ActiveEdge タッチ ゾーン**は、ディスプレイが [Portrait] (縦向き) モードに設定されているときのみ使用できます。

図 63 ActiveEdge アプリの設定



- **[Start or Stop ActiveEdge Service]** (ActiveEdge サービスの開始または停止) - タッチして、ActiveEdge サービスを開始または停止し、ActiveEdge ゾーンを有効または無効にします。
- **[Start ActiveEdge Service on Boot Up]** (起動時に ActiveEdge サービスを開始) - デバイスの起動時に自動的に ActiveEdge サービスを開始します。サービスは常に実行されているため、いつでも使用できます。
- **[Left ActiveEdge Zone]** (左 ActiveEdge ゾーン) - 左の ActiveEdge ゾーンを **[Scanner]** (スキャナ)、**[Drawer]** (ドロフ)、または **[None]** (なし) に設定します。
- **[Right ActiveEdge Zone]** (右 ActiveEdge ゾーン) -- 右の ActiveEdge ゾーンを **[Scanner]** (スキャナ)、**[Drawer]** (ドロフ)、または **[None]** (なし) に設定します。
- **[Select Apps for Drawer]** (ドロフのアプリを選択) - ドロフに表示するアプリケーションを 3 つまで選択できます。
- **[Restore]** (復元) - 設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。


[Settings] (設定) メニュー  > **[About]** (バージョン情報) を選択して、**[About ActiveEdge]** (ActiveEdge のバージョン情報) ウィンドウを開くと、バージョン番号が表示されます。

図 64 左右の ActiveEdge ゾーン

**Left ActiveEdge Zone**

☒ Scanner

☐ Drawer

☐ None

CANCEL

**Right ActiveEdge Zone**

☐ Scanner

☒ Drawer

☐ None

CANCEL



注: [Left ActiveEdge Zone] (左 ActiveEdge ゾーン) および [Right ActiveEdge Zone] (右 ActiveEdge ゾーン) は、[Scanner] (スキャナ)、[Drawer] (ドロワ)、[None] (なし) のいずれの組み合わせでも設定できます。ただし、両方のゾーンを [Drawer] (ドロワ) に設定することはできません。

[Left ActiveEdge Zone] (左 ActiveEdge ゾーン) または [Right ActiveEdge Zone] (右 ActiveEdge ゾーン) を [Drawer] (ドロワ) に設定する場合は、[Settings] (設定) メニューから [Select Apps for Drawer] (ドロワのアプリを選択) を選択し、メニュー オプション ボタン を選択します。次に、[Select Apps] (アプリを選択) を選択して、[Drawer] (ドロワ) に表示するアプリケーションを最大 3 つ選択します。

図 65 [Select Apps for Drawer] (ドロワのアプリを選択)

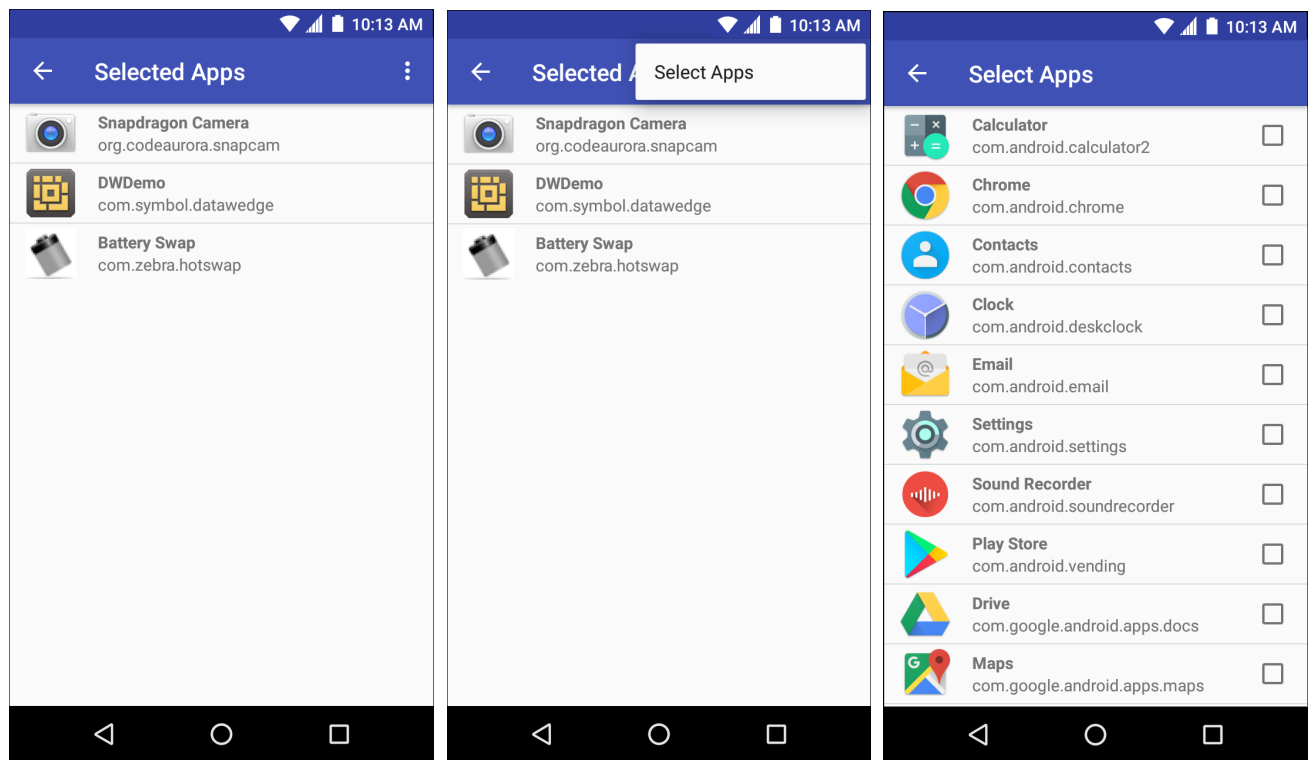
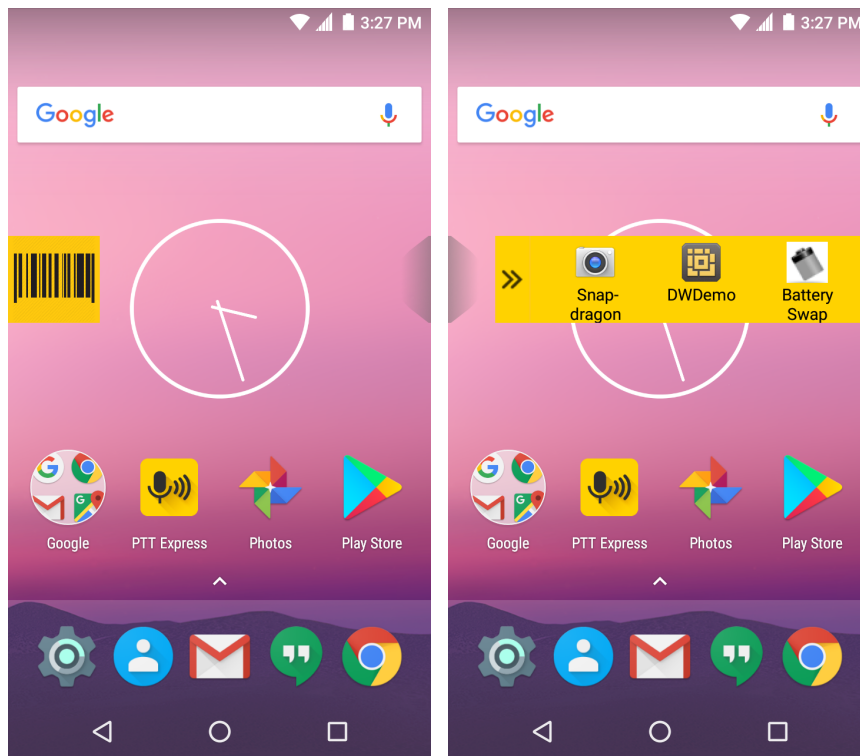




図 66 ActiveEdge タッチ ゾーンのスフト キー



図 67 [Left ActiveEdge Zone] (左 ActiveEdge ゾーン) を [Scanner] (スキャナ) に設定、[Right ActiveEdge Zone] (右 ActiveEdge ゾーン) を [Drawer] (ドロワ) に設定している例



## バッテリー マネージャ

バッテリー マネージャ には、バッテリーに関する詳細情報が表示されます。

図 68 バッテリー マネージャ 画面

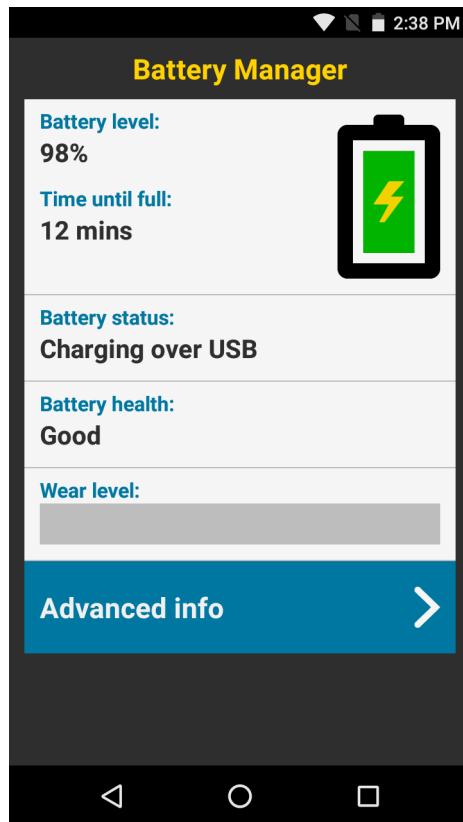






表 8 バッテリー アイコンの説明

バッテリー アイコン	説明
	バッテリー充電レベルを示します。
	バッテリーが充電中であることを示します。
	バッテリー充電レベルが 20% 未満であることを示します。

- **[Battery level]** (バッテリー レベル) - 現在のバッテリー充電レベルをパーセンテージで示します。レベルが不明の場合は、-% が表示されます。
- **[Time until full]** (完全充電までの時間) - バッテリーが完全に充電されるまでの時間を示します。
- **[Time since charging]** (充電時間) - デバイスが充電を開始してからの時間を示します。

- **[Time until empty]** (空になるまでの時間) - バッテリーが空になるまでの時間を示します。
- **[Battery status]** (バッテリー状態)
  - **[Not charging]** (未充電) - デバイスが AC 電源に接続されていないことを示します。
  - **[Charging over AC]** (AC から充電中) - デバイスが AC 電源に接続され、充電中であることを示します。
  - **[Charging over USB]** (USB から充電中) - デバイスが USB ケーブルでホスト コンピュータに接続され、充電中であることを示します。
  - **[Discharging]** (放電) - バッテリーが放電中であることを示します。
  - **[Full]** (フル) - バッテリーが完全に充電されていることを示します。
  - **[Unknown]** (不明) - バッテリーの状態が不明であることを示します。
- **[Battery Health]** (バッテリー健全性) - バッテリーの健全性を示します。重大なエラーが発生した場合は、が表示されます。タッチするとエラーの説明が表示されます。
  - **[Decommission]** (廃棄) - 寿命を過ぎているため、バッテリーを交換する必要があります。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Good]** (良好) - バッテリーは良好な状態です。
  - **[Charge error]** (充電エラー) - 充電中にエラーが発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Over Current]** (過電流) - 過電流状態が発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Dead]** (使用不可) - バッテリーは充電できません。バッテリーを交換します。
  - **[Over Voltage]** (過電圧) - 過電圧の状態が発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Below Temperature]** (温度低下) - バッテリーの温度が動作温度未満です。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Failure Detected]** (障害検出) - バッテリーに障害が検出されました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Unknown]** (不明) - システム管理者にお問い合わせください。
- **[Wear level]** (消耗レベル) - バッテリーの健全性をグラフ形式で示します。消耗レベルが 80% を超えると、バーの色が赤に変わります。
- **[Advanced info]** (詳細情報) - タッチして追加のバッテリー情報を表示します。
  - **[Battery present status]** (バッテリーの現在の状態) - バッテリーが完全に充電されている場合、現在の放電状態でバッテリーから得ることができる最大充電量 (mAh 単位) を示します。
  - **[Battery level]** (バッテリー レベル) - バッテリー充電レベルをパーセンテージのスケールで示します。
  - **[Battery scale]** (バッテリー スケール) - バッテリー レベル (100) を確認するために使用されます。
  - **[Battery voltage]** (バッテリー電圧) - 現在のバッテリー電圧をミリボルト単位で示します。
  - **[Battery temperature]** (バッテリー温度) - バッテリーの現在の温度 (摂氏) を示します。
  - **[Battery technology]** (バッテリー テクノロジー) - バッテリーの種類を一覧表示します。
  - **[Battery Current]** (バッテリー電流) - バッテリー電流を uA 単位で表示します (BSP 19-01.4 以降のビルドで使用できます)。
  - **[Battery manufacture date]** (バッテリー製造日) - 製造日を一覧表示します。
  - **[Battery serial number]** (バッテリー シリアル番号) - バッテリーのシリアル番号を一覧表示します。番号は、バッテリー ラベルに印刷されているシリアル番号と一致します。
  - **[Battery part number]** (バッテリー部品番号) - バッテリーの部品番号が表示されます。
  - **[Battery rated capacity]** (バッテリー定格容量) - バッテリーの容量を mAh 単位で表示します。

- **[Battery decommission status]** (バッテリー耐用ステータス) - バッテリーの耐用期間が過ぎているかどうかを示します。
  - **[Battery Good]** (バッテリー良好) - バッテリーは良好な状態です。
  - **[Decommissioned Battery]** (使用不可バッテリー) - 寿命を過ぎているため、バッテリーを交換する必要があります。
- **[Base cumulative charge]** (基本累積充電量) - Zebra 充電器のみを使用した累積充電量です。
- **[Battery present capacity]** (バッテリーの現在の容量) - バッテリーが完全に充電されている場合、現在の放電状態でバッテリーから得ることができる最大充電量です (BSP 19-01.4 以降のビルドで使用できます)。
- **[Battery health percentage]** (バッテリー健全性の割合) - 0 ~ 100 の範囲の割合です。「design\_capacity」の放電率で「design\_capacity」に対する「present\_capacity」の割合になります (BSP 19-01.4 以降のビルドで使用できます)。
- **[% decommission threshold]** (耐用しきい値 %) - Gifted バッテリーを 80% として、デフォルトの耐用しきい値を示します (BSP 19-01.4 以降のビルドで使用できます)。
- **[Battery present charge]** (バッテリーの現在の充電量) - 現在の放電状態で使用できるバッテリー残量を示します (BSP 19-01.4 以降のビルドで使用できます)。
- **[Battery total cumulative charge]** (バッテリー合計累積充電量) - すべての充電器の合計累積充電量を表示します (BSP 19-01.4 以降のビルドで使用できます)。
- **[Battery time since first use]** (初回使用時からのバッテリー使用時間) - 初めてバッテリーを Zebra ターミナルに取り付けてから経過した時間を表示します (BSP 19-01.4 以降のビルドで使用できます)。
- **[App version]** (アプリ バージョン) - アプリケーションのバージョン番号を一覧表示します。

## Device Central

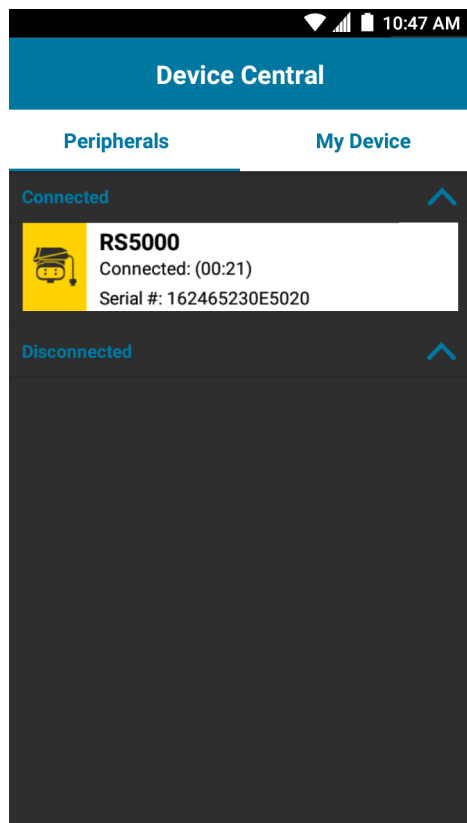
[Device Central] には、TC56 と接続済み周辺機器の詳細情報が表示されます。次の Zebra デバイスに対応しています。

- RS507 ハンズフリー イメージャ
- RS6000 Bluetooth リング スキャナ
- DS3678 デジタル スキャナ

Device Central の機能は次のとおりです。

- 対応周辺機器を Bluetooth または有線接続で検出し、ペアリングを行います。
- 接続済み RS6000 リング スキャナを呼び出します。
- 対応リング スキャナのファームウェアをアップデートします。Device Central を使用してリング スキャナ ファームウェアをアップデートする方法については、『RS5000 クイック スタート ガイド』または『RS6000 ユーザー ガイド』を参照してください。
- 周辺機器の接続状態を表示します。
- 接続済みの周辺機器の情報を通知バーに表示します。

図 69 [Device Central] 画面



## [Device Central] タブ

- **[Peripherals] (周辺機器)** タブ - 現在接続されている周辺機器と、以前に接続された周辺機器をすべて表示します。接続済みの周辺機器には、接続時間 (分単位) が表示されます。RS6000 が接続されると、**[Page] (呼び出し)** ボタンが表示されます。90 ページの「RS6000 リング スキャナの呼び出し」を参照してください。

周辺機器の情報をタッチすると、**[Device Details] (デバイスの詳細)** 画面が表示されます。

- **[Device Details] (デバイスの詳細)** - 選択した周辺機器の詳細なデバイス情報を表示します。
- **[My Device] (マイ デバイス)** タブ - WT6000 に関する情報、および Device Central の現在のバージョンを表示します。
- **[Device Details] (デバイスの詳細)** - **[About device] (デバイスのバージョン情報)** 画面を表示します。
- **[Device Battery Details] (デバイス バッテリーの詳細)** - **[Battery] (バッテリー)** 画面を表示します。

## RS6000 リング スキャナの呼び出し

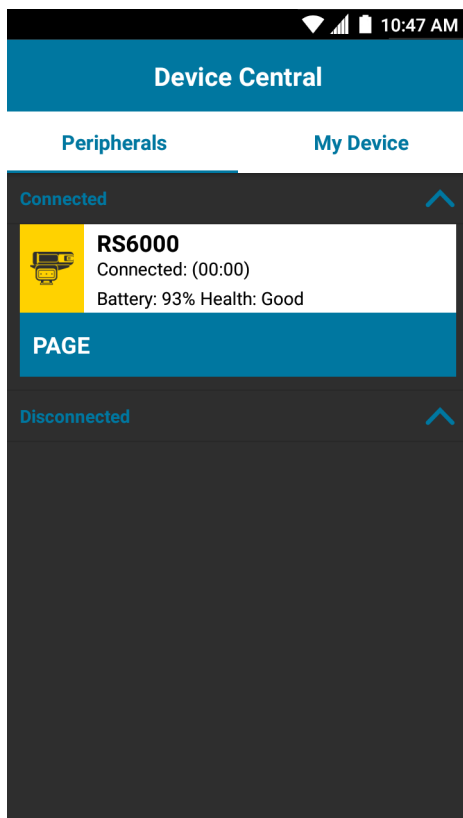
**[Page] (呼び出し)** ボタンを使用すると、現在接続されている RS6000 リング スキャナを簡単に見つけることができます。

1. RS6000 リング スキャナを接続している状態で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

注: RS6000 リング スキャナと TC56 の距離は 10m (32 フィート) 以内にしてください。

2. RS6000 の周辺機器情報で **[Page] (呼び出し)** をタッチして RS6000 の呼び出しを開始します。呼び出された RS6000 は、ビープ音を鳴らし振動します。

図 70 RS6000 の呼び出し



呼び出しを停止するには、RS6000 のスキャン トリガを押します。トリガがない RS6000 の場合は、RS6000 をリセットして呼び出しを停止します。『RS6000 ユーザー ガイド』を参照してください。

## ファイル ブラウザ

ファイル ブラウザ アプリケーションを使用して、デバイス上のファイルを表示および管理します。




ファイル ブラウザを開くには、画面の一番下から上にスワイプして、 をタッチします。


図 71 ファイル ブラウザ画面




アドレス バーに、現在のフォルダのパスが表示されます。パスとフォルダ名を手動で入力するには、現在のフォルダのパスをタッチします。

複数のファイル/フォルダを選択するには、 を使用します。

内部ストレージのルート フォルダを表示するには、 を使用します。

microSD カードのルート フォルダを表示するには、 を使用します。

前のフォルダを表示する、またはアプリケーションを終了するには、 を使用します。

項目の操作を行うには、その項目を長押しします。**[File Operations]** (ファイル操作) メニューからいずれかのオプションを選択します。

- **[Information]** (情報) - ファイルやフォルダに関する詳しい情報を表示します。
- **[Move]** (移動) - ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
- **[Copy]** (コピー) - 選択したファイルをコピーします。
- **[Delete]** (削除) - 選択したファイルを削除します。
- **[Rename]** (名前変更) - 選択したファイルを名前変更します。
- **[Open as]** (ファイルを指定して開く) - 選択したファイルを特定のファイル タイプとして開きます。
- **[Share]** (共有) - ファイルを他のデバイスと共有します。




☰をタッチすると、次のメニュー オプションが表示されます。

- **[New Folder]** (新しいフォルダ) - 新しいフォルダを作成します。
- **[Search]** (検索) - デバイス上の特定のファイルを検索します。
- **[Sort]** (並べ替え) - 名前、タイプ、サイズ、または日付でファイルを並べ替える場合の順序を選択します。
- **[Refresh]** (リフレッシュ) - 現在のフォルダをリフレッシュします。
- **[List View]** (リストビュー) - フォルダの表示形式をリストに変更します。
- **[Grid View]** (グリッドビュー) - フォルダの表示形式をグリッドに変更します。
- **[Change Size]** (サイズの変更) - アイコンのサイズを変更します。
- **[About File Browser]** (ファイル ブラウザのバージョン情報) - アプリのバージョンを表示します。

## メッセージング

SMS と MMS の各メッセージを送受信するには、[Messaging] (メッセージング) を使用します。

[Messaging] (メッセージ) を開くには、画面の一番下から上にスワイプして、 をタッチします。

### テキスト メッセージの送信


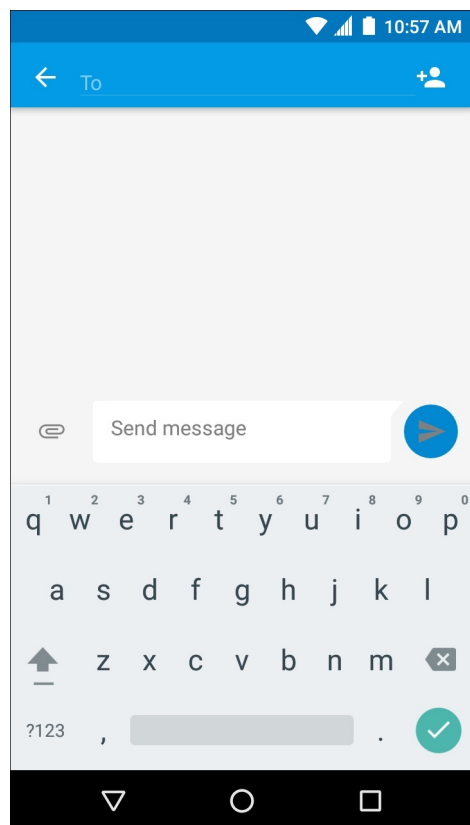

1. メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。

図 72 新しいテキスト メッセージ画面



2. [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。
3. [Send message] (メッセージを送信) フィールドにテキスト メッセージを入力します。  
160 文字制限のカウンタには残りの文字数が表示されます。制限を超えると、新しいメッセージが作成され、受信時に前のメッセージと結合されます。  
メッセージの作成中に [Back] (戻る) ボタンを押すと、下書きとして [Messaging] (メッセージング) 画面に保存されます。メッセージの作成を再開するには、会話をタッチします。
4.  をタッチして、メッセージを送信します。

### マルチメディア メッセージの送信



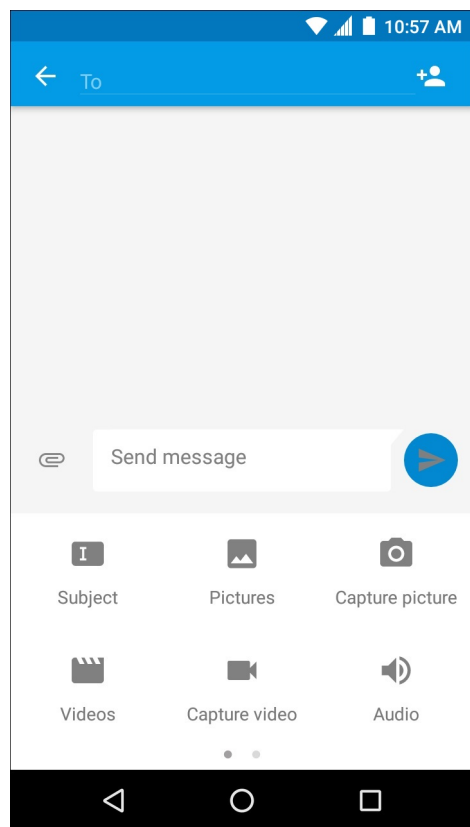

1. メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。
2. [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。
3.  をタッチして、選択したメディア ファイルを添付します。


図 73 新規のマルチメディア メッセージ画面




- **[Subject]** (件名) - メッセージの件名を入力します。
  - **[Pictures]** (画像) - 添付する画像を選択します。
  - **[Capture picture]** (写真撮影) - カメラが起動し、写真を撮影して添付します。
  - **[Videos]** (動画) - 添付する動画を選択します。
  - **[Capture video]** (ムービー撮影) - ビデオカメラが起動し、ビデオを録画して、メッセージに添付します。
  - **[Audio]** (オーディオ) - 添付するサウンド ファイルを選択します。
  - **[Record audio]** (オーディオの録音) - サウンド レコーダが起動し、話したメッセージを録音して、メッセージに添付します。
  - **[Slideshow]** (スライドショー) - テキスト、画像、ビデオ、および音声録音を最大 10 枚のスライドのスライドショーにまとめる画面が開き、メッセージに添付します。
  - **[Insert contact info]** (連絡先情報の挿入) - 連絡先アプリを開きます。1 つ以上の連絡先を選択して、連絡先情報をメッセージに挿入します。
  - **[Contact vCard]** (連絡先 vCard) - 連絡先の情報を送信します。
  - **[Import Template]** (テンプレートのインポート) - メッセージ テンプレートをインポートします。
4.  をタッチして、メッセージを送信します。

## 連絡先


[Contacts] (連絡先) アプリケーションを使用して、連絡先を管理します。

ホーム画面または [Apps] (アプリ) 画面で、 をタッチします。[People] (連絡先一覧) が開き、連絡先のメインリストが表示されます。連絡先は、画面の上部に 3 通りで表示されます: [Groups] (グループ)、[All contacts] (すべての連絡先)、[Favorites] (お気に入り)。タブをタッチすると、連絡先の表示方法が変化します。上下にスワイプして、リストをスクロールします。


### 連絡先の追加

1. [Contacts] (連絡先) アプリケーションで、 をタッチします。
2. 複数の連絡先をもつ複数のアカウントがある場合は、使用するアカウントをタッチします。
3. 連絡先の名前とその他の情報を入力します。フィールドをタッチして入力を開始し、下にスワイプしてすべてのカテゴリを表示します。
4. [Home] (ホーム) または [Work] (仕事) など、電子メール アドレスにプリセットのラベルを付けてメニューを開くには、連絡先情報の項目の右にあるラベルをタッチします。独自のラベルを作成する場合は、メニューで [Custom] (カスタム) をタッチします。
5. [Add New Contact] (新しい連絡先の追加) の横にあるチェック マークをタップします。

### 連絡先の編集

1. [Contacts] (連絡先) アプリケーションで、編集する連絡先の名前をタッチします。
2.  をタッチします。
3. 連絡先情報を編集します。
4. [Edit contact] (連絡先の編集) の横にあるチェック マークをタッチします。

### 連絡先の削除

1. [Contacts] (連絡先) アプリケーションで、削除する連絡先の名前をタッチします。
2.  をタッチします。
3. [Delete] (削除) をタッチします。
4. [DELETE] (削除) をタッチして確定します。

## カメラ

このセクションでは、内蔵デジタル カメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。



注: microSD カードを取り付けている場合、TC56 では、microSD カードに写真とビデオが保存されます。microSD カードが取り付けしていない場合は、内部ストレージに写真とビデオが保存されます。

### 写真の撮影



注: カメラの設定方法については、99 ページの「写真設定」を参照してください。


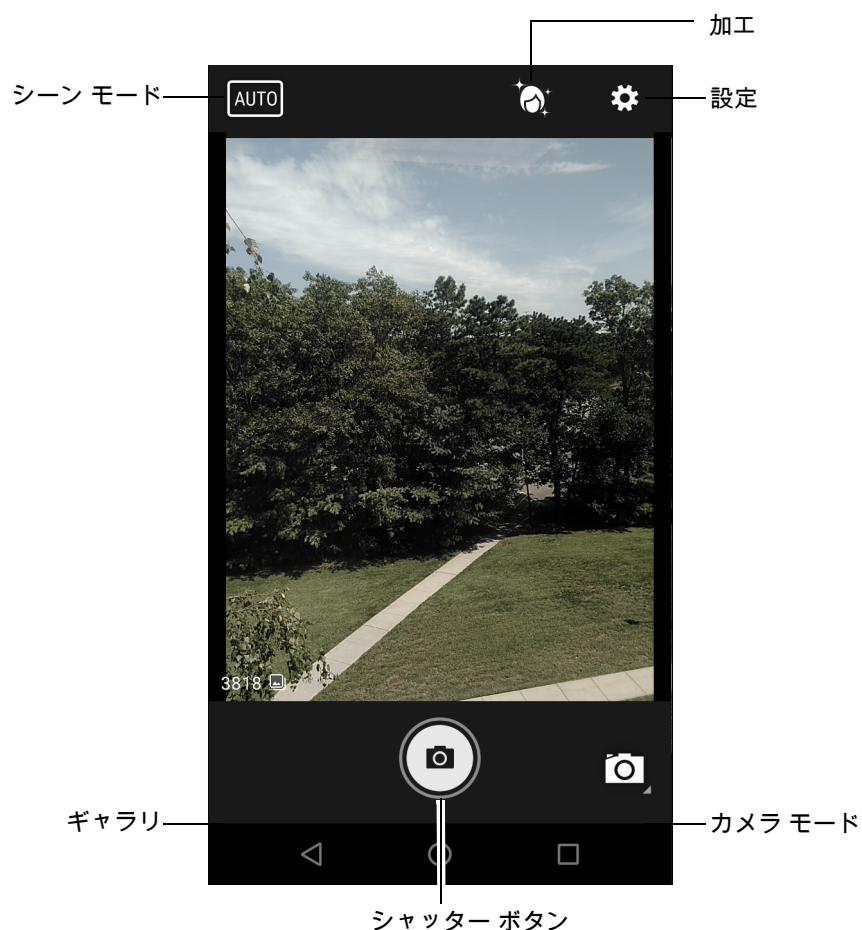


1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図 74 カメラ モード



2. 必要に応じて、[Camera Mode] (カメラ モード) アイコンをタッチして、 をタッチします。
3. 被写体を画面のフレームに合わせます。
4. ズームインまたはズームアウトを行うには、2 本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。
5. フォーカスする画面の領域をタッチします。フォーカス用の円が画面に表示されます。ピントが合うと、2 本のバーが緑色に変わります。

6.  をタッチします。  
カメラで写真が撮影され、シャッター音が鳴ります。  
撮影した写真は短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。

## パノラマ写真の撮影

パノラマ モードでは、場所 (シーン) をゆっくりパンすることにより、1 つの幅広い画像を撮影できます。





1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。


図 75 パノラマ モード



2. [Camera Mode] (カメラ モード) をタッチして、 をタッチします。
3. 撮影するシーンの片側をフレームに合わせます。
4.  をタッチして、撮影するエリア全体をゆっくりパンしていきます。撮影中は、小さな白い正方形がボタン内に表示されます。  
パンが速すぎると、「Too fast」(速すぎます) というメッセージが表示されます。
5.  をタッチして撮影を終了します。パノラマがすぐに表示され、画像を保存している間、進捗インジケータが表示されます。

## ビデオの録画

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。




2. オプション バーをタッチし、をタッチします。

図 76 ビデオ モード












3. カメラを向けて、シーンをフレームに合わせます。
4. ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。
5. をタッチして、録画を開始します。  
ビデオの録画が開始されます。録画残り時間が画面の左上に表示されます。
6. をタッチして、録画を終了します。  
撮影したビデオは短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。

## 写真設定


写真モードの場合は、写真設定が画面に表示されます。をタッチして、写真設定のオプションを表示します。










- **[Flash] (フラッシュ)** - タッチして、フラッシュの有無を露出計に判別させるか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
  -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします。
  -  **[Auto] (自動)** - 露出計に従って、カメラが自動的にフラッシュを調整します (デフォルト)。
  -  **[On] (オン)** - 写真を撮影するときにフラッシュが有効になります。
  -  **[Torch] (トーチ)** - 継続的にフラッシュをオンにします。
- **[GPS location] (GPS 位置情報)** - オプション: **[On] (オン)** または **[Off] (オフ)** (デフォルト)。
- **[Picture size] (写真サイズ)** - タッチして、写真のサイズ (ピクセル単位) を設定します。オプション: **[13M pixels] (13M ピクセル)** (デフォルト)、**[8M pixels] (8M ピクセル)**、**[5M pixels] (5M ピクセル)**、**[3M pixels] (3M ピクセル)**、**[HD 1080]**、**[2M pixels] (2M ピクセル)**、**[HD 720]**、**[1M pixels] (1M ピクセル)**、**[WVGA]**、**[VGA]** または **[QVGA]**。
- **[Picture quality] (画質)** - タッチして、写真画質の設定を選択します。オプション: **[Low] (低)**、**[Standard] (標準)** (デフォルト) または **[High] (高)**。
- **[Countdown timer] (カウントダウン タイマー)** - 次のオプションを選択できます: **[Off] (オフ)** (デフォルト)、**[2 seconds] (2 秒)**、**[5 seconds] (5 秒)** または **[10 seconds] (10 秒)**。
- **[Storage] (ストレージ)** - タッチして写真を保存する場所を選択します。オプション: **[Phone] (電話機)** または **[SD Card] (SD カード)**。
- **[Face Detection] (顔検出)** - 選択すると、顔検出が有効になります。オプション: **[Off] (オフ)** (デフォルト) または **[On] (オン)**。
- **[ISO]** - カメラの感光性を設定します。オプション: **[Auto] (自動)** (デフォルト)、**[ISO Auto (HJR)] (ISO 自動 (HJR))**、**[ISO100]**、**[ISO200]**、**[ISO400]**、**[ISO800]** または **[ISO1600]**。
- **[Exposure] (露出)** - タッチして、露出設定を調整します。オプション: **[+2]**、**[+1]**、**[0] (デフォルト)**、**[-1]** または **[-2]**。
- **[White balance] (ホワイト バランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光源の種類に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
  -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Auto] (自動)** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
  -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
- **[Focus mode] (ピント モード)** - タッチして、カメラのピント設定を選択します。オプション: **[Auto] (自動)** (デフォルト)、**[Infinity] (無限遠)**、**[Macro] (接写)** または **[CAF] (連続オート フォーカス)** (デフォルト)。
- **[ZSL]** - ボタンが押されたときに、カメラがただちに写真を撮影するように設定します (デフォルトでは有効)。



## ビデオの設定

ビデオ モードの場合は、ビデオ設定が画面に表示されます。 をタッチして、ビデオ設定のオプションを表示します。

- **[Flash] (フラッシュ)** - タッチして、フラッシュの有無を露出計に判別させるか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
  -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします (デフォルト)。
  -  **[Torch] (トーチ)** - 継続的にフラッシュをオンにします。
- **[Video quality] (ビデオ画質)** - タッチして、ビデオ画質を選択します。オプション: **[HD 1080p]** (デフォルト)、**[HD 720p]**、または **[SD 480p]**。
- **[Video duration] (ビデオ持続時間)** - 次のオプションを選択できます: **[30 seconds (MMS)] (30 秒 (MMS))**、または **[30 minutes] (30 分)** (デフォルト)。
- **[GPS location] (GPS 位置情報)** - オプション: **[On] (オン)** または **[Off] (オフ)** (デフォルト)。
- **[Storage] (ストレージ)** - タッチして写真を保存する場所を選択します。オプション: **[Phone] (電話)** (デフォルト) または **[SD Card] (SD カード)**。
- **[White balance] (ホワイト バランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光源の種類に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
  -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Auto] (自動)** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
  -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。

## ギャラリー



注: 次の画像形式をサポートしています: jpeg、gif、png、および bmp。


次のビデオ形式をサポートしています: H.263、H.264 および MPEG4 シンプル プロファイル。

GMS が搭載されていない TC56 でのみ使用できます。

ギャラリー を使用して、次を行えます。

- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

ギャラリーには、microSD カードおよび内部メモリに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

ギャラリー アプリケーションを開くには、ホーム画面の一番下から上にスワイプして  をタッチするか、またはカメラ アプリケーションで左下のサムネイル画像をタッチします。

デフォルトでは、ギャラリーは [Timeline] (タイムライン) ビューで開きます。

図 77 ギャラリー - タイムライン ビュー





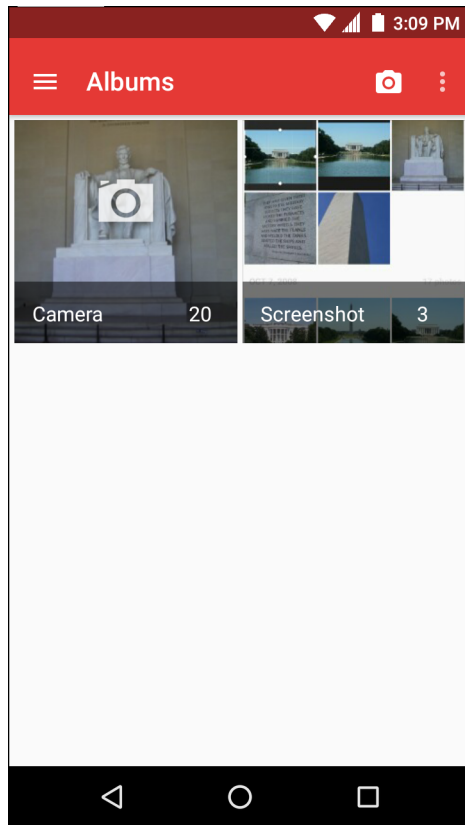
 > [Albums] (アルバム) をタッチするとアルバム順で表示されます。 > [Videos] (ビデオ) をタッチするとビデオのみを表示します。

図 78 [Gallery] (ギャラリー) - アルバム



- アルバムをタッチして開き、その内容を表示します。アルバム内の写真やビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真またはビデオをタッチすると表示されます。
- ≡ > [Timeline] (タイムライン) をタッチすると、メインの [Gallery] (ギャラリー) 画面に戻ります。

## アルバムの処理



アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムにタッチして、開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。

図79 アルバム内の写真





左右にスワイプすると、画面間で画像をスクロールできます。

## アルバムの共有


1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムを長押しします。
3. 必要に応じて、他のアルバムをタッチします。
4.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。選択したアルバムの共有に使用するアプリケーションをタッチします。
5. 選択したアプリケーションの指示に従います。


## アルバム情報の取得

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムを長押しします。
3.  をタッチします。
4. [Details] (詳細情報) をタッチします。

## アルバムの削除

アルバムとその内容を削除するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムを長押しします。

3. 削除するその他のアルバムにチェックマークを付けます。その他のアルバムが選択されていることを確認します。
4.  をタッチします。
5. **[Delete selected item?]** (選択した項目を削除しますか?) メニューで、**[OK]** をタッチしてアルバムを削除します。

## 写真の処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、microSD カード内の写真を表示し、写真の編集および共有を行います。

### 写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。


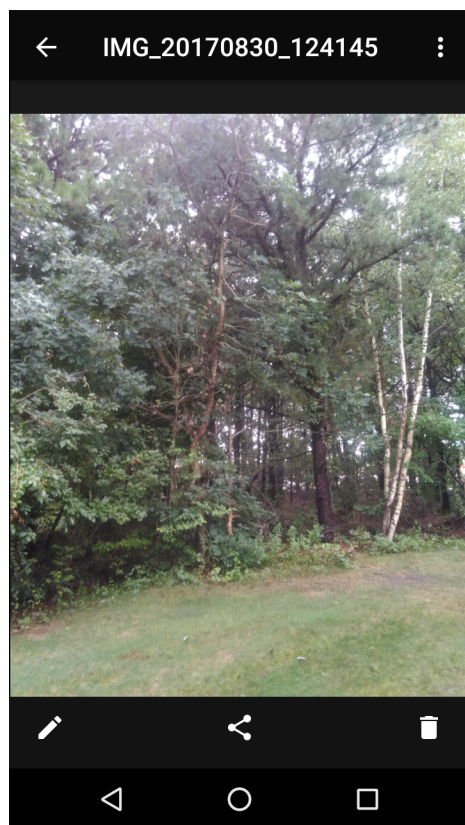
1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. 写真をタッチします。

図 80 サンプル写真



4. 左右にスワイプして、アルバム内の次の写真または前の写真を表示します。
5. デバイスを回転させて、写真を縦向き (ポートレート) または横向き (ランドスケープ) に表示します。新しい向きで写真が表示されます (ただし、保存はされません)。
6. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
7. 画面をダブルタップしてズームインするか、2 本の指を画面において指の間隔を狭めたり、離したりして、ズームインやズームアウトを行います。

- 表示されていない部分を表示するには、写真をドラッグします。

## 写真のトリミング




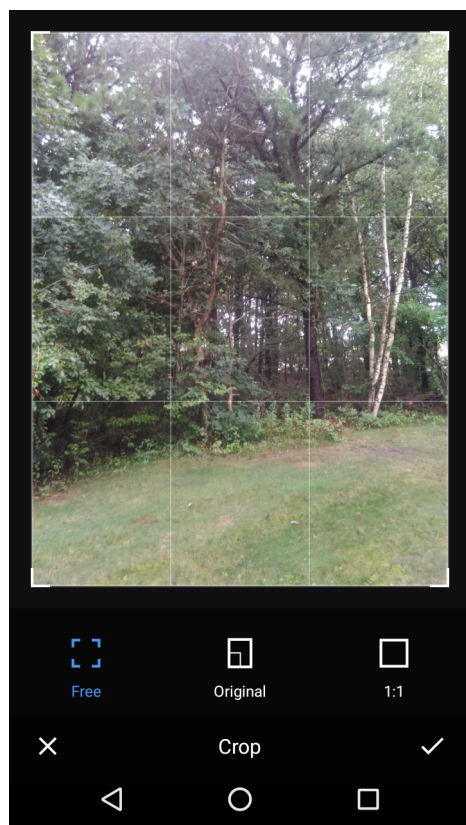


- [Gallery] (ギャラリー) で、写真をタッチしてコントロールを表示します。
-  >  >  の順にタッチします。トリミング ツールが表示されます。
- トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
  - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
  - トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。

図 81 元のバージョンは保持されます。





- チェック マーク > [Save] (保存) の順にタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。

## 連絡先アイコンとして写真を設定する



- ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
- アルバムをタッチして開きます。
- 写真をタッチして開きます。
-  をタッチします。
- [Set picture as] (写真の設定) をタッチします。
- [Contact photo] (連絡先用の写真) をタッチします。
- [People] (連絡先一覧) アプリケーションで、連絡先をタッチします。
- 白色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。

9. [Save] (保存) をタッチします。

### 写真の共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. 写真をタッチして開きます。
4.  をタッチします。
5. 選択した写真の共有に使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。



### 写真の削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. 写真をタッチして開きます。
4.  をタッチします。
5. [OK] をタッチして、写真を削除します。



## ビデオの処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、ビデオの表示と共有を行います。



### ビデオの再生

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. ビデオにタッチします。
4.  をタッチします。ビデオの再生が開始します。
5. 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

### ビデオの共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. ビデオをタッチして開きます。
4.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
5. 選択したビデオの共有に使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

### ビデオの削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. ビデオをタッチして開きます。
4.  をタッチします。

5. **[OK]** をタッチして、ビデオを削除します。



## 写真



注: 次の画像形式をサポートしています: jpeg、gif、png、および bmp。


次のビデオ形式をサポートしています: H.263、H.264 および MPEG4 シンプル プロファイル。

GMS が搭載されている TC56 でのみ使用できます。

[Photos] (写真) では、次の操作を実行できます。

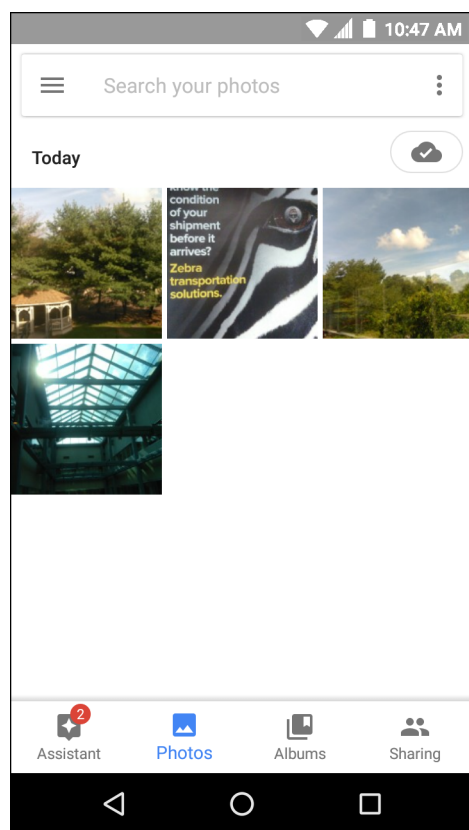
- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

[Photos] (写真) には、microSD カードおよび内部メモリに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

写真アプリケーションを開くには、ホーム画面の一番下から上にスワイプして、 をタッチします。

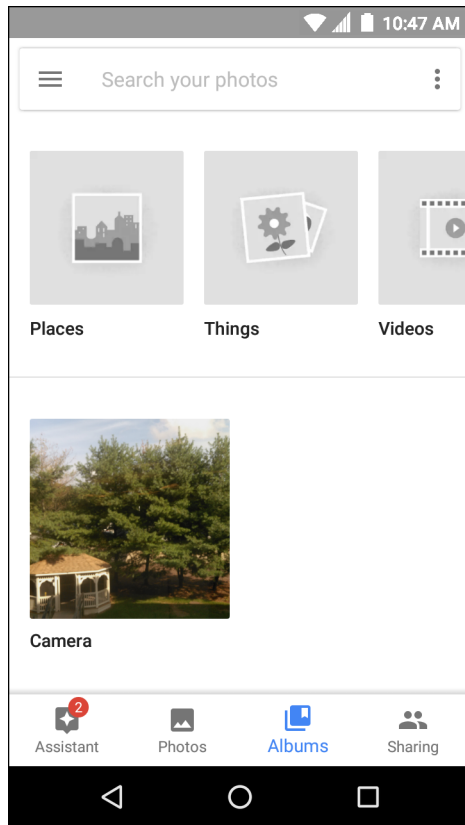
デフォルトでは、写真は [Photos] (写真) ビューで開きます。

図 82 [Photos] (写真) ビュー



[Albums] (アルバム) をタッチすると、アルバム順に写真が表示されます。

図 83 [Albums] (アルバム) ビュー

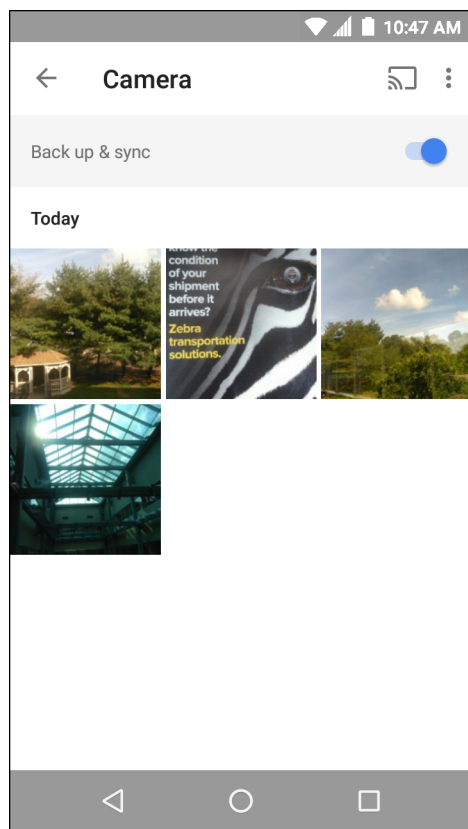


- アルバムをタッチして開き、その内容を表示します。アルバム内の写真やビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真またはビデオをタッチすると表示されます。
- ← をタッチすると、メイン画面に戻ります。

## アルバムの処理




アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムをタッチして開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。

図 84 アルバム内の写真





上にスワイプすると、画面上で画像をスクロールできます。


## アルバムの共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. **[Albums] (アルバム)** をタッチします。
3. 目的のアルバムをタッチします。
4.  **[Select] (選択)** の順にタッチします。
5. アルバム内のすべての写真を選択します。
6.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。選択したアルバムの共有に使用するアプリケーションをタッチします。
7. 選択したアプリケーションの指示に従います。

## アルバムの削除

アルバムとその内容を削除するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. **[Albums] (アルバム)** をタッチします。
3. 目的のアルバムをタッチします。
4.  **[Select] (選択)** の順にタッチします。
5. アルバム内のすべての写真を選択します。

6.  をタッチします。
7. [Move to trash] (ゴミ箱に移動) をタッチして、アルバムを削除します。

## 写真の処理

[Photos] (写真) を使用して、内部メモリと microSD カードの写真を表示します。

### 写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。


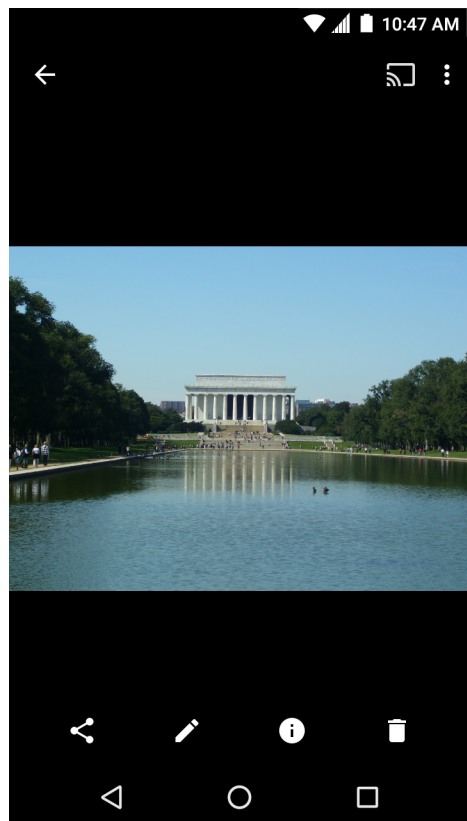
1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. 写真をタッチします。

図 85 サンプル写真



3. 左右にスワイプして、アルバム内の次の写真または前の写真を表示します。
4. デバイスを回転させて、写真を縦向き (ポートレート) または横向き (ランドスケープ) に表示します。新しい向きで写真が表示されます (ただし、保存はされません)。
5. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
6. 画面をダブルタップしてズームインするか、2本の指を画面において指の間隔を狭めたり、離したりして、ズームインやズームアウトを行います。
7. 表示されていない部分を表示するには、写真をドラッグします。

## 写真のトリミング






1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、をタッチします。
2. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
3.  > の順にタッチします。トリミング ツールが表示されます。

図 86 トリミング ツール





4. トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
  - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
  - トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
5. **[DONE]** (完了) をタッチします。
6. **[SAVE]** (保存) をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。



## 連絡先アイコンとして写真を設定する

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、をタッチします。
2. 写真をタッチして開きます。
3.  > **[Use as]** (用途) をタッチします。
4. **[Contact photo]** (連絡先用の写真) をタッチします。
5. 連絡先アプリケーションで、連絡先をタッチします。
6. 白色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。
7. **[Done]** (完了) をタッチします。

## 写真の共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. 写真をタッチして開きます。
4. をタッチします。
5. 選択した写真の共有に使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。


## 写真の削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、をタッチします。
2. 写真をタッチして開きます。
3. をタッチします。
4. [Move to trash] (ゴミ箱に移動) をタッチして、写真を削除します。



## ビデオの処理

[Photos] (写真) を使用して、ビデオの表示と共有を行います。



### ビデオの再生

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、をタッチします。
2. ビデオにタッチします。ビデオの再生が自動的に開始されます。
3. 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

### ビデオの共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、をタッチします。
2. ビデオをタッチして開きます。
3. をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
4. 選択したビデオの共有に使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

### ビデオの削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、をタッチします。
2. ビデオをタッチして開きます。
3. をタッチします。
4. [Move to trash] (ゴミ箱に移動) をタッチして、写真を削除します。

## DataWedge のデモンストレーション



注: ホーム画面が表示されるとき、DataWedge は有効になっています。この機能を無効にするには、DataWedge 設定に移動して、[Launcher] (起動プログラム) プロファイルを無効にします。

データ収集機能のデモンストレーションを実行するには、[DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) を使用します。

図 87 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) ウィンドウ

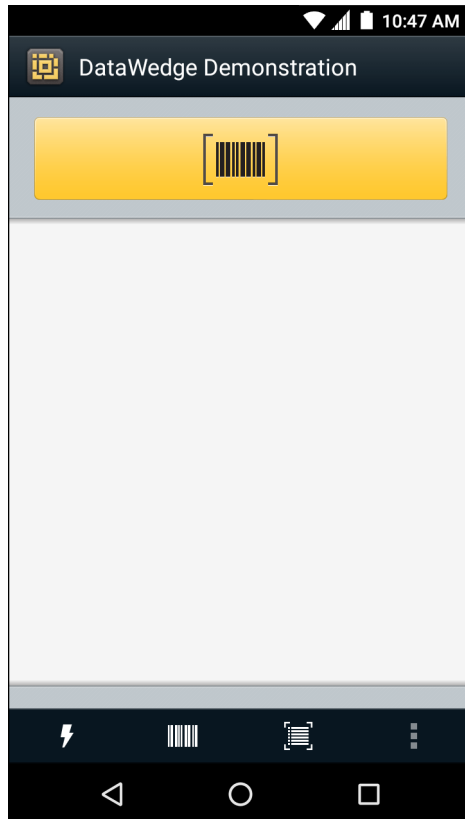





表 9 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン

	アイコン	説明
照明		イメージャの照明がオフになっていることを示します。タッチして照明をオンにします。
		イメージャの照明がオンになっていることを示します。タッチして照明をオフにします。
データ収集		データ読み取り機能が内蔵イメージャを使用して行われていることを示します。
		DS3678、RS507、または RS6000 Bluetooth イメージャが接続されていることを示します。
		DS3678、RS507、または RS6000 Bluetooth イメージャが接続されていないことを示します。

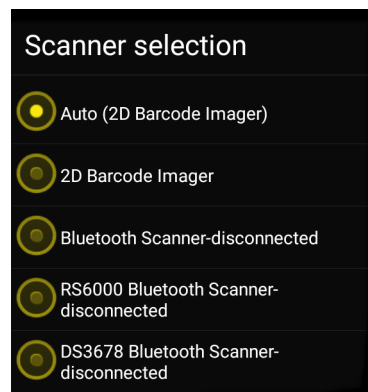
表 9 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン ( 続き )

	アイコン	説明
スキャン モード		イメージャがピックリスト モードになっていることを示します。タッチすると、通常のスキャン モードに切り替わります。
		イメージャが通常のスキャン モードになっていることを示します。タッチすると、ピックリスト モードに切り替わります。
		メニューを開き、アプリケーション情報の表示、またはアプリケーションの DataWedge プロファイルの設定を行います。



注: DataWedge 設定の詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

図 88 データ収集オプションのメニュー



使用するスキャナを選択します。スキャナ オプションの設定については、「[データ収集](#)」を参照してください。

データ読み取りを有効にするには、プログラム可能ボタンを押すか、黄色のスキャン ボタンをタッチします。収集したデータは、黄色のボタンの下にあるテキスト フィールドに表示されます。

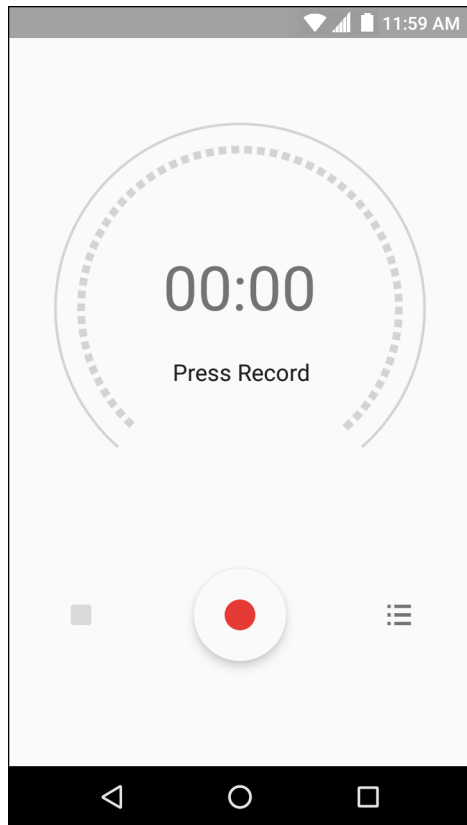


## サウンドレコーダ

サウンドレコーダを使用して、音声メッセージを録音します。

録音は microSD カード (取り付けられている場合) または内蔵ストレージに保存され、[Music] (ミュージック) アプリケーション (GMS 非搭載 TC56) または [Play Music] (Play ミュージック) アプリケーション (GMS 搭載 TC56) で使用できます。

図 89 サウンドレコーダ アプリケーション



## PTT Express Voice Client



注: PTT Express Voice Client を使用すると、異なる企業のデバイス間でプッシュトゥトーク (PTT) 通信を行うことができますようになります。PTT Express は、既存の無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) インフラストラクチャを利用して、音声通信サーバーなしでシンプルな PTT 通信機能を提供します。

- **グループ通話:** 他の音声クライアント ユーザーとの通信を開始するには、PTT ボタンを長押しします。
- **プライベート応答:** 直前のブロードキャストの発信元に応答したり、プライベート応答を行ったりするには、PTT ボタンを 2 回押しします。

### PTT 音声通知

音声クライアントを使用するときに、以下の通知音が役立ちます。

- **トーク トーン:** チャープ音が 2 回鳴ります。[Talk] (トーク) ボタンを押すと鳴ります。ユーザーに会話の開始を促しています。
- **アクセス トーン:** ビープ音が 1 回鳴ります。相手のユーザーがブロードキャストまたは応答を終了すると鳴ります。こちら側からグループ ブロードキャストまたはプライベート応答を開始できる合図になります。
- **ビジー トーン:** 連続トーンが鳴ります。[Talk] (トーク) ボタンを押したときに別のユーザーが同じトークグループですでに通信を開始しているときに鳴ります。許容される最大送信時間 (60 秒) を経過すると鳴ります。
- **ネットワーク トーン:**
  - 徐々に高くなるビープ音が 3 回鳴ります。PTT Express で WLAN 接続を確立してサービスが有効になると鳴ります。
  - 徐々に低くなるビープ音が 3 回鳴ります。PTT Express の WLAN 接続が失われるか、サービスが無効になると鳴ります。

図 90 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェース










表 10 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

項目	説明
通知アイコン	PTT Express クライアントの現在の状態を示します。
サービスのステータス	PTT Express クライアントの状態を示します。オプション: <b>[Service Enabled]</b> (サービスが有効)、 <b>[Service Disabled]</b> (サービスが無効) または <b>[Service Unavailable]</b> (サービスが利用不可)。
トーク グループ	PTT 通信で利用できる全 32 のトーク グループが一覧表示されます。
設定	PTT Express の [Settings] (設定) 画面を開きます。
スイッチのオン/オフ	PTT サービスをオンまたはオフにします。


## 通知アイコン

PTT Express Voice クライアントの現在の状態を示します。

表 11 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

ステータス アイコン	説明
	PTT Express Voice クライアントは無効になっていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントは有効になっていますが、WLAN に接続されていないことを示します。
	PTT Express Voice クライアントは有効で、WLAN に接続されています。アイコンの隣にある番号のトーク グループをリスンしています。
	PTT Express Voice クライアントは有効で、WLAN に接続されています。アイコンの隣にある番号のトーク グループで通信を行っています。
	PTT Express Voice クライアントは有効で、WLAN に接続されています。プライベート応答を行っています。
	PTT Express Voice クライアントは有効でミュートになっています。
	PTT Express Voice クライアントは有効になっていますが、VoIP テレフォニー コールを行っているため、通信できません。

## PTT 通信を有効にする

- ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
- [Enable/Disable Switch] (スイッチのオン/オフ) を [ON] (オン) の位置にスライドします。ボタンが [ON] (オン) に変わります。

## トーク グループの選択

PTT Express ユーザーは、32 のトーク グループの 1 つを選択できます。ただし、デバイスで一度に有効にできるのは、1 つのトーク グループのみです。32 のトーク グループのいずれか 1 つをタッチします。選択したトーク グループが強調表示されます。

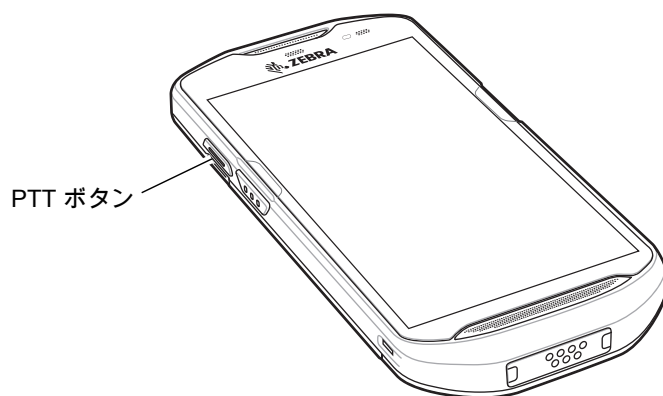
## PTT 通信



注: このセクションでは、デフォルトの PTT Express クライアント設定について説明します。クライアントの使用に関する詳細については、『PTT Express V1.2 User Guide』を参照してください。

PTT 通信は、グループ通話として確立されます。PTT Express が有効になると、デバイスの左側の PTT ボタンが PTT 通信に割り当てられます。有線ヘッドセットを使用する場合は、ヘッドセットのトークボタンを押して、グループ通話を開始することもできます。

図91 PTT ボタン



## グループ通話の作成

1. PTT ボタン (またはヘッドセットのトークボタン) を長押しして、トーク トーンが鳴るのを待ちます。  
ビジー トーンが鳴る場合は、ボタンを放してしばらく待ってから、やり直してみます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認してください。
2. トーク トーンが鳴ったら、通話を開始します。



注: ボタンを 60 秒 (デフォルト) 以上押し続けると、通話が終了して、他のユーザーがグループ通話を開始できるようになります。話し終わったら、ボタンを放して他のユーザーが会話できるようにしてください。


3. 話し終わったら、ボタンを放します。

## プライベート応答での応答

プライベート応答を開始できるのは、グループ通話が確立されてからです。最初のプライベート応答は、グループ通話の発信元に対して実行されます。

1. アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
2. 10 秒以内に PTT ボタンを 2 回押して、トーク トーンが鳴るのを待ちます。
3. ビジー トーンが鳴る場合は、ボタンを放してしばらく待ってから、やり直してみます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認してください。
4. トーク トーンが鳴ったら、通話を開始します。
5. 話し終わったら、ボタンを放します。

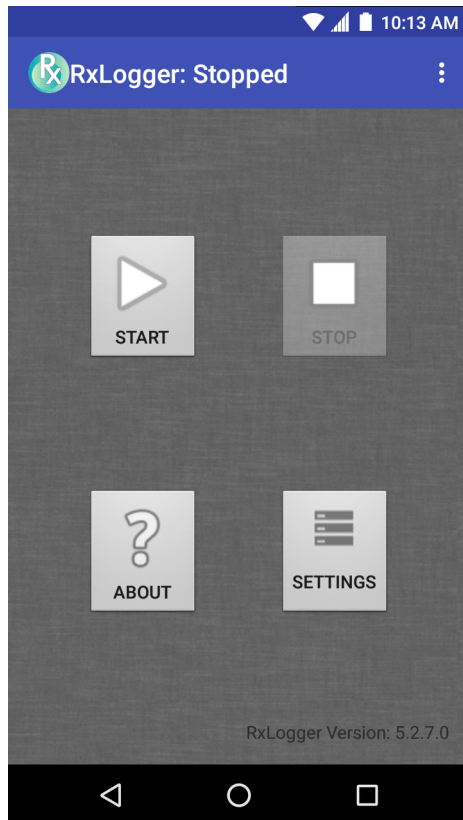
## PTT Express Voice Client 通信を無効にする

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. [Enable/Disable Switch] (スイッチのオン/オフ) を [OFF] (オフ) の位置にスライドします。ボタンが [OFF] (オフ) に変わります。
3. ○をタッチします。

## RxLogger

RxLogger はアプリケーションとシステムの測定値を示す総合的な診断ツールです。このツールを使用してカスタム プラグインを作成し、シームレスに作業を進めることができます。RxLogger はデバイスやアプリケーションの問題の診断に使用されます。次のような情報を追跡します: CPU 負荷、メモリ負荷、メモリのスナップショット、バッテリー消費、電源の状態、無線ロギング、セルラ ロギング、TCP ダンプ、Bluetooth ロギング、GPS ロギング、LogCat、FTP プッシュ/プル、ANR ダンプなど。生成されたログやファイルはすべてデバイスのフラッシュ ストレージ (内蔵または外付け) に保存されます。

図 92 RxLogger

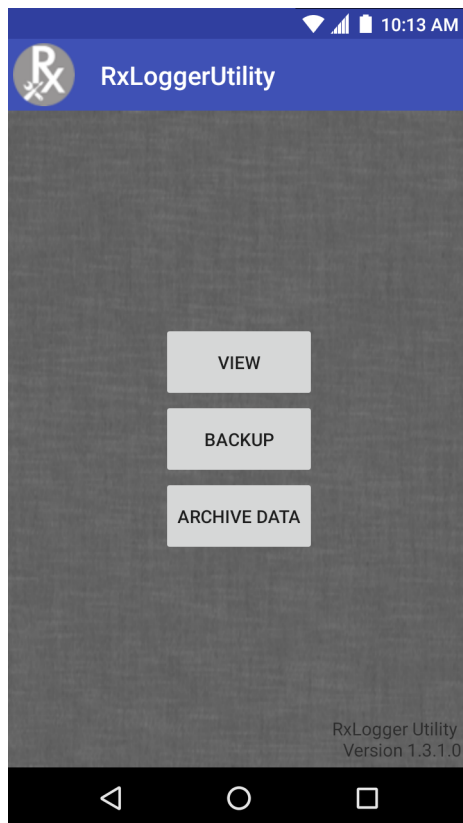


## RxLogger ユーティリティ

RxLogger ユーティリティは、RxLogger の実行時に TC56 でログを表示するデータ監視アプリケーションです。アプリ ビューまたはオーバーレイ ビューで、ログや RxLogger ユーティリティの機能にアクセスできます。

RxLogger ユーティリティでは、アプリ ビューでログを表示します。

図 93 RxLogger ユーティリティのアプリ ビュー



RxLogger ユーティリティの使い方の詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide』を参照してください。

## 診断ツール

[Diagnostic Tool] (診断ツール) は、TC56 の健全性を判断するユーティリティです。デバイスのトラブルシューティングと問題の特定には、診断ツールを使用します。


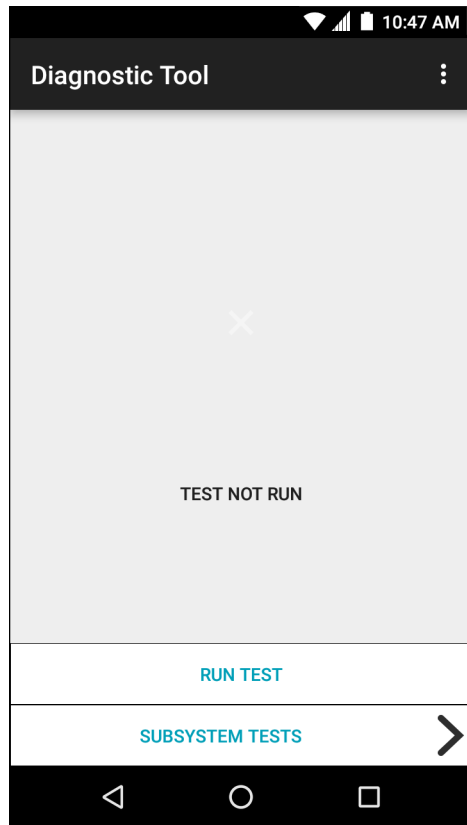
1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図 94 診断ツール



2. [Run Test] (テストの実行) をタッチします。このアプリは、有効になっているすべてのサブシステムをテストします (デフォルトでは、バッテリー テストとシステム テストのみが有効になっています)。サブシステムテストを有効にする方法については、[128 ページの「設定」](#)を参照してください。



図95 テスト合格 (不具合がなかった場合) の画面

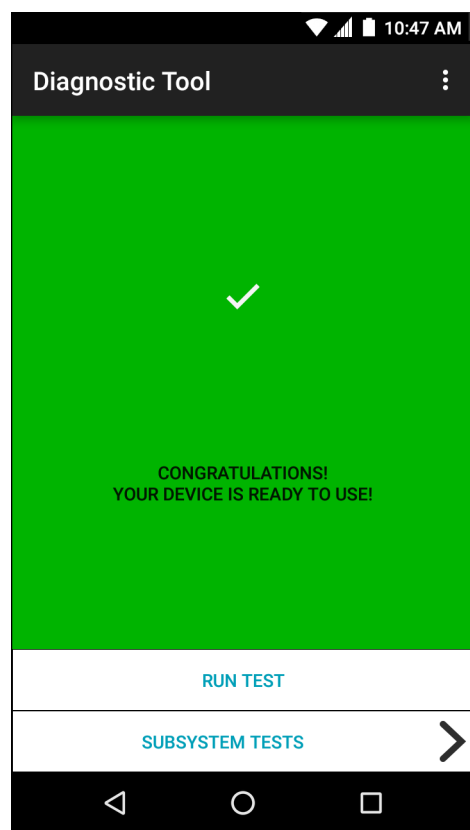
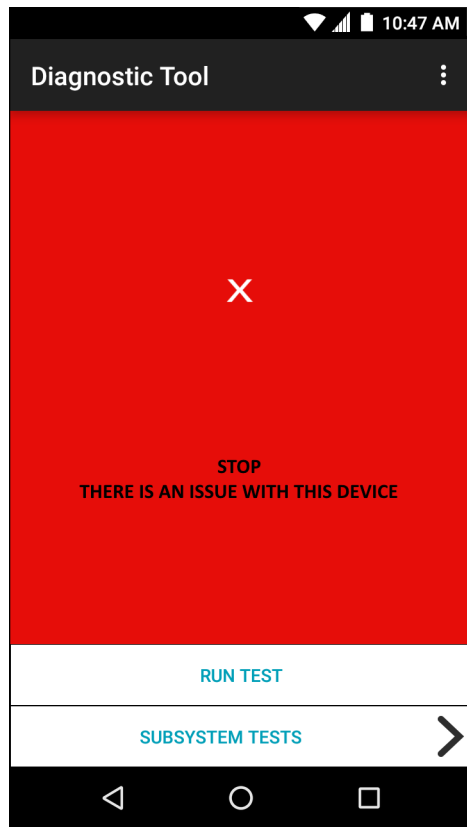


図 96 テスト不合格 (不具合があった場合) の画面



3. サブシステム テストを個別に表示するには、[Subsystem Tests] (サブシステム テスト) をタッチします。

図 97 [Subsystem] (サブシステム) 画面

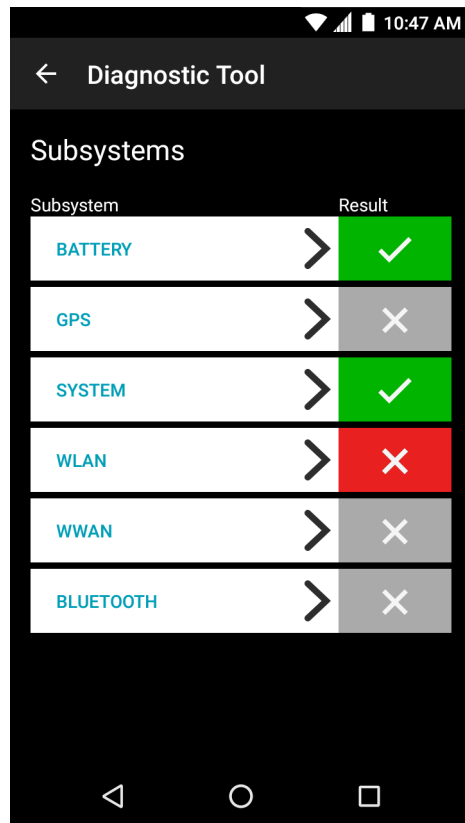
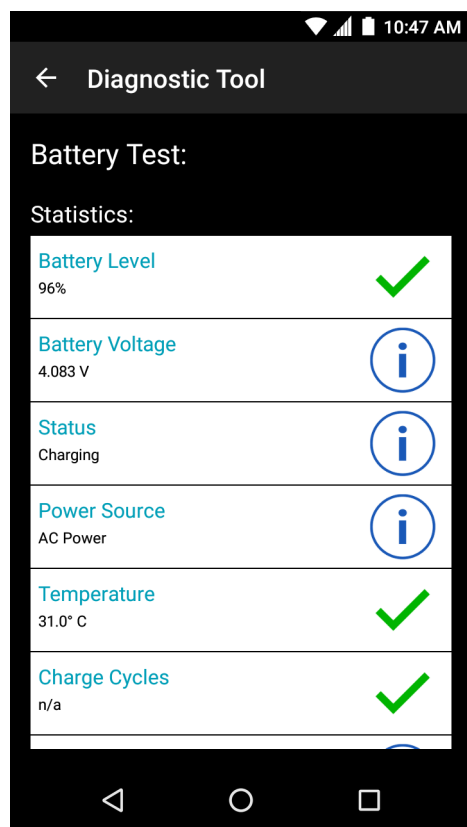


表 12 サブシステム テストの結果を表すアイコン

ステータス アイコン	説明
✓	テストで不具合が見つからなかったことを示します。
✗	テストで不具合が見つかったことを示します。
✗	テストがサポートされていないか、有効になっていないことを示します。

- サブシステムのいずれかをタッチすると、詳細が表示されます。

図 98 バッテリー サブシステムの詳細情報



## 設定

デフォルトでは、バッテリー テストとシステム テストのみが有効になっています。その他のテストを有効にするには、次の手順に従います。

1. > [Settings] (設定) の順にタッチします。
2. テスト名の左側をタッチします。チェックマークが付いた緑色のボックスが表示されます。
3. [SAVE] (保存) をタッチします。
4. [Yes] (はい) をタッチして確定します。
5. をタッチします。

## バッテリー テストの情報

[Battery Test] (バッテリー テスト) では、次の情報が表示されます。

- [Battery Level] (バッテリー レベル) - 現在のバッテリー充電レベルを示します。
- [Battery Voltage] (バッテリー電圧) - 現在のバッテリー電圧を示します。
- [Status] (ステータス) - バッテリーが充電中 (AC 電源の使用時) であるか、放電中 (バッテリー電源の使用時) であるかを示します。
- [Power Source] (電源) - バッテリーと外部電源のどちらからデバイスに電力が供給されているかを示します。
- [Temperature] (温度) - 現在のバッテリー温度を示します。
- [Charge Cycles] (充電サイクル) - 現在、使用できません。
- [Backup Battery Voltage] (バックアップ バッテリー電圧) - バックアップ バッテリー電圧を示します。

- **[Manufacture Date]** (製造日) - 現在、使用できません (バッテリーの製造日が表示されます)。

### GPS テスト情報

{GPS Test} (GPS テスト) では、次の情報が取得されます (TC56 のみ)。

- **[GPS Provider Enabled]** (GPS プロバイダが有効) - GPS が有効 (true) か無効 (false) かを示します。
- **[Latitude]** (緯度) - 現在位置の緯度を示します。
- **[Longitude]** (経度) - 現在位置の経度を示します。
- **[Altitude]** (標高) - 現在の標高をメートル単位で示します。
- **[Bearing]** (方位) - 現在の方位を示します。
- **[Speed]** (速度) - 速度を秒速 (m/秒) で示します。
- **[Accuracy]** (精度) - GPS の精度をメートル単位で示します。

### システム テストの情報

{System Test} (システム テスト) では、CPU またはメモリの負荷が高すぎないか、デバイスで実行中のプロセスが多すぎないか、デバイスのストレージが満杯に近くなっていないかを判断します。システム テストでは、次の情報が取得されます。

- **[CPU Load]** (CPU 負荷) - 使用している CPU 量を示します。
- **[Free Physical Memory]** (物理メモリの空き容量) - 使用可能な RAM の量を示します。
- **[Free Storage]** (空きストレージ) - 使用可能な内部フラッシュ メモリの量を示します。
- **[Process Count]** (プロセス カウント) - 現在実行中のプロセス数を示します。

### WLAN テストの情報

WiFi 無線がない場合、または無効である場合、テストがスキップされる可能性があります。この情報に基づいて、デバイスの WLAN 設定が正しいかどうか、また、アクセス ポイントやネットワークとの接続があるかどうかを判断します。WLAN テストでは、次の情報が取得されます。

- **[WLAN Enabled]** (WLAN 有効) - WLAN 無線が有効と無効のどちらであるかを示します。
- **[WLAN Status]** (WLAN ステータス) - アクセス ポイントとの現在の接続状態を示します。
- **[ESSID]** - ワイヤレス ネットワークの名前を表示します。
- **[BSSID]** - 接続されているアクセス ポイントの MAC アドレスを表示します。
- **[MAC Address]** (MAC アドレス) - デバイスの MAC アドレスを表示します。
- **[Signal]** (信号) - Wi-Fi 信号の強度 (単位は dBm) を示します。
- **[IP Address]** (IP アドレス) - デバイスの IP アドレスを表示します。

### WWAN テストの情報

WWAN テストでは、次の情報が取得されます (TC56 のみ)。

- **[SIM State]** (SIM の状態) - SIM カードの現在の状態を表示します。
- **[WAN Type]** (WAN タイプ) - データ接続タイプを表示します。
- **[Signal Strength]** (信号強度) - 現在のセルラ信号の強度を表示します。
- **[Phone Number]** (電話番号) - デバイスに割り当てられた電話番号を表示します。
- **[Device ID]** (デバイス ID) - デバイス ID 番号を表示します。

## Bluetooth テストの情報

Bluetooth テストでは、次の情報が取得されます。

- **[Enabled]** (有効) - Bluetooth 無線が有効と無効のどちらであることを示します。
- **[Status]** (ステータス) - 別の Bluetooth デバイスとのペアリング状態を示します。
- **[Connectable/Discoverable]** (接続可能/検出可能) - デバイスが検出可能であるか、接続可能であることを示します。
- **[Address]** (アドレス) - Bluetooth 無線の MAC アドレスを表示します。
- **[Name]** (名前) - デバイスの Bluetooth 名を表示します。

# データ収集

---

## はじめに

TC56 は次のデバイスを使用したデータ収集に対応しています。

- 内蔵イメージャ
- RS507 ハンズフリー イメージャ
- RS6000 Bluetooth リング スキャナ
- DS3678 デジタル スキャナ

---

## イメージング

2D イメージャ搭載の TC56 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- (十字およびドット照準) 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能半導体レーザー照準機能。

イメージャは、イメージングの技術を使用してバーコードの画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からバーコード データを抽出します。

## 動作モード

内蔵イメージャ搭載の TC56 は、次の 2 つの動作モードをサポートしています。各モードは、スキャン ボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード**: このモードでは、TC56 は読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャはこのモードのままになります。



注: ピック リスト モードを有効にするには、DataWedge で設定するか、API コマンドを使ってアプリケーション内で設定します。

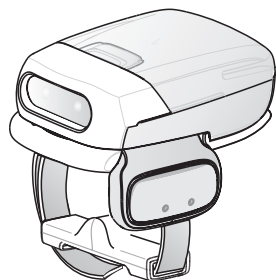
- **ピック リスト モード**: このモードでは、TC56 の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ります。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字またはドットを合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。

---

## RS507 ハンズフリー イメージャ

RS507 ハンズフリー イメージャは、一次元と二次元のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。

図 99 RS507 ハンズフリー イメージャ



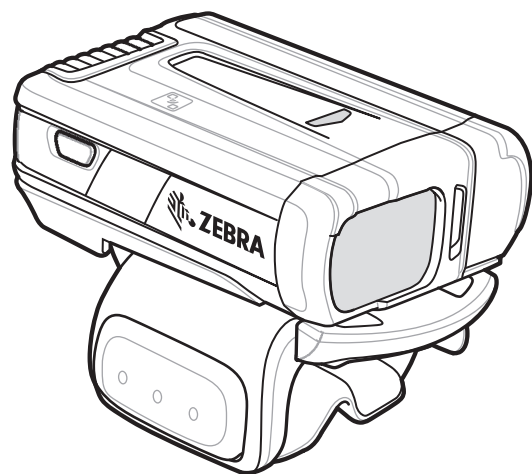
詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

---

## RS6000 Bluetooth リング スキャナ

RS6000 Bluetooth リング スキャナは、一次元と二次元のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。

図 100 RS6000 Bluetooth リング スキャナ



詳細については、『RS6000 Bluetooth Ring Scanner Product Reference Guide』を参照してください。

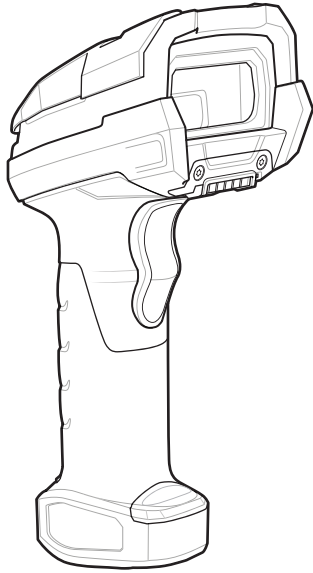
---

## DS3678 デジタル スキャナ

コードレス DS3678 は、一次元と二次元のバーコードの高度なオムニ スキャン パフォーマンスを備え、軽量設計のうえ高度な人間工学に基づいています。



図 101 DS3678 デジタル スキャナ



詳細については、『DS36X8 Digital Scanner Product Reference Guide』を参照してください。

## スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- 範囲: スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコード密度およびデバイス光によって異なります。範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- 角度: スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは乱反射を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。
- 大きなシンボルの場合は、TC56 を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、TC56 を近づけてください。



注: スキャン手順は、アプリケーションと TC56 の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

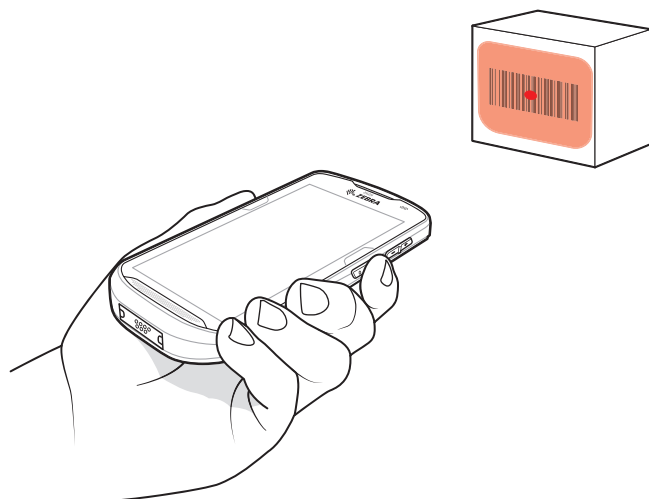
## 内蔵イメージを使用したバーコードのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC56 には、ユーザーがイメージをオンにしてバーコード データを読み取り、バーコードのコンテンツを表示できる DataWedge アプリケーションが同梱されています。

1. アプリケーションが TC56 で開かれていること、またテキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。

- TC56 の上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。

図 102 イメージャ スキャン



- スキャン ボタンを押したままにします。  
照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。



注: TC56 がピックリスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

- 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

図 103 照準パターン

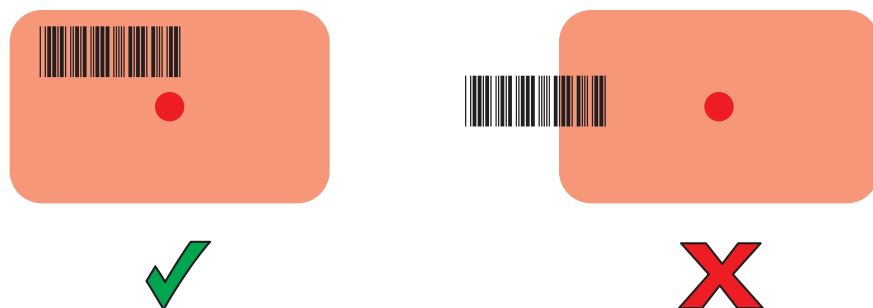
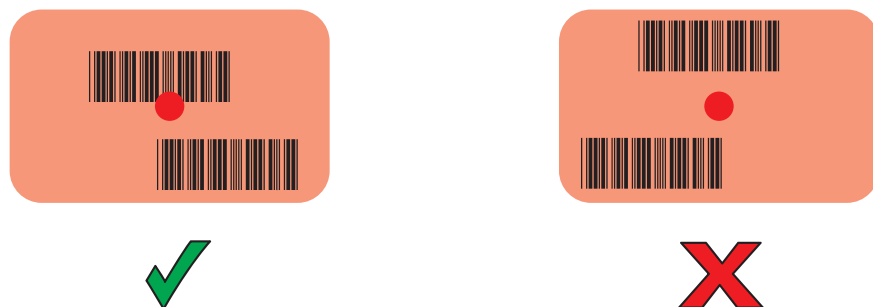


図 104 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



- デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

6. スキャン ボタンを放します。



注: イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、TC56 がデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

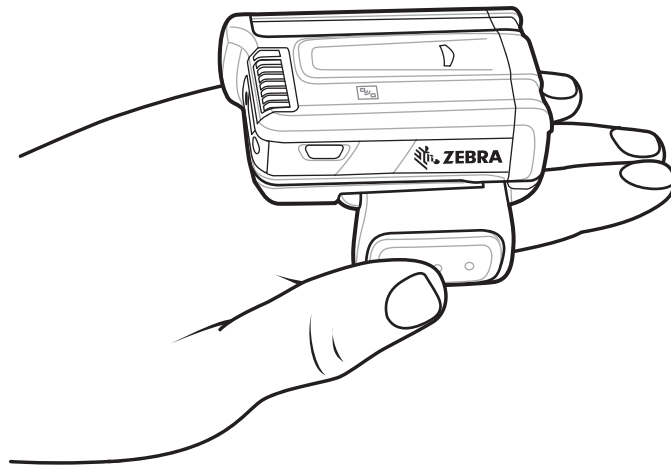
## RS6000 Bluetooth リング スキャナを使用したバーコード データの収集

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC56 には、ユーザーがスキャナをオンにしてバーコード データを読み取り、バーコードのコンテンツを表示できる **DataWedge** アプリケーションが同梱されています。DataWedge の起動方法の詳細については、[115 ページの「DataWedge のデモンストレーション」](#)を参照してください。

RS6000 を TC56 とペアリングします。詳細については、[141 ページの「Simple Serial Interface を使用してペアリングする」](#)または [142 ページの「Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする」](#)を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていること、またテキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. RS6000 をバーコードに向けます。

図 105 RS6000 を使用したバーコードのスキャン



3. トリガを押したままにします。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字内の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

RS6000 LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS6000 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS6000 はバーコードを読み取りません。

図 106 照準パターン

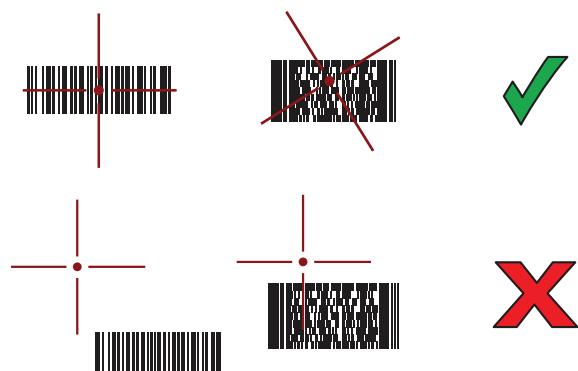


図 107 ピックリスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



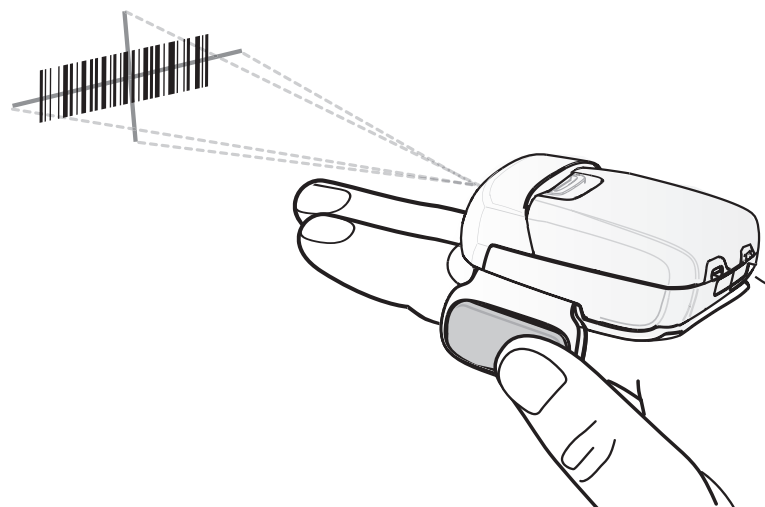
4. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

## RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り

RS507 を TC56 とペアリングします。詳細については、[139 ページの「RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング」](#)を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていること、またテキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. RS507 をバーコードに向けます。

図 108 RS507 を使用したバーコードのスキャン



3. トリガを押したままにします。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字内の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。RS507 LED が緑色に点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS507 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS507 はバーコードを読み取りません。

図 109 照準パターン



図 110 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



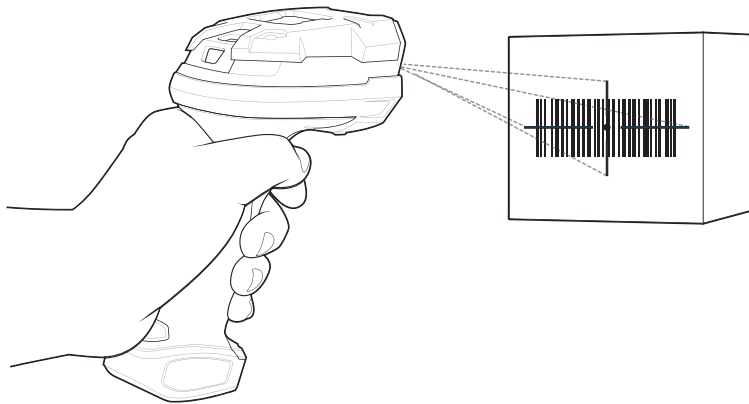
4. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

## DS3678 Bluetooth スキャナを使用したバーコード データの収集

DS3678 を TC56 とペアリングします。詳細については、[142 ページの「DS3678 デジタル スキャナをペアリングする」](#)を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていること、またテキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. DS3678 をバーコードに向けます。

図 111 DS3678-HP を使用したバーコードのスキャン



3. トリガを押したままにします。

読み取りが成功すると、スキャナはピープ音を鳴らし、LED が 1 回緑色に点滅します。

DS3678 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまでスキャナはバーコードを読み取りません。

図 112 照準パターン



図 113 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



4. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

## RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング

以下のいずれかの方法により、RS507/RS6000 イメージャを TC56 に接続します。

- Near Field Communication (NFC) (RS6000 のみ)
- Simple Serial Interface (SSI)
- Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) モード

### Near Field Communication を使用してペアリングする

TC56 では、NFC を使用して RS6000 とペアリングすることができます。

✓ 注: RS6000 のみ。

1. RS6000 が SSI モードになっていることを確認します。詳細については、『RS6000 User Guide』を参照してください。
2. NFC が TC56 で有効になっていることを確認します。
3. RS6000 の NFC アイコンと TC56 のバッテリーの NFC アイコンを合わせます。

RS6000 が TC56 との接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

TC56 の画面に通知が表示されます。


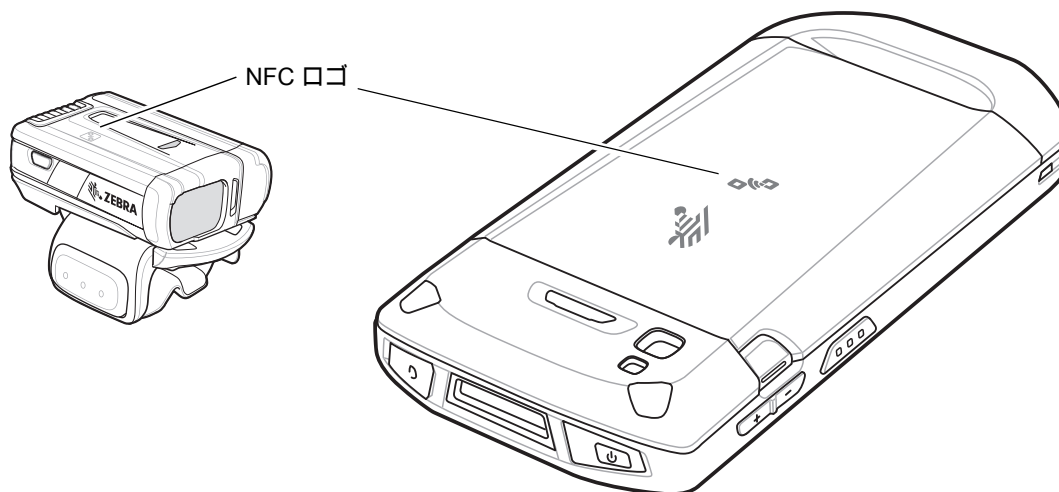

 アイコンがステータス バーに表示されます。

図 114 NFC アンテナを合わせる



TC56 と RS6000 のペアリングが行われ、ステータス バーに  が表示されます。

✓ 注: すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

## HID モードで Near Field Communication を使用してペアリングする

TC56 は、HID モードで NFC を使用して RS6000 とペアリングすることができます。



注: RS6000 のみ。

1. NFC が TC56 で有効になっていることを確認します。
2. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
3. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
4. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
5. RS6000 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS6000 がすでに HID モードになっている場合は、手順 6 に進みます。
  - a. バッテリーを RS6000 から取り出します。
  - b. 復元キーを長押しします。
  - c. バッテリーを RS6000 に取り付けます。
  - d. チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
  - e. 以下のバーコードをスキャンして、RS6000 を HID モードに設定します。

図 115 Bluetooth HID バーコード



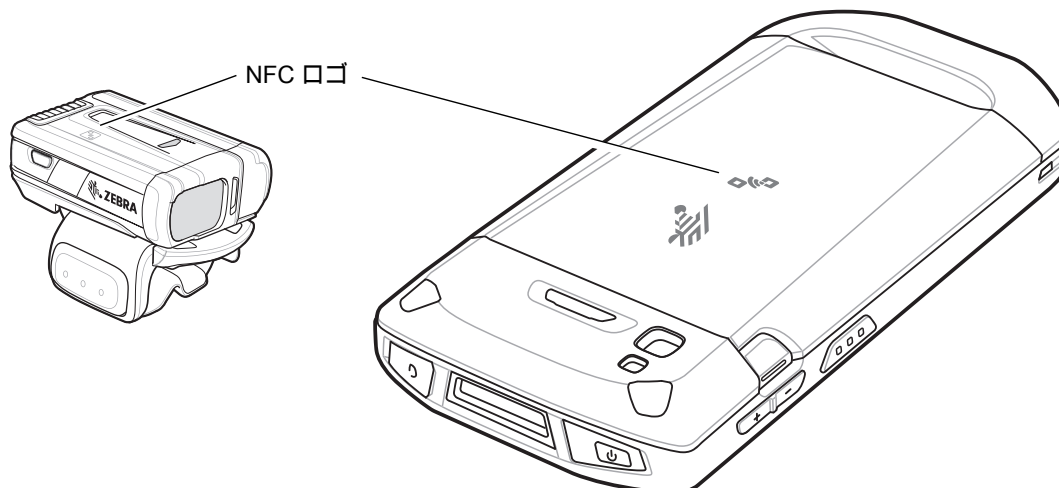
6. バッテリーを RS6000 から取り出します。
7. バッテリーを RS6000 に再度取り付けます。
8. RS6000 の NFC アイコンと TC56 の NFC アイコンを合わせます。

RS6000 が TC56 との接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

TC56 の画面に通知が表示されます。

**A** アイコンがステータス バーに表示されます。

図 116 NFC アンテナを合わせる





TC56 と RS6000 のペアリングが行われ、ステータス バーに **A** が表示されます。

✓ 注: すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

## Simple Serial Interface を使用してペアリングする

SSI を使用して RS507/RS6000 を TC56 とペアリングするには、以下の手順を実行します。




1. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
2. RS507/RS6000 にバッテリーを取り付けます。
3. TC56 のホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図 117 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)



4. RS507/RS6000 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。  
RS507/RS6000 で、高いビープ音と低いビープ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、RS507/RS6000 が TC56 との接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、RS507/RS6000 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。  
通知が TC56 の画面に表示され、 アイコンがステータス バーに表示されます。
5. TC56 で、 をタッチします。



## Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする

HID を使用して RS507/RS6000 を TC56 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
4. RS507/RS6000 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS507/RS6000 がすでに HID モードになっている場合は、手順 5 に進みます。
  - a. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
  - b. 復元キーを長押しします。
  - c. バッテリーを RS507/RS6000 に取り付けます。
  - d. チャージ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
  - e. 以下のバーコードをスキャンして、RS507/RS6000 を HID モードに設定します。

図 118 Bluetooth HID バーコード



5. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
6. バッテリーを RS507/RS6000 に再度取り付けます。
7. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
8.  [Bluetooth] をタッチします。
9. [SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内で検出できる Bluetooth デバイスの検索が開始され、[AVAILABLE DEVICES] (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
10. リストをスクロールし、RS507/RS6000 を選択します。

RS507/RS6000 に接続されると、デバイス名の下に [Connected] (接続済み) と表示されます。Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

画面に通知が表示され、 アイコンがステータス バーに表示されます。

## DS3678 デジタル スキャナをペアリングする

Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードを使用して、DS3678 デジタル スキャナを TC56 に接続します。

### Simple Serial Interface を使用してペアリングする

SSI を使用して DS3678 を TC56 とペアリングするには、以下の手順を実行します。


1. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
2. DS3678 にバッテリーを取り付けます。
3. TC56 のホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図 119 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)



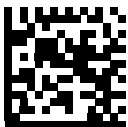
4. DS3678 を使用して、画面のバーコードをスキャンします。  
DS3678 で、高いビープ音と低いビープ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、DS3678 が TC56 との接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、DS3678 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。
5. TC56 で、○をタッチします。



## Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする

HID を使用して DS3678 を TC56 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. バッテリーを DS3678 スキャナから取り出します。
2. バッテリーを元に戻します。
3. DS3678 を再起動したら、以下のバーコードをスキャンして、DS3678 を HID モードに設定します。

図 120 HID Bluetooth クラシック バーコード



4. TC56 側で、ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
5.  [Bluetooth] をタッチします。




6. **[SCAN FOR DEVICES]** (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内に検出できる Bluetooth デバイスの検索が開始され、**[Available devices]** (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
7. リストをスクロールして DS3678 xxxxxx (xxxxxx はシリアル番号) を選択します。  
DS3678 に接続されると、デバイス名の下に **[Connected]** (接続済み) が表示され、DS3678 で ビープ音が 1 回鳴ります。Bluetooth デバイスが **[Bluetooth devices]** (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

## DataWedge




DataWedge は、コードを作成せずに、アプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加するユーティリティです。このユーティリティはバックグラウンドで実行され、内蔵バーコード スキャナに対するインタフェースを処理します。収集されたバーコード データはキーストロークに変換され、キーボードで入力したかのように、目的のアプリケーションに送信されます。

DataWedge の設定方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

### DataWedge を有効にする

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2.  をタッチします。
3. **[Settings]** (設定) をタッチします。
4. **[DataWedge enabled]** (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。青色のチェックマークがチェックボックスに表示され、DataWedge が有効になったことを示します。
5.  をタッチします。

### DataWedge を無効にする

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2.  をタッチします。
3. **[Settings]** (設定) をタッチします。
4. **[DataWedge enabled]** (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。チェックボックスから青色のチェックマークが消え、DataWedge が無効になったことを示します。
5.  をタッチします。

# 無線

---

## はじめに

このセクションでは、次の無線機能について説明します。

- 無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN)
- 無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN)
- Bluetooth
- Near Field Communications (NFC)

---

## 無線ワイド エリア ネットワーク

携帯電話ネットワーク経由でデータにアクセスするには、無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN) を使用します。このセクションでは、次の操作について説明します。

- データ接続の共有
- 携帯電話ネットワーク設定の変更
- SIM カードのロック
- データ使用量の監視

## モバイル データ接続の共有

[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) 設定を使用すると、データ接続を共有できます。TC56 のモバイル データ接続を USB のテザリングまたは Bluetooth のテザリング経由で 1 台のコンピュータと共有できます。また、ポータブル Wi-Fi ホットスポットを有効にすると、最大 8 台のデバイスと同時にデータ接続を共有できます。TC56 でデータ接続を共有している間、画面の上部にはアイコンが表示され、通知リストに関連メッセージが表示されます。


## USB テザリング



注: USB テザリングは、Mac OS を実行するコンピュータではサポートされていません。Windows 7 または最近の Linux バージョン (Ubuntu など) を実行しているコンピュータの場合は、次の手順に従ってください。特別な準備の必要はありません。Windows 7 以前のバージョンの Windows、または他のオペレーティング システムを使用している場合は、USB 経由によるネットワーク接続の確立ができるようコンピュータの事前設定が必要な場合があります。

1. USB ケーブルを使用し、TC56 をホスト コンピュータに接続します。

[USB charging this device] (USB でこのデバイスを充電中) という通知が通知パネルに表示されます。

- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
- ...[More] (詳細) をタッチします。
- [Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
- [USB tethering] (USB テザリング) スイッチをタッチして有効にします。


これで、ホスト コンピュータは TC56 のデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、[USB tethering] (USB テザリング) スイッチをもう一度タッチするか、USB ケーブルを取り外します。

## Bluetooth テザリング

Bluetooth テザリングを使用して、ホスト コンピュータとデータ接続を共有します。

Bluetooth を使用してネットワーク接続を取得するようにホスト コンピュータを設定します。詳細については、ホスト コンピュータのマニュアルを参照してください。


- TC56 をホスト コンピュータとペアリングします。
- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
- ...[More] (詳細) をタッチします。
- [Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
- [Bluetooth tethering] (Bluetooth テザリング) スイッチをタッチして有効にします。


これで、ホスト コンピュータは TC56 のデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、[Bluetooth tethering] (Bluetooth テザリング) スイッチをもう一度タッチします。

## ポータブル Wi-Fi ホットスポット

Wi-Fi ホットスポットを設定します。

- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
- ...[More] (詳細) をタッチします。
- [Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
- [Portable Wi-Fi hotspot] (ポータブル Wi-Fi ホットスポット) スイッチをタッチして有効にします。

しばらくすると、TC56 が Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを開始します。これで、最大 8 台のコンピュータやその他のデバイスに接続できるようになります。[Hotspot] (ホットスポット)  アイコンがステータス バーに表示されます。

データ接続の共有を停止するには、[Portable Wi-Fi hotspot] (ポータブル Wi-Fi ホットスポット) スイッチをもう一度タッチします。

## Wi-Fi ホットスポットの設定


- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
- ...[More] (詳細) をタッチします。
- [Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
- [Set up Wi-Fi hotspot] (Wi-Fi ホットスポットの設定) をタッチします。

図 121 [Setup Wi-Fi Hotspot] (Wi-Fi ホットスポットの設定) ダイアログ ボックス

**Set up Wi-Fi hotspot**

Network name  
AndroidAP

Country  
No Country Acquired

Select AP Band  
2.4 GHz Band

Channel  
Ch.1 (2412 MHz)

Security  
WPA2 PSK

Password  
.....

The password must have at least 8 characters.

CANCEL SAVE

5. **[Network name]** (ネットワーク名) テキスト フィールドで、ホットスポットの名前を編集します。
6. **[Select AP Band]** (AP 帯域幅を選択) ドロップダウン リストから、**[2.4GHz Band]** (2.4Ghz 帯) を選択します。
7. **[Channel]** (チャネル) オプションをタッチして、ドロップダウン リストからチャネル番号を選択します。
8. **[Security]** (セキュリティ) オプションをタッチして、ドロップダウン リストからセキュリティの方法を選択します。
  - なし
  - [WPA2 PSK]
9. **[Password]** (パスワード) テキスト フィールドにパスワードを入力します。



注: **[Security]** (セキュリティ) オプションで **[None]** (なし) を選択した場合、パスワードは要求されません。

10. **[Save]** (保存) をタッチします。

## 携帯電話ネットワークの設定

### データローミングを無効にする

利用しているキャリアのネットワークでカバーしているエリアを離れた際、デバイスが別のキャリアのモバイルネットワークを使ってデータを転送しないようにします。サービス プランにデータ ローミングが含まれていない場合、経費を制御するのに役立ちます。

#### CDMA デバイス


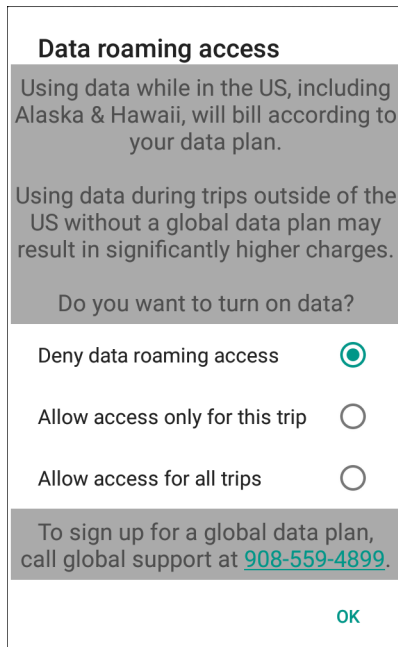

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. ...**[More]** (詳細) > **[Cellular networks]** (携帯電話ネットワーク) > **[Data roaming access]** (データ ローミング アクセス) をタッチします。

図 122 [Data Roaming Access] (データ ローミング アクセス) ダイアログ ボックス




3. ローミング オプションを選択して、[OK] をタッチします。

### GSM デバイス

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. ...[More] (詳細) > [Cellular networks] (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
3. [Data roaming] (データ ローミング) スイッチをオフの位置にスライドさせます。

### Preferred Network Type (優先ネットワーク タイプ)

ネットワークの動作モードを変更する際に使用します。


1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. ...[More] (詳細) > [Cellular networks] (携帯電話ネットワーク) > [Preferred Network Type] (優先ネットワーク タイプ) をタッチします。
3. [Preferred network type] (優先ネットワーク タイプ) ダイアログ ボックスで、デフォルトとして設定するモードを選択します。オプション: [LTE only] (LTE のみ)、[Automatic] (自動)、または [CDMA only] (CDMA のみ)。

### Enhanced 4G LTE モード

LTE サービスを使用して、音声通信やその他の通信性能を向上させます (デフォルトでは無効になっています)。

### マイクロセルの検索

マイクロセルは、建物や住宅内で小さな携帯電話基地局のように動作し、既存のブロードバンド インターネット サービスに接続します。マイクロセルを使用すると、音声通話、テキスト、携帯電話のデータアプリケーション (画像メッセージ、Web サーフィンなど) 使用時の携帯電話信号のパフォーマンスが向上します。



1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. ...[More] (詳細) をタッチします。



3. **[Cellular Networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[Search for MicroCell]** (マイクロセルの検索) をタッチします。

### System Select (システム選択)

[System select] (システム選択) を使用して、CDMA ローミング モードを変更します。





1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. ...**[More]** (詳細) > **[Cellular networks]** (携帯電話ネットワーク) > **[System Select]** (システム選択) をタッチします。
3. [System select] (システム選択) ダイアログ ボックスでモードを選択します。オプション:
  - **[Home only]** (ホームのみ) - ホーム ネットワークからローミングしません。
  - **[Automatic]** (自動) - 自動ローミングを許可します。
4.  をタッチします。

### アクセス ポイント名の編集



注: 多くのサービス プロバイダのアクセス ポイント名 (APN) データはデバイスに事前設定されています。その他すべてのサービス プロバイダの APN 情報は、ワイヤレス サービス プロバイダから取得する必要があります。

ネットワークでデータを使用するには、APN 情報を設定する必要があります。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. ...**[More]** (詳細) をタッチします。
3. **[Cellular networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[Access Point Names]** (アクセス ポイント名) をタッチします。
5. リストの APN 名をタッチして既存の APN を編集するか、 をタッチして新しい APN を作成します。
6. 各 APN 設定をタッチして、ワイヤレス サービス プロバイダから取得した適切な情報を入力します。
7. 完了したら、 をタッチします。
8. **[Save]** (保存) をタッチします。
9. APN 名の横にあるラジオ ボタンをタッチして、その APN の使用を開始します。
10.  をタッチします。

### SIM カードのロック

SIM カードをロックすると、デバイスの電源をオンにするたびに PIN の入力が必要になります。正しい PIN が入力されない場合は、かけられるのは緊急電話のみになります。



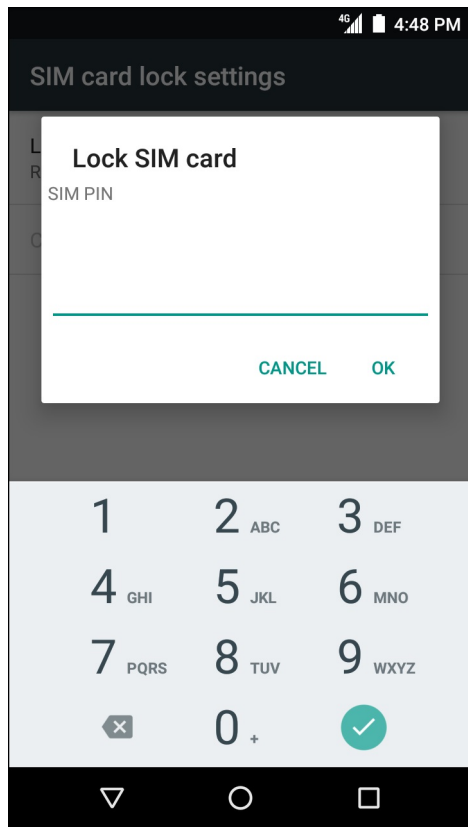

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Security]** (セキュリティ) () をタッチします。
3. **[Set up SIM card lock]** (SIM カードのロックの設定) をタッチします。
4. **[Lock SIM card]** (SIM カードのロック) をタッチします。

図 123 SIM カードをロックする PIN の入力



5. カードと関連づけられている PIN を入力します。[OK] をタッチします。
6. デバイスをリセットします。

## データ使用量

データ使用量とは、所定の期間内に TC56 によってアップロードまたはダウンロードされたデータの量を指します。無線通信のプランに応じて、データ使用量がプランの制限を超えると、追加料金が請求される場合があります。データ使用量を監視するには、ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。



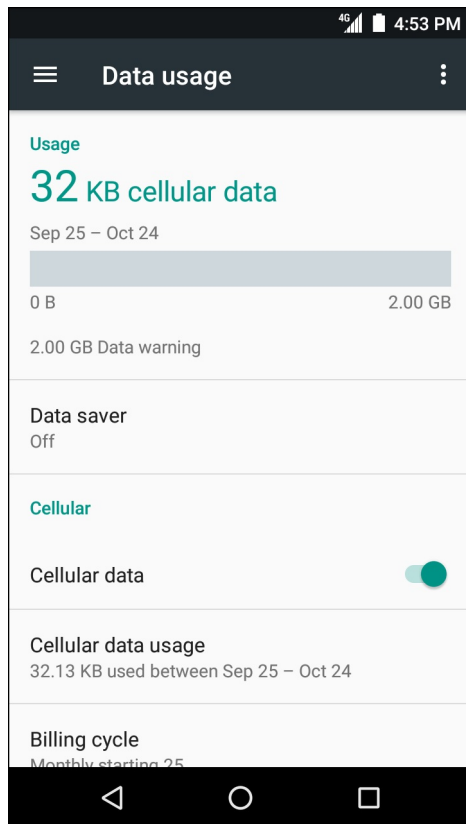
**注意:** データ使用量設定画面に表示される使用量は、ご使用のデバイスにより測定されたものです。ご利用のキャリアで計算されるデータ使用量とは異なる場合があります。使用量がキャリアのプランのデータ制限を超えた場合、大幅に料金が超過する可能性があります。ここで説明する機能は、使用量の追跡には役立ちますが、追加料金が発生しないことを保証するものではありません。

データ使用量設定では、次の設定を行うことができます。

- データ使用量レベルを設定して、警告を受信します。
- データ使用量の制限を設定します。
- アプリごとにデータ使用量を表示または制限します。
- モバイル ホットスポットを識別し、追加料金発生の原因となるおそれのあるバックグラウンド ダウンロードを制限します。

デフォルトでは、データ使用量設定画面を開くとモバイル データ、つまりデータ ネットワークや、キャリアが提供するネットワーク用の設定が表示されます。

図 124 データ使用量画面



## データ使用量の警告の設定

一定のモバイル データが使用されると警告を発するよう設定するには、次の手順を実行します。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Data usage]** (データ使用量) をタッチします。
3. **[Cellular data usage]** (携帯電話のデータ使用量) > > **[Data warning]** (データの警告) をタッチします。
4. 数値を入力します。メガバイト (MB) とギガバイト (GB) を切り替えるには、下矢印をタッチします。
5. **[Set]** (設定) をタッチします。

使用量が設定レベルに達すると通知が表示されます。

## データ制限の設定

データ使用量の制限を設定するには、次の手順を実行します。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Data usage]** (データ使用量) をタッチします。
3. **[Cellular data usage]** (携帯電話のデータ使用量) > > **[Set data limit]** (データ制限の設定) をタッチします。
4. **[OK]** をタッチします。
5. **[Data limit]** (データ制限) をタッチします。
6. 数値を入力します。メガバイト (MB) とギガバイト (GB) を切り替えるには、下矢印をタッチします。
7. **[Set]** (設定) をタッチします。

制限に達すると、データは自動的にオフになり通知が表示されます。

## 無線ローカル エリア ネットワーク

無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) を使用すると、TC56 で屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で TC56 を使用するには、WLAN の実行に必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれる) を施設にセットアップする必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと TC56 を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[Wireless & networks] (無線とネットワーク)** 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するように TC56 を設定してください。

TC56 は、次の WLAN セキュリティ オプションをサポートします。

- Open
- Wireless Equivalent Privacy (WEP)
- Wi-Fi Protected Access (WPA)/WPA2 Personal (PSK)
- Extensible Authentication Protocol (EAP)

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかどうかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、「ステータス バー」を参照してください。

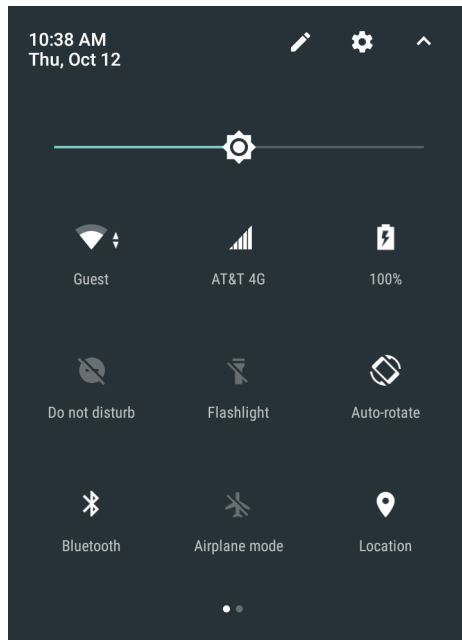


注: Wi-Fi を使用しないときはオフにすると、バッテリーの消耗を避けられます。

## Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。

図 125 クイック アクセス パネル



2. **[WLAN]** にタッチして、**[WLAN]** 画面を開きます。TC56 はエリア内の WLAN を検索して一覧表示します。

図 126 WLAN 画面



3. リストをスクロールし、使用する WLAN ネットワークを選択します。
4. 公開ネットワークの場合は、プロファイルを一度タッチするか長押しして **[Connect to network]** (ネットワークに接続) を選択します。また、セキュア ネットワークの場合は、要求されるパスワードまたはその他の認証情報を入力してから、**[Connect]** (接続) をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。




TC56 は、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワーク アドレスなどの必要な情報を取得します。固定インターネット プロトコル (IP) アドレスを使用するよう

に TC56 を設定する方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

5. Wi-Fi の設定フィールドに、**[Connected]** ( 接続済み ) が表示され、TC56 が WLAN に接続されていることが示されます。

## Wi-Fi ネットワークの削除

認識または接続されているネットワークを削除するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  **[Wi-Fi]** をタッチします。
3. **[Wi-Fi]** リストで、ネットワークの名前を長押しします。
4. メニューで、**[Forget network]** ( ネットワークの削除 ) をタッチします。
5.  をタッチします。

## Bluetooth

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS) 無線周波数 (RF) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信を行うことができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載したデバイスは、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル デバイスといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

TC56 では、Bluetooth Low Energy がサポートされています。Bluetooth Low Energy は、医療、フィットネス、セキュリティおよびホーム エンタテインメント業界のアプリケーションを対象としています。Bluetooth の標準の範囲を確保しつつ、電力消費とコストの削減を可能にします。

### 適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。802.11b で重要な通信を行っている際は、Bluetooth 接続の確立や検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップ シーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、エンタープライズ デバイスはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

デバイスの Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力およびデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワー クラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注: 802.11b での高速度動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

### セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしようとするデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用できます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

#### 推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない、また PIN コードをデバイスに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

## Bluetooth プロファイル

デバイスでは、次の Bluetooth サービスがサポートされます。

- サービス検索プロトコル (SDP) - 既知のサービスおよび特殊なサービスの他、一般サービスの検索も処理します。
- シリアル ポート プロファイル (SPP) - SPP を使用すると、RFCOMM プロトコルを使った 2 台の Bluetooth ピア デバイス間でのシリアル ケーブル接続のエミュレートが可能になります。たとえば、デバイスをプリンタに接続します。
- オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP) - デバイスとプッシュ サーバーの間で、オブジェクトのプッシュとプルを可能にします。
- 高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP) - ステレオ並みの高品質な音声を無線ヘッドセットや無線ステレオスピーカにストリーミング配信します。
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) - ユーザーがアクセスできるオーディオやビデオ機器をデバイスからリモートでコントロールすることができます。A2DP とあわせて使用できます。
- パーソナル エリア ネットワーク (PAN) - Bluetooth Network Encapsulation を使用して、Bluetooth リンクで L3 のネットワーク機能を提供します。PANU ロールのみの対応になります。
- ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID) - HID を使用すると、Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート監視デバイスが接続できるようになります。
- ヘッドセット プロファイル (HSP) - Bluetooth ヘッドセットなどのハンズフリー デバイスを使用した発信および着信の操作が行えるようになります。
- ハンズフリー プロファイル (HFP) - カー ハンズフリー キットと車内のデバイスの間の通信を可能にします。
- アウト オブ バンド (OOB) - ペアリング プロセスで使用する情報の交換を可能にします。ペアリングは Bluetooth 無線で行いますが、OOB メカニズムからの情報を必要とします。OOB を NFC で使用すると、時間のかかる検出プロセスを行う必要がなくなり、デバイスを近付けるだけでペアリングできるようになります。
- Phone Book Access Profile (PBAP) - 車載キットとモバイル デバイスの間で Phone Book オブジェクトを交換できるようにします。その結果、車載キットで Phone Book をダウンロードして、かかってきた通話の発信者の名前を表示できるようになります。このため、車載ディスプレイから電話をかけることができます。
- Symbol Serial Interface (SSI) - RS507 Bluetooth イメージャと通信できるようにします。

## Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線はデフォルトではオフになっています。



- [Suspend] (サスペンド) - TC56 がサスペンド モードに入っても、Bluetooth 無線はオンのままです。
- [Airplane Mode] (機内モード) - TC56 を [Airplane Mode] (機内モード) に設定すると、Bluetooth 無線はオフになります。機内モードをオフにすると、Bluetooth 無線が前の状態に戻ります。機内モードがオンの場合でも、必要であれば Bluetooth 無線はオンにできます。

## Bluetooth 無線の電源

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスはデバイスを検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。



注: バッテリーを長持ちさせるには、未使用時に無線をオフにします。

### Bluetooth を有効にする

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. ✖ をタッチして、Bluetooth をオンにします。
3. [Done] (完了) をタッチします。
4. ○ をタッチします。

### Bluetooth を無効にする

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. ✖ をタッチして、Bluetooth をオフにします。
3. [Done] (完了) をタッチします。
4. ○ をタッチします。

## Bluetooth デバイスを検出する





TC56 は、検出されたデバイスとペアリングしていなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、ペアリングしておくことで、Bluetooth 無線をオンにすると TC56 とペアリングしたデバイスは自動的に情報を交換します。通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
4. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
5. [Bluetooth] をタッチします。
6. [More Settings] (その他の設定) をタッチします。[Bluetooth] 画面が表示されます。
7. エリア内で検出できる Bluetooth デバイスの検索が開始され、[Available Devices] (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
8. リストをスクロールし、デバイスを選択します。[Bluetooth pairing request] (Bluetooth ペアリングのリクエスト) ダイアログ ボックスが表示されます。
9. テキスト ボックスに PIN を入力し、[OK] をタッチします。他のデバイスで同じ PIN を入力します。
10. シンプル ペアリングの場合は、両方のデバイスで [Pair] (ペア) をタッチします。

- Bluetooth デバイスが **[Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス)** リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。



## Bluetooth の名前の変更

TC56 には汎用の Bluetooth 名があり、他のデバイスに接続されると、デフォルトではこの名前が表示されます。

- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
-  **[Bluetooth]** をタッチします。
- Bluetooth がオンになっていない場合は、スイッチをタッチし Bluetooth をオンにします。
-  をタッチします。
- [Rename device] (デバイスの名前変更)** をタッチします。
- 名前を入力して、**[Rename] (名前変更)** をタッチします。
-  をタッチします。





## Bluetooth デバイスへの接続

ペアリングが完了したら、Bluetooth デバイスに接続します。

- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
-  **[Bluetooth]** をタッチします。
- リストで、未接続の Bluetooth デバイスにタッチします。
- 接続すると、デバイス名の下に **[Connected] (接続済み)** と表示されます。





## Bluetooth デバイスのプロファイル選択

一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルが含まれています。プロファイルを選択するには、次の手順に従います。

- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
-  **[Bluetooth]** をタッチします。
- [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス)** リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
- [Use for] (使用の指定)** で、プロファイルをオンまたはオフにして、デバイスがプロファイルを使用できるようにします。
-  をタッチします。

## Bluetooth デバイスのペアリング解除

Bluetooth デバイスのペアリングを解除してすべてのペアリング情報を消去するには、次の手順に従います。

- ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
-  **[Bluetooth]** をタッチします。
- [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス)** リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
- [Forget] (消去)** をタッチします。
-  をタッチします。

## Near Field Communications

NFC/HF RFID は、リーダーと非接触型スマート カード間の安全なトランザクションを可能にする短距離無線接続技術です。この技術は、HF 13.56MHz の免許不要の帯域を利用し、ISO/IEC 14443 type A/B (近接) および ISO/IEC 15693 (周辺) 標準に基づいています。TC56 は、次の 3 つの動作モードをサポートしています。

- リーダー モード
- ピアツーピア通信
- カード エミュレーション モード

NFC を使用して、TC56 で次のことを実行できます。

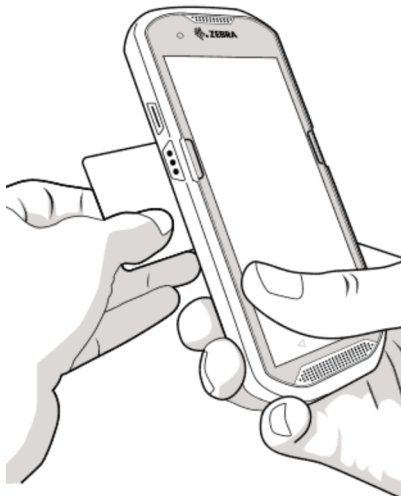
- 非接触型チケット、ID カードおよび ePassport などの非接触型カードの読み取り。
- SmartPoster やチケットなどの非接触型カードのほか、自動販売機などの NFC インタフェース搭載デバイスに対する情報の読み取りと書き込み。
- サポート対象の医用センサからの情報の読み取り。
- プリンタやヘッドセットなどのサポート対象の Bluetooth デバイスとのペアリング。
- 別の NFC デバイスとのデータの交換。
- 支払い、チケット、SmartPoster などの非接触型カードのエミュレート。

TC56 の NFC アンテナは、ユーザーが手に持った状態で、デバイスの上から NFC カードを読み取れるように独特な方法で配置されています。

### NFC カードの読み取り

1. NFC 対応アプリケーションを起動します。
2. 次に示すように、デバイスを持ちます。

図 127 カードの読み取り



3. TC56 がカードを検出するまで、TC56 を NFC カードに近づけます。
4. トランザクションが完了するまで (通常はアプリケーションによって示される)、カードを固定したままかざします。

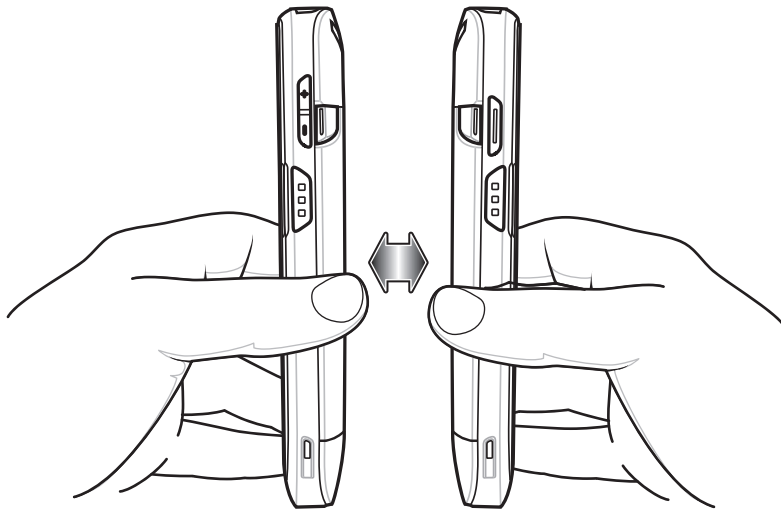
## NFC を使用した情報の共有

複数のデバイスを背中合わせにして、画面に表示されている Web ページ、連絡先カード、画像、YouTube のリンクまたは位置情報などのコンテンツを送信することができます。

両方のデバイスがロックされていないこと、NFC をサポートしていること、および NFC と Android Beam の両方がオンになっていることを確認してください。

1. Web ページ、ビデオ、写真、または連絡先を表示する画面を開きます。
2. TC56 の背面を、他のデバイスの背面に向けます。

図 128 NFC を使用したデータの共有



デバイス同士が接続すると、音が鳴ります。画面に表示されている画像のサイズが縮小され、**[Touch to beam]** (タッチして送信) というメッセージが表示されます。

3. 画面にタッチします。  
送信が開始されます。

# アクセサリ

## はじめに

この章では、デバイスのアクセサリの使用方法について説明します。

## アクセサリ

次の表に、TC56 で使用できるアクセサリを示します。

表 13 TC56 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
1 スロット USB/ 充電専用 クレードル キット	CRD-TC56-1SCU-01	デバイスの充電および通信用です。クレードル、電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器キット付き)	CRD-TC56-5SC4B-01	最大 4 台のデバイスと 4 個の予備バッテリーを充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
5 スロット充電専用クレードル キット	CRD-TC56-5SCHG-01	最大 5 台のデバイスを充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。バッテリーアダプタカップを使用した 1 台の 4 スロット バッテリー充電器の取り付けが可能です。
5 スロット イーサネット クレードル キット	CRD-TC56-5SETH-01	最大 5 台のデバイスの充電およびイーサネット通信用です。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。バッテリーアダプタカップを使用した 1 台の 4 スロット バッテリー充電器の取り付けが可能です。
クレードル マウント	BRKT-SCRD-SMRK-01	壁面またはラックに 5 スロット充電専用クレードル、5 スロット イーサネットクレードル、および 4 スロット バッテリー充電器を取り付けます。

表 13 TC56 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
<b>バッテリーと充電器</b>		
PowerPrecision バッテリー	BTRY-TC56-43MA1-01 BTRY-TC56-43MA1-10	交換用バッテリー (シングル パック)。 交換用バッテリー (10 パック)。
4 スロット バッテリー充電器 キット	SAC-TC56-4SCHG-01	最大 4 個のバッテリー パックを同時に充電 します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、および DC 電源 コードを含みます。
<b>車載用ソリューション</b>		
シガレット ライト アダプタ 車用充電ケーブル	CHG-AUTO-USB1-01	シガレット ライト ソケットからデバイスに電 力を供給します。
TC56 車載用通信充電 クレードル	CRD-TC56-UVCD1-01	TC56 への電力供給 (オプションの USB I/O ハ ブに接続し、デバイスをしっかりと固定した 場合)。
TC56 充電専用車載用 クレードル	CRD-TC56-CVCD1-01	デバイスを充電するとともに、しっかりと固定 します。電源ケーブル CHG-AUTO-CLA1-01 ま たは CHG-AUTO-HWIRE1-01 (別売り) が必要 です。
USB I/O ハブ	SHARE-USBH-01	TC56 車載用通信充電クレードルへの電力供給 と USB 接続に使用します。電源ケーブル CHG-AUTO-CLA1-01 または CHG-AUTO-HWIRE1-01 (別売り) が必要です。
<b>充電ケーブルおよび通信ケーブル</b>		
高耐久性充電 /USB ケーブル	CBL-TC56-USB1-01	デバイスの通信および電源用です。電源 PWR-WUA5V12W0xx が必要です。
<b>オーディオ アクセサリ</b>		
2.5 mm オーディオ アダプタ	CBL-TC56-HDST25-01	デバイスに差し込み、2.5mm プラグの有線ヘッ ドセットに音声を送ります。
2.5 mm ヘッドセット	HDST-25MM-PTVP-01	PTT 通話および VoIP 通話に使用します。
3.5 mm オーディオ アダプタ	CBL-TC56-HDST35-01	デバイスに差し込み、3.5mm カラープラグ の有線ヘッドセットに音声を送ります。
3.5 mm ヘッドセット	HDST-35MM-PTVP-01	PTT 通話および VoIP 通話に使用します。
<b>その他</b>		
高耐久性ブーツ	SG-TC56-EXO1-01	デバイスの保護を強化します。
トリガ ハンドル	TRG-TC56-SNP1-01	使いやすく生産性の高いスキャン操作を可能 にするスキャナトリガを備えたガン タイプの ハンドルを取り付けます。高耐久性ブーツが必要 です。

表 13 TC56 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
トリガ ハンドル キット (高耐久性ブーツ付き)	TRG-TC56-TRG1-01	使いやすく生産性の高いスキャン操作を可能にするスキャナトリガを備えたガンタイプのハンドルを取り付けます。
スクリーン保護シート	KT-TC56-SCRNP1-01	画面保護を強化します。
SmartDEX ソリューション	DEX30	TC56 に無線 DEX 通信機能を提供します。
<b>携帯用ソリューション</b>		
ソフト ホルスタ	SG-TC56-HLSTR1-01	デバイスをしっかりと持つために使用します。高耐久性ブーツとトリガ ハンドル付きのデバイスに対応します。
ハンドストラップ	SG-TC56-EHDSTP1-03	ハンドストラップ マウント クリップ 用交換 ハンドストラップ (3 パック)
スタイラスペンおよびコイルストラップ	SG-TC7X-STYLUS-03	TC7X スタイラスペンとコイルストラップ (3 パック)。
<b>電源</b>		
電源	PWR-BGA12V50W0WW	1 スロット USB 充電クレードルおよび 4 スロット予備バッテリー充電器に電力を供給します。AC 電源コードが必要です。
電源	PWR-BGA12V108W0WW	4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)、5 スロット充電専用クレードルおよび 5 スロット イーサネット クレードルに電力を供給します。p/n 50-16002-029R の DC 電源コードと、国別のアース付き AC 電源コード (3 ワイヤ) が必要です (別売り)。
電源	PWR-WUA5V12W0US	高耐久性充電/USB ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。米国で使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0GB	高耐久性充電/USB ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。欧州連合で使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0EU	高耐久性充電/USB ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。英国で使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0AU	高耐久性充電/USB ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。オーストラリアで使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0CN	高耐久性充電/USB ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。中国で使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0IN	高耐久性充電/USB ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。インドで使用するためのプラグアダプタが含まれます。

表 13 TC56 のアクセサリ ( 続き )

アクセサリ	部品番号	説明
DC 電源コード	CBL-DC-382A1-01	電源 (PWR-BGA12V108W0WW) からバッテリー充電器付き 4 スロット充電専用クレードル、5 スロット充電専用クレードル、および 5 スロット イーサネット クレードルに電力を供給します。
DC 電源コード	CBL-DC-388A1-01	電源 (PWR-BGA12V50W0WW) から 1 スロット USB/充電専用クレードルおよび 4 スロット バッテリー充電器に電力を供給します。



## 1 スロット USB 充電クレードル

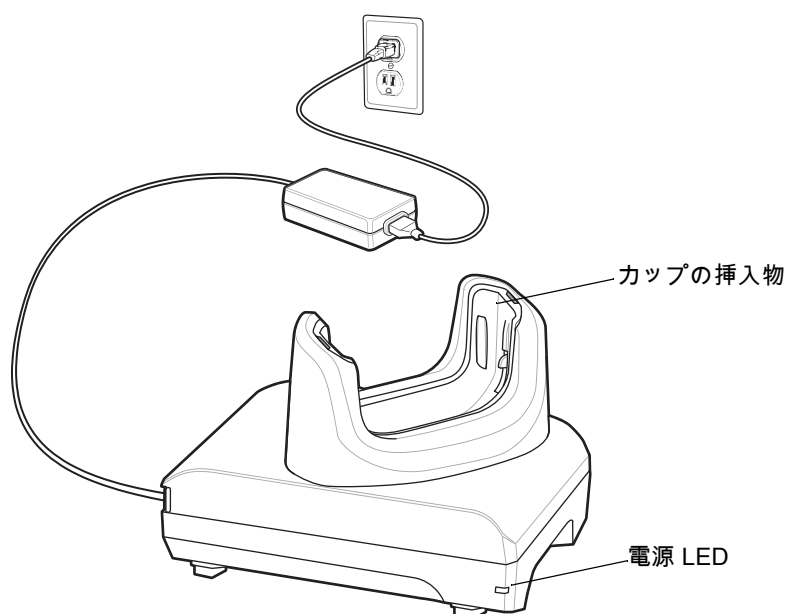


注意: 199 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

1 スロット USB 充電クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給する。
- デバイスのバッテリーを充電する。
- ホスト コンピュータとの USB 通信を行う。

図 129 1 スロット USB 充電クレードル



## デバイスの充電

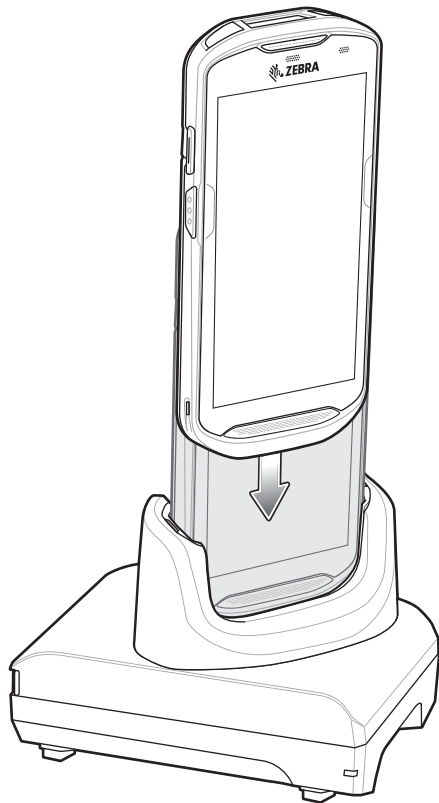
デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注: デバイスに高耐久性ブーツがある場合は、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電が開始します。

図 130 バッテリーの充電

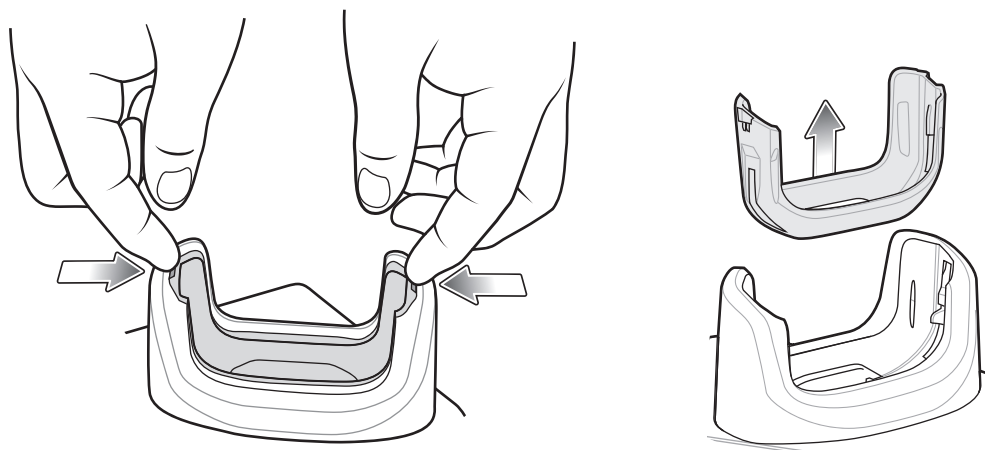


2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

## 高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

図 131 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、[25 ページの表 3](#) を参照してください。 $\geq 15.48$  ワット時 (一般) /  $\geq 4,150$  mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 充電温度

バッテリーの充電は、 $0 \sim 40^{\circ}\text{C}$  ( $32 \sim 104^{\circ}\text{F}$ ) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約  $+37^{\circ}\text{C}$  ( $+98^{\circ}\text{F}$ ) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には LED が点灯します。

## 4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)

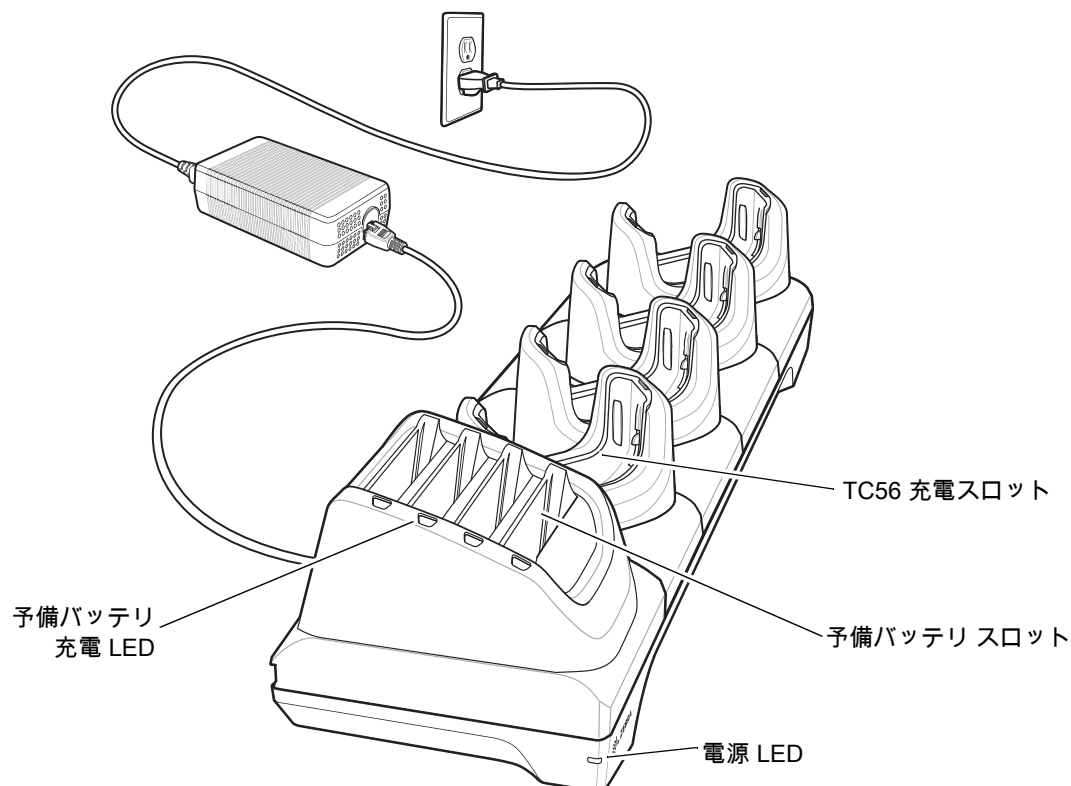


注意: 199 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- TC56 の動作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- バッテリー充電器アダプタを使用して、最大 4 台の TC56 と最大 4 台の予備バッテリーを同時に充電します。

図 132 4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)



### TC56 の充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注: デバイスに高耐久性ブーツがある場合は、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

1. スロットに TC56 を挿入すると充電が開始されます。

図 133 TC56 のバッテリーの充電

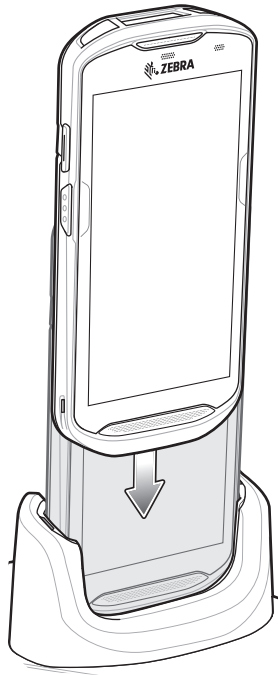
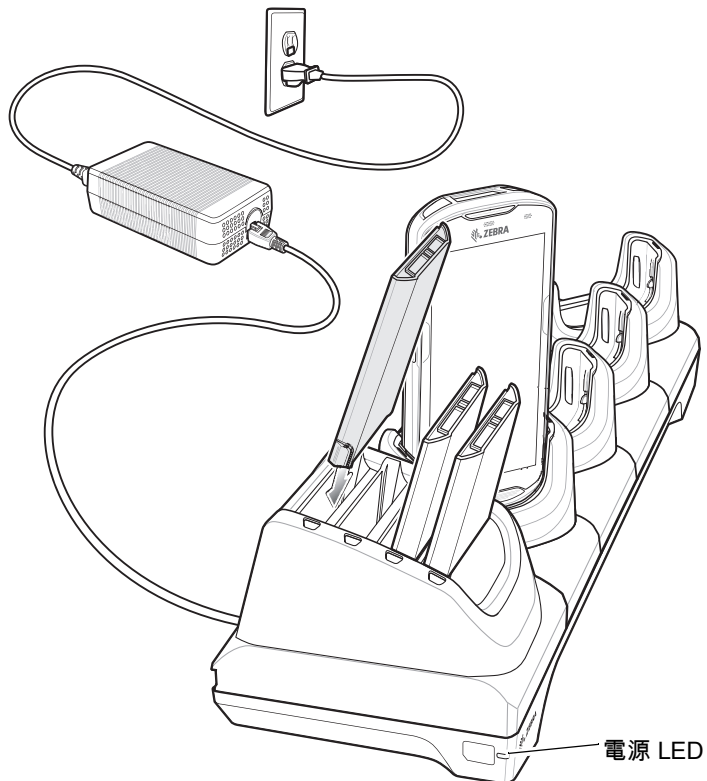


図 134 予備バッテリーの充電



2. TC56 が正しく取り付けられていることを確認します。

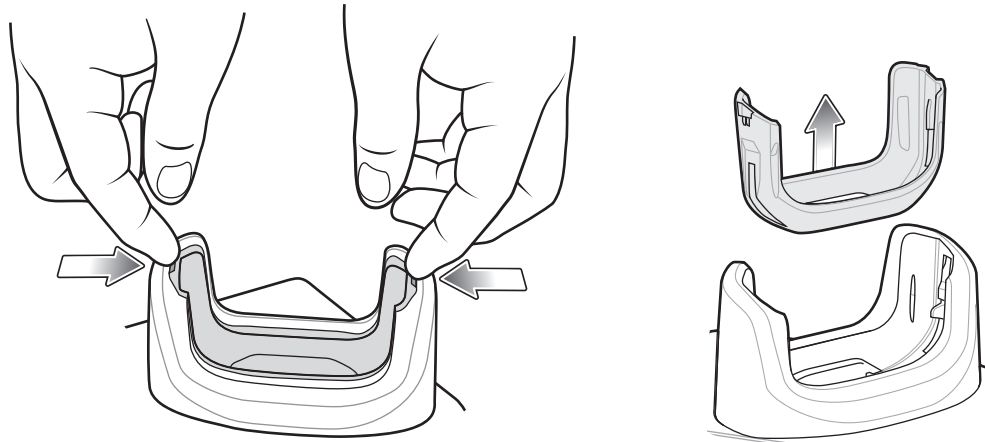


4 スロット バッテリー充電器をクレードルに設置する方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2 for Android Version 7.1.2』を参照してください。

## 高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

図 135 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

### メイン バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、[25 ページの表 3](#) を参照してください。 $\geq 15.48$  ワット時 (一般) /  $\geq 4,150$  mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 予備バッテリーの充電



カップの予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電の状態を示します。 $\geq 15.48$  ワット時 (一般) /  $\geq 4,150$  mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。

表 14 予備バッテリー LED の充電インジケータ

LED	LED	意味
黄色で点灯		予備バッテリーを充電中です。
黄色と明るい黄色が交互に点灯		適切な予備バッテリーを充電中です。
緑色の点灯		予備バッテリーの充電が完了しました。
緑色と明るい緑色が交互に点灯		適切な予備バッテリーの充電が完了しました。
赤色の点灯		予備バッテリーが充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電中にエラーが発生しました。予備バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。バッテリーの寿命が近づいています。
消灯		スロットに予備バッテリーが挿入されていないか、予備バッテリーが正しく挿入されていない、またはクレードルの電源が入っていません。

## 充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には LED が点灯します。

## 5 スロット充電専用クレードル

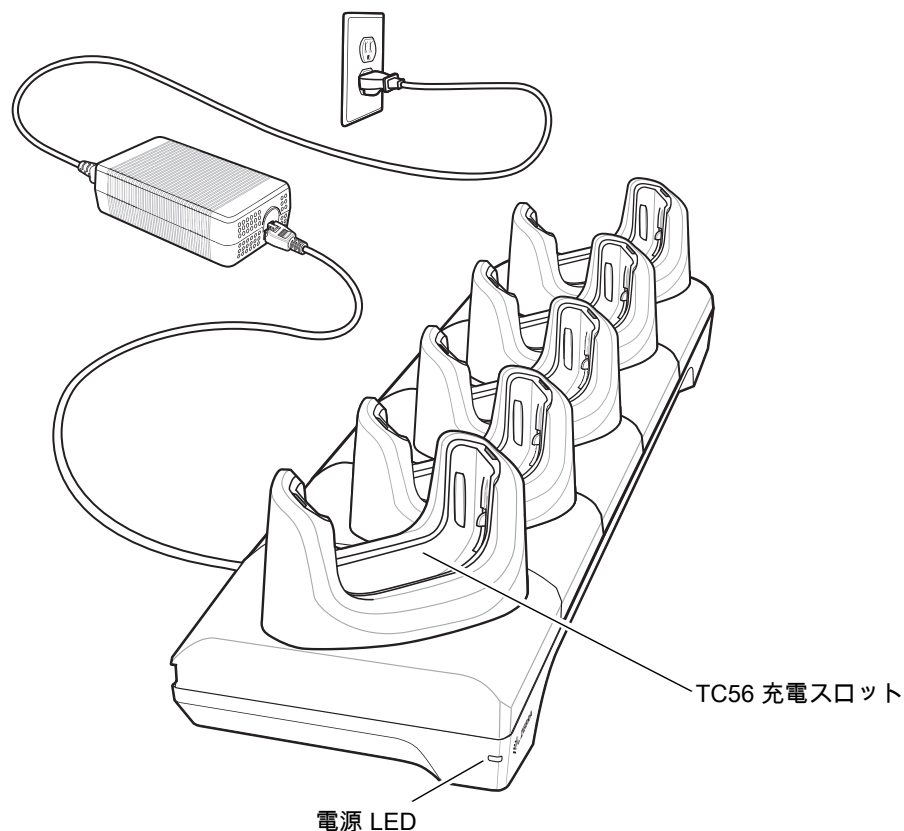


注意: 199 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

5 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- TC56 の動作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- 最大 5 台の TC56 を同時に充電します。

図 136 5 スロット充電専用クレードル



## TC56 の充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。

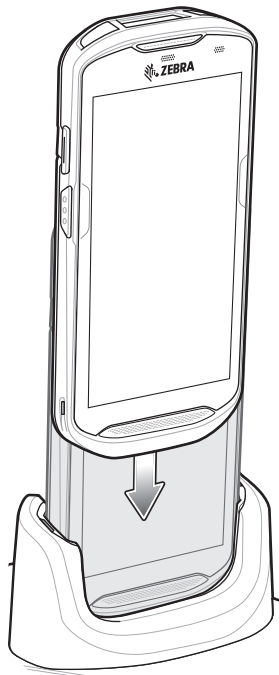


注: デバイスに高耐久性ブーツがある場合は、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

1. スロットに TC56 を挿入すると充電が開始されます。



図 137 TC56 のバッテリーの充電



2. TC56 が正しく取り付けられていることを確認します。

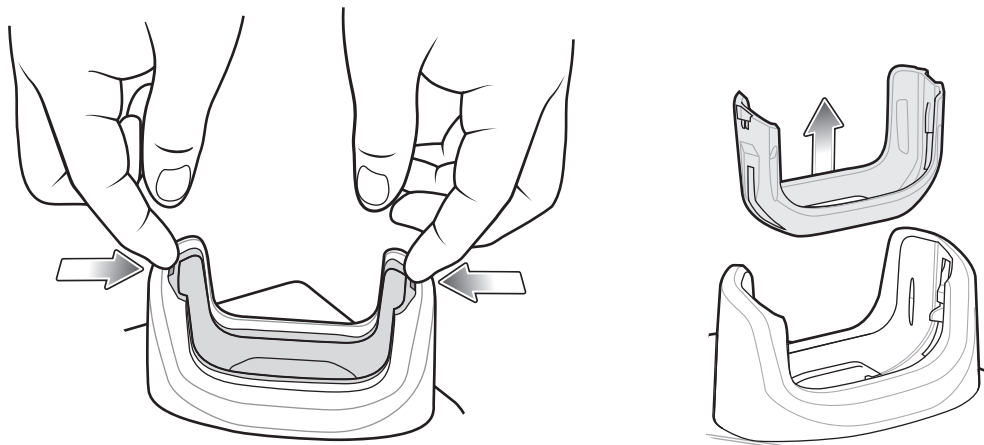


4 スロット バッテリー充電器をクレードルに設置する方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

## 高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

図 138 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、[25 ページの表 3](#)を参照してください。 $\geq 15.48$  ワット時 (一般) /  $\geq 4,150$  mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 充電温度

バッテリーの充電は、 $0 \sim 40^{\circ}\text{C}$  ( $32 \sim 104^{\circ}\text{F}$ ) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約  $+37^{\circ}\text{C}$  ( $+98^{\circ}\text{F}$ ) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には LED が点灯します。

## 5 スロット イーサネット クレードル

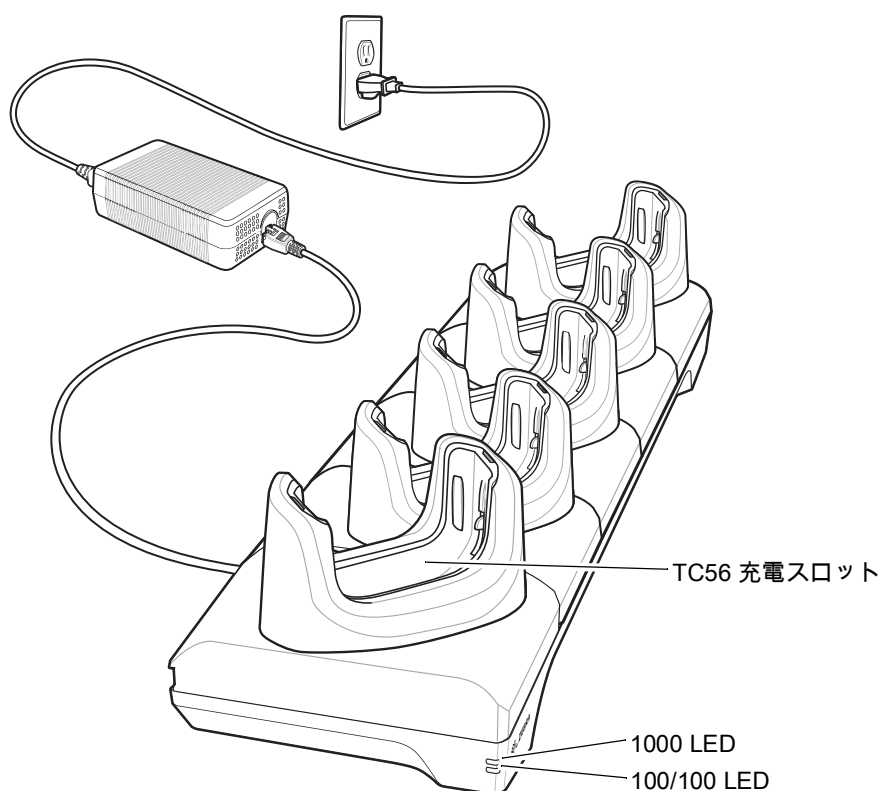


注意: 199 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

5 スロット イーサネット クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給する。
- 最大 5 台のデバイスをイーサネット ネットワークに接続する。
- 最大 5 台の TC56 を同時に充電します。

図 139 5 スロット イーサネット クレードル



### TC56 の充電

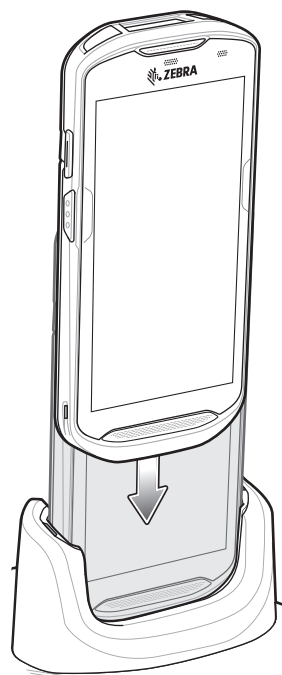
デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注: デバイスに高耐久性ブーツがある場合は、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

1. スロットに TC56 を挿入すると充電が開始されます。

図 140 TC56 のバッテリーの充電

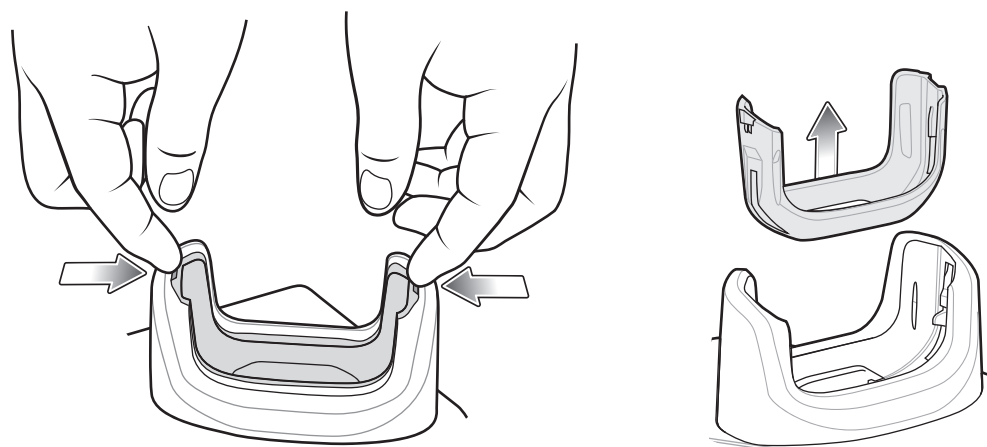


2. TC56 が正しく取り付けられていることを確認します。

## 高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

図 141 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、[25 ページの表 3](#)を参照してください。 $\geq 15.48$  ワット時 (一般) /  $\geq 4,150$  mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。


## 充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には LED が点灯します。

## イーサネット接続の確立



注: イーサネット設定の詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Ethernet]** (イーサネット) をタッチします。
3. イーサネット スイッチを **[ON]** (オン) の位置にスライドします。
4. デバイスをスロットに挿入します。  
↔アイコンがステータス バーに表示されます。
5. **[Eth0]** をタッチし、イーサネット接続の詳細を表示します。

## LED インジケータ

クレードルの側面には、2 つの緑色の LED が搭載されています。これらの緑色の LED は、点灯および点滅してデータ転送速度を示します。

表 15 LED データ速度インジケータ

データ速度	1000 LED	100/10 LED
1Gbps	オン / 点滅	消灯
100Mbps	消灯	オン / 点滅
10Mbps	消灯	オン / 点滅

## 4 スロット バッテリー充電器



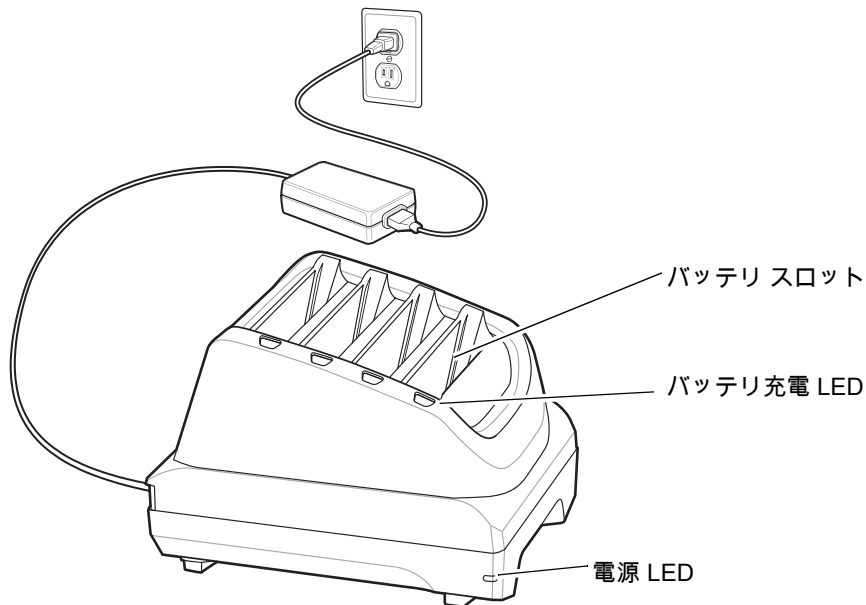
注意: 199 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、4 スロット バッテリー充電器を使用して最大 4 台の TC56 バッテリーを充電する方法について説明します。

### 予備バッテリーの充電

1. 電源に充電器を接続します。
2. バッテリーをバッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

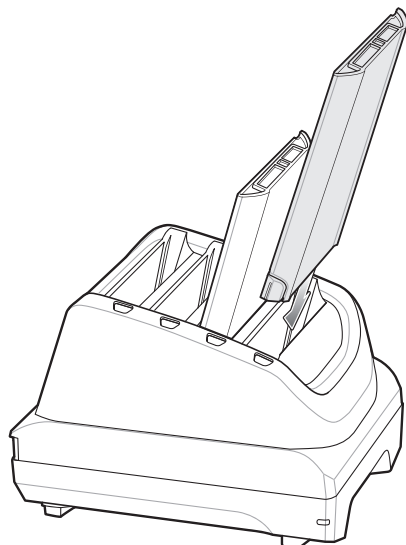
図 142 4 スロット バッテリー充電器



## バッテリーの充電

### 予備バッテリーの充電

図 143 充電器にバッテリーを挿入



バッテリー充電 LED はそれぞれ、各スロットのバッテリー充電状態を示します。予備バッテリーの充電インジケータの説明については、[171 ページの表 14](#)を参照してください。

≥15.48ワット時 (一般) / ≥4,150 mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。

### 充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。バッテリー充電器は、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には LED が点灯します。

## 高耐久性ブーツ

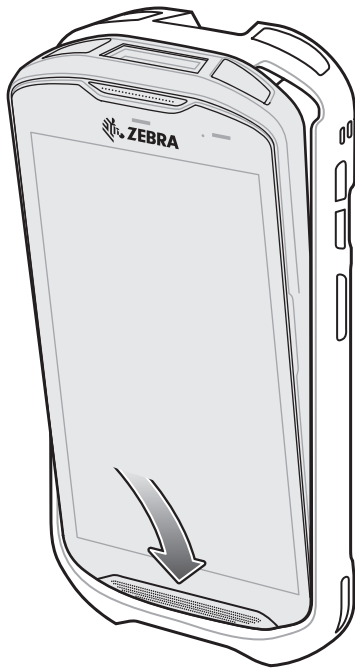
高耐久性ブーツは、デバイスの保護を強化します。

### 取り付け

高耐久性ブーツを取り付けるには、次の手順に従います。

1. デバイスの下部をブーツの下部に挿入します。

図144 デバイスをブーツに挿入



2. 高耐久性ブーツの上部をデバイスの上部に持ち上げてかぶせます。

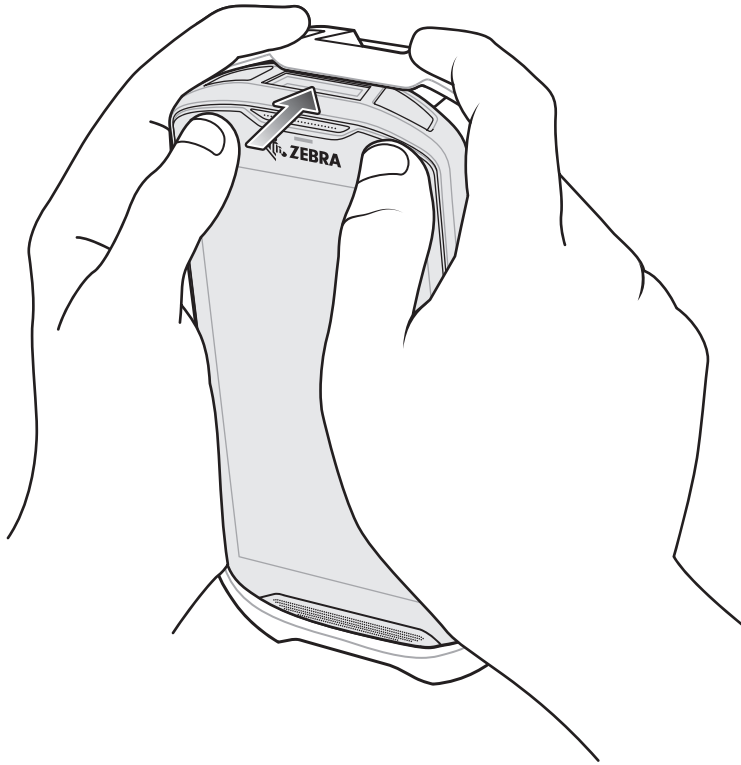
図145 ブーツをデバイスの上まで持ち上げる



3. デバイスを高耐久性ブーツに押し込みます。



図 146 デバイスをブーツに押し込む



## スタイラスペンの取り付け

オプションのスタイラスペンを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ストラップの端のループの 1 つをスタイラスペンの穴に通します。
2. ストラップをループに通します。
3. ループが締まるまでストラップを引きます。
4. ハンドストラップホルダーにループを挿入します。
5. スタイラスペンをループに通します。

図 147 スタイラスペンにストラップを取り付ける

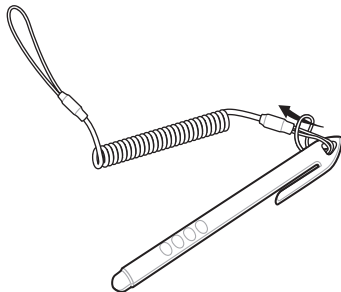
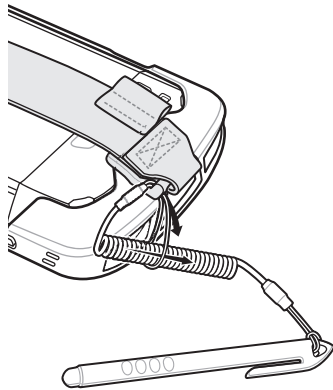


図148 ハンドストラップにスタイラスペンを取り付ける

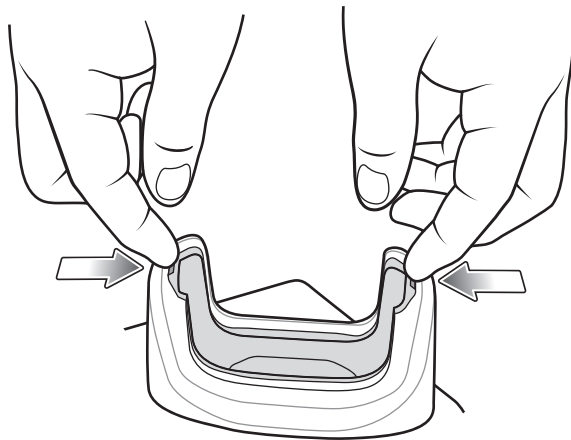


## クレードルで充電する

高耐久性ブーツを装着しているデバイスをクレードル カップに挿入する場合は、まず、カップから挿入物を取り外します。

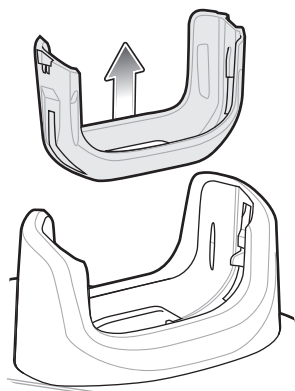
1. 両手の人差し指を使用して、挿入物をカップの中心に向かって押します。

図149 中心に向かって挿入物を押す



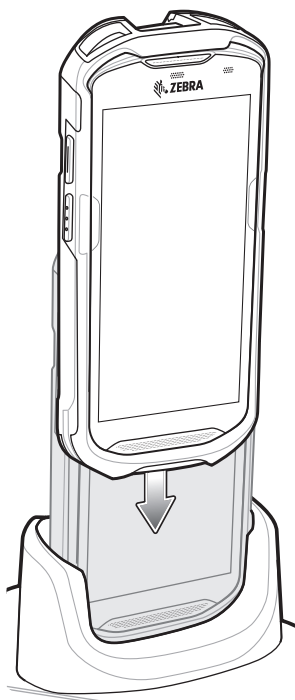
2. 挿入物をカップから持ち上げます。

図 150 挿入物をカップから持ち上げる



3. クレードルにデバイスを装着します。

図 151 ブーツを装着しているデバイスをクレードル カップに装着する



## 2.5 mm オーディオ アダプタ

2.5 mm オーディオ アダプタを TC56 に差し込み、3.5 mm プラグの有線ヘッドセットと接続します。

ヘッドセットを接続するには、次の手順に従います。

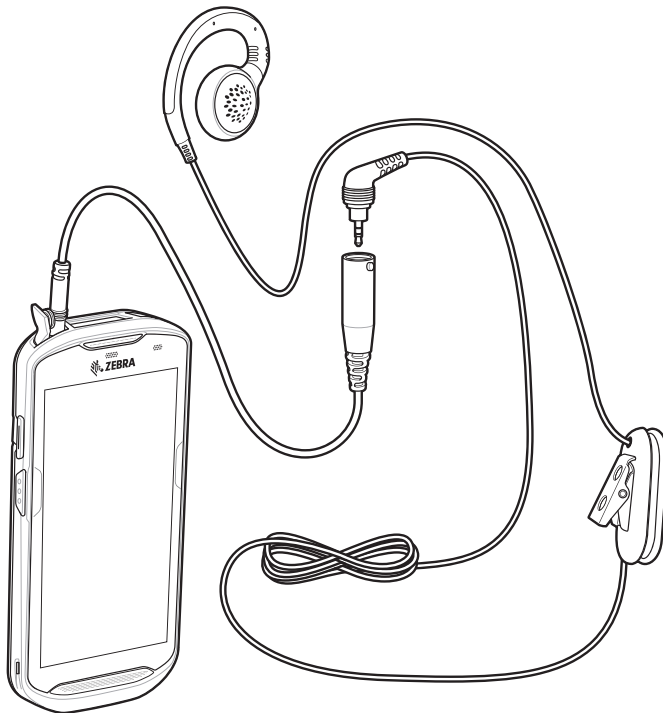
1. ヘッドセットのジャック カバーを開きます。
2. 2.5 mm オーディオ アダプタ プラグをヘッドセット ジャックに差し込みます。

図 152 オーディオ アダプタの取り付け



3. 2.5 mm ヘッドセットのプラグをオーディオ アダプタのジャックに差し込みます。

図 153 ヘッドセットをオーディオ アダプタに接続する



注意: ヘッドセットを取り外した後は、ヘッドセットのジャック カバーをしっかりと元に戻し、適切な密閉状態を確保してください。

## 3.5 mm オーディオ アダプタ

3.5 mm オーディオ アダプタを TC56 に差し込み、3.5 mm プラグの有線ヘッドセットと接続します。

3.5 mm ヘッドセットを接続するには、次の手順に従います。

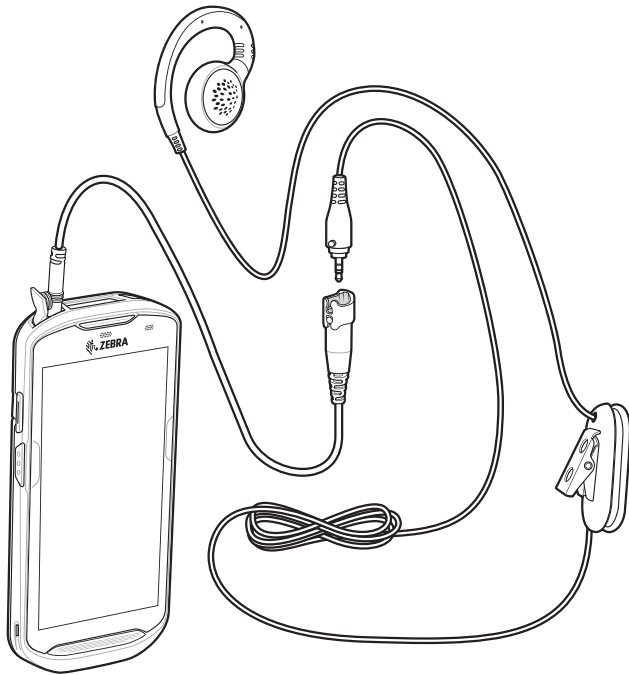
1. ヘッドセットのジャック カバーを開きます。
2. 3.5 mm オーディオ アダプタ プラグをヘッドセット ジャックに差し込みます。

図 154 オーディオ アダプタの取り付け



3. ヘッドセットの 3.5 mm コネクタ プラグを 3.5 mm オーディオ アダプタに接続します。

図 155 3.5 mm アダプタ ケーブルへのヘッドセットの接続

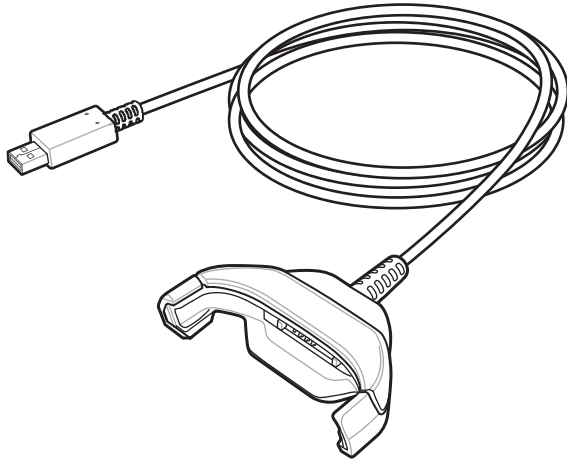


注意: ヘッドセットを取り外した後は、ヘッドセットのジャック カバーをしっかりと元に戻し、適切な密閉状態を確保してください。

## 高耐久性充電/USB ケーブル

高耐久性充電/USB ケーブルは TC56 の下部に取り付けます。使用しないときは簡単に取り外せます。TC56 に接続すると、充電、およびホスト コンピュータへのデータ転送が可能になります。

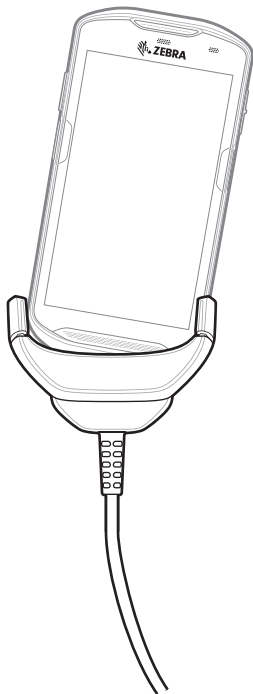
図 156 高耐久性充電/USB ケーブル



### TC56 への接続

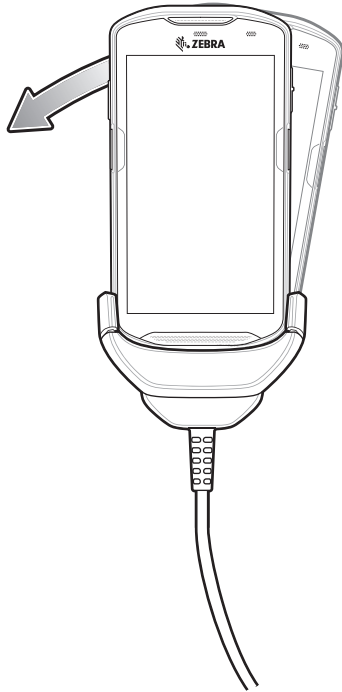
1. デバイスを斜めにして、ケーブル カップの下部に触れるまで挿入します。

図 157 デバイスをケーブル カップに挿入



2. デバイスを回転させるようにしてカップに挿入します。

図 158 デバイスを回転させるようにしてケーブル カップに挿入する

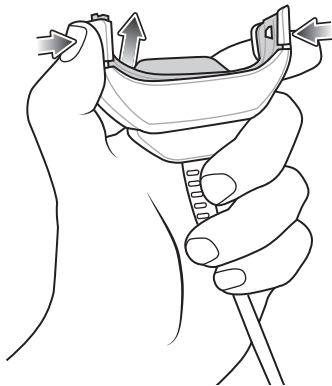


## 高耐久性ブーツを装着している TC56 への接続

高耐久性ブーツを装着している TC56 に高耐久性充電/USB ケーブルを接続するには、次の手順に従います。

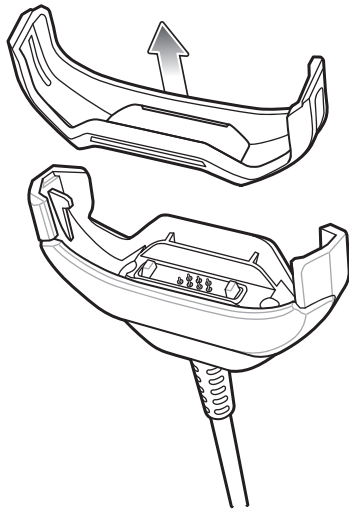
1. 親指と人差し指を使用して、カップの両端を内側に押します。

図 159 ケーブル カップの挿入物を取り外す



2. 挿入物をカップから持ち上げます。

図 160 ケーブルの接続



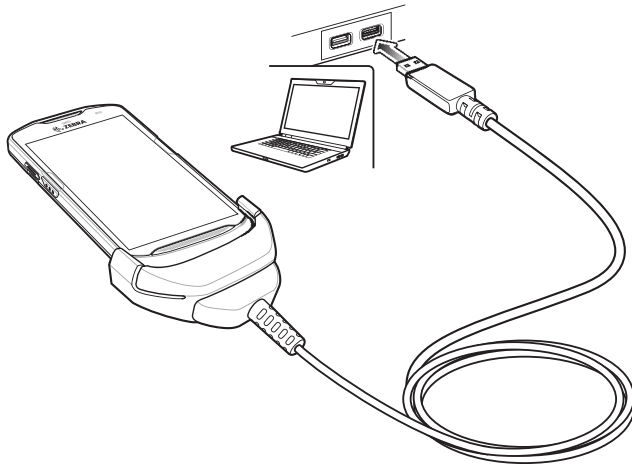
3. ケーブル カップをデバイスの下部の位置に合わせます。
4. デバイスをケーブル カップに押し込み、しっかりと固定します。

## USB 通信

デバイスをホスト コンピュータに接続するには、次の手順に従います。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続します。
2. ケーブルの USB コネクタをホスト コンピュータに接続します。

図 161 高耐久性充電/USB ケーブルをホスト コンピュータに接続



## デバイスの充電

高耐久性充電/USB ケーブルを使用してデバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続します。
2. 電源の USB コネクタを接続します。

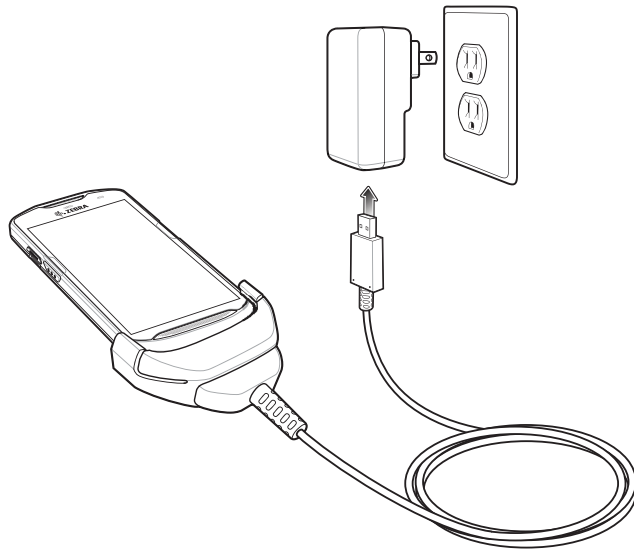




注: 電源の設定の詳細については、[197 ページの「電源」](#)を参照してください。

3. 電源を電源コンセントに差し込みます。

図 162 高耐久性充電/USB ケーブルを使用した充電

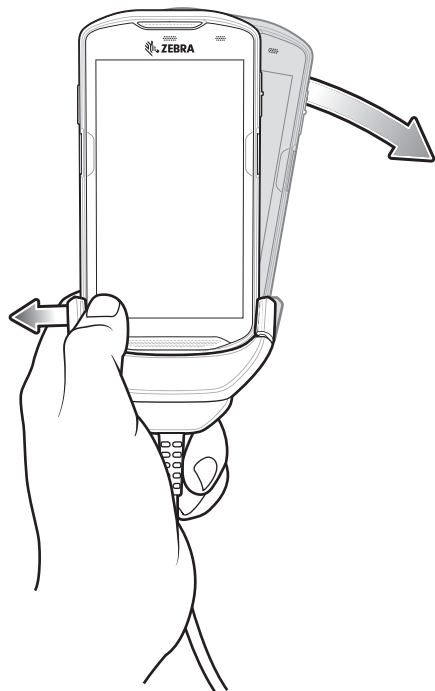


## 高耐久性充電/USB ケーブルの取り外し

高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 から取り外すには、次の手順に従います。

1. デバイスを片側に回転させます。

図 163 高耐久性充電/USB ケーブルからデバイスを取り外す



2. 高耐久性充電/USB ケーブルを反対側に押します。
3. 高耐久性充電/USB ケーブルからデバイスを取り外します。

## バッテリーの充電

### メイン バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。



注: ホスト コンピュータの USB ポートまたは Zebra PWR-WUA5V12W0xx 以外の電源を使用して充電すると、時間がかかることがあります。[161 ページの表 13](#)を参照してください。

Zebra 以外の電源を使用する場合は、DC 5V、2.5A の電力を供給する電源を使用してください。

$\geq 15.48$  ワット時 (一般) /  $\geq 4,150$  mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には LED が点灯します。

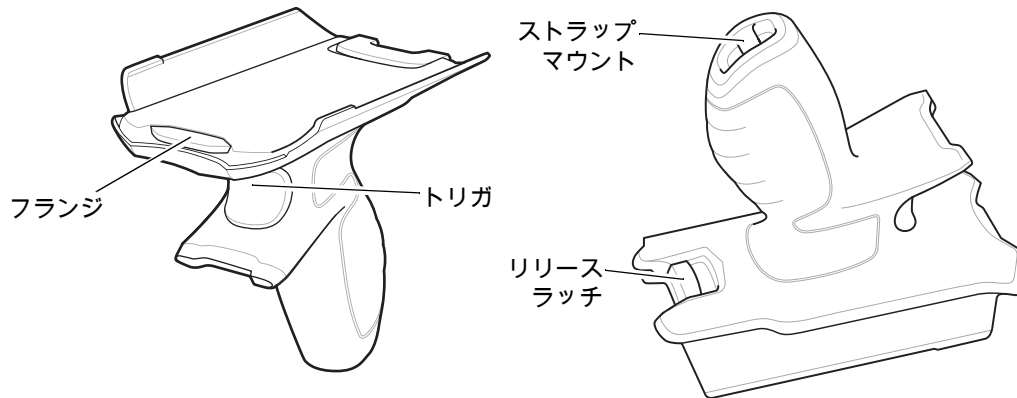
## トリガ ハンドル



注: トリガ ハンドルをデバイスに取り付けるには、高耐久性ブーツが必要です。トリガ ハンドル (p/n: TRG-TC56-SNP1-01) には高耐久性ブーツが含まれていないため、別途購入する必要があります。トリガ ハンドル キット (p/n: TRG-TC56-TRG1-01) には高耐久性ブーツが含まれています。

トリガ ハンドルを使用すると、スキャン トリガを備えたガン タイプのハンドルをデバイスに取り付けることができます。長時間にわたる大量のスキャンが必要な作業でデバイスを使用する場合に、ユーザーへの負担が軽減されます。

図 164 トリガ ハンドル



## 高耐久性ブーツの取り付け

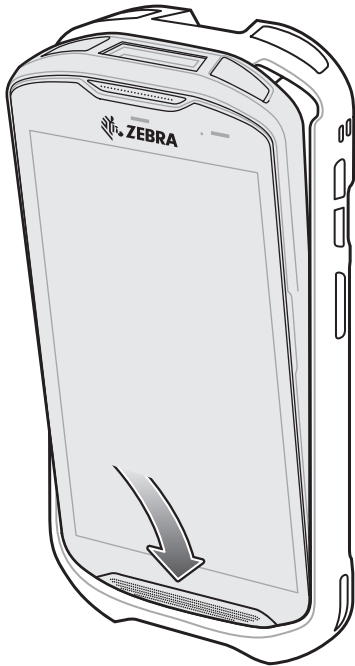


注: 高耐久性ブーツにハンドストラップを取り付けている場合は、ブーツ取り付けの前に外します。

高耐久性ブーツを取り付けるには、次の手順に従います。

1. デバイスの下部をブーツの下部に挿入します。

図 165 デバイスをブーツに挿入



2. 高耐久性ブーツの上部をデバイスの上部に持ち上げてかぶせます。

図 166 ブーツをデバイスの上まで持ち上げる



3. デバイスを高耐久性ブーツに押し込みます。

図 167 デバイスをブーツに押し込む

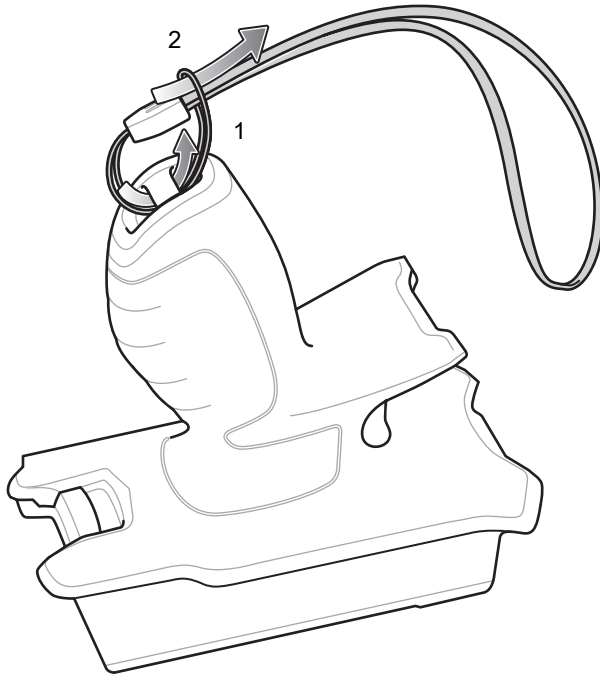


## オプションのストラップの取り付け

トリガ ハンドルにストラップを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ストラップの端のループをハンドルの下部にあるスロットに挿入します。
2. ストラップをループに通します。

図 168 アタッチメント プレートをハンドルに取り付ける



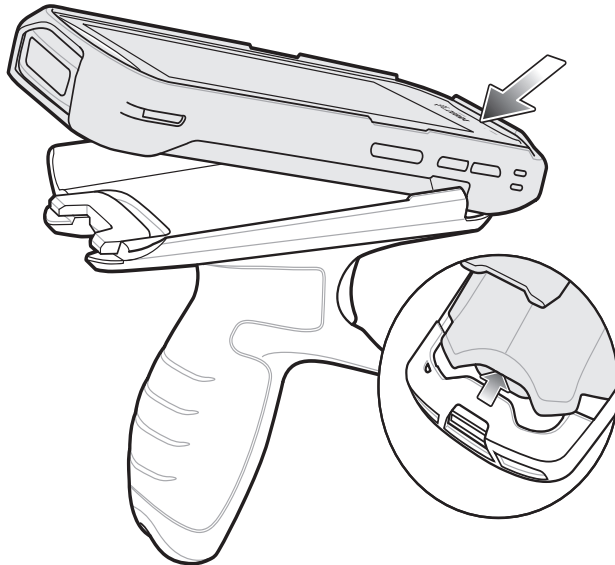
3. ループが締まるまでストラップを引きます。

## トリガ ハンドルへのデバイスのセット

トリガ ハンドルにデバイスを取り付けるには、次の手順に従います。

1. トリガ ハンドルのフランジを、高耐久性ブーツの上部の位置に合わせて挿入します。

図 169 トリガ ハンドルへのデバイスの取り付け



2. デバイスを回転させるようにして、所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。

図 170 デバイスをトリガ ハンドルから離しながら回転させる



## トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し

トリガ ハンドルからデバイスを取り外すには、次の手順に従います。

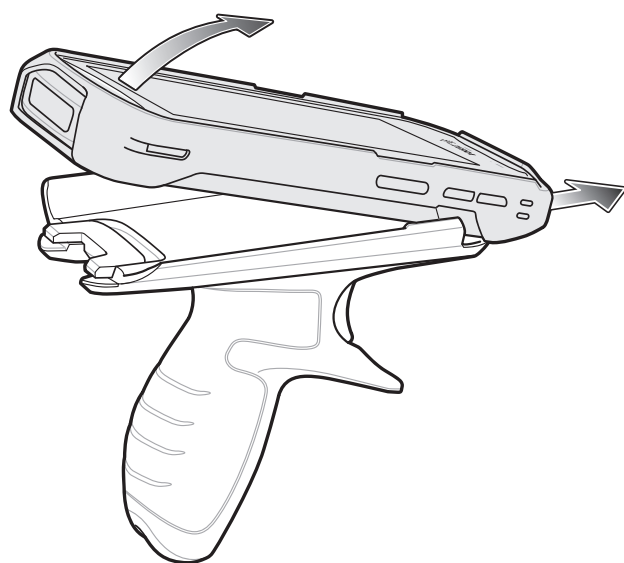
1. トリガ ハンドルのリリース ラッチを押します。

図 171 リリース ラッチを押す



2. デバイスを前方にスライドさせ、デバイスの下部を回転させるようにして持ち上げます。

図172 トリガ ハンドルからデバイスを取り外す



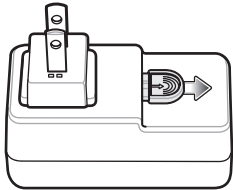


## 電源

高耐久性充電/USB ケーブル付きの電源を使用して、TC56 を充電します。海外でも使用できるように、さまざまな構成の電源があり、プラグ アダプタも複数用意されています。プラグ アダプタを変更するには、次の手順に従います。

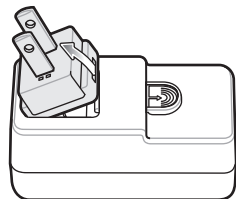
1. リリース ボタンを引き下げます。

図 173 リリース ボタンを引く



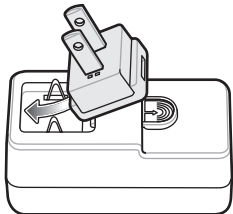
2. プラグ アダプタを回転させるようにして電源から持ち上げます。

図 174 プラグ アダプタを持ち上げる



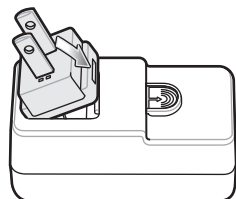
3. 交換するプラグ アダプタを電源に挿入します。

図 175 プラグ アダプタを挿入



4. プラグ アダプタを下に回転させるようにして所定の位置にはめ込みます。

図 176 プラグ アダプタを回転させるようにして電源に挿入する



# メンテナンスと トラブルシューティング

---

## はじめに

この章では、デバイスのクリーニングと保管方法、および操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

---

## TC56 の保守

トラブルを避けるため、TC56 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- TC56 のスクリーンに傷を付けないようにしてください。TC56 を操作する際は、タッチスクリーンでの使用を目的とした付属のスタイラスペン、または先端がプラスチックのペンをご使用ください。TC56 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- TC56 のタッチスクリーンはガラス製です。TC56 を落したり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- TC56 を極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所、濡れた場所での TC56 の保管や使用は避けてください。
- TC56 をクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。TC56 の画面が汚れた場合は、柔らかい布を薄めた窓ガラス用の洗剤で湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

## ディスプレイのベスト プラクティス

### 画像の残留

画像の残留は、静的な画像を長時間画面に表示した場合に発生することがあります。新しい画像を表示した後も、前の画像がかすかに表示されることがあります。画像の残留を避けるには、次の手順に従います。

- アイドル状態が数分間続いたときにディスプレイがオフになるように設定します。
- 背景画像を定期的に回転させます。
- デバイスを使用していないときには、ディスプレイをオフにします。
- 次の特性を持つスクリーン セーバーを使用します。
  - 背景色を黒に設定しているスクリーン セーバー
  - 小さな画像 (ディスプレイ サイズの約 2%) が移動しているスクリーン セーバー
  - 画面上で画像をランダムに移動させるスクリーン セーバー
  - 静的な画像を使用する場合は、スクリーン セーバーを有効にする

## バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質や薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、このガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を 0°C ~ +40°C (+32°F ~ +104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーや充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れなどの事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、グローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のものに接続することができます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件を満たす承認済みバッテリーであることを確認できるように、すべてのバッテリーにホログラムを付けています。この認証ホログラムが付いていることを確認していないバッテリーは取り付けないでください。
- バッテリーの分解、破砕、屈曲、変形、穴開け、寸断などを行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体に濡らすまたは漬ける、火、爆発物または他の危険物に投入するなどを行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータなどの熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。

- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーが破損したおそれがある場合は、カスタマー サポートに検査を依頼してください。

## クリーニング方法



**注意:** 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、グローバル カスタマー サポート センターに詳細をお問い合わせください。



**警告:** 製品が高温の油やその他の可燃性の液体に触れないようにしてください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従ってただちに製品をクリーニングしてください。

## 使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピルアルコール、漂白剤または次亜塩素酸ナトリウム<sup>1</sup>(下記の重要な注記を参照)、塩化アンモニウム、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。



**重要** ウェット ティッシュを使用して、液体が溜まらないようにしてください。

<sup>1</sup>次亜塩素酸ナトリウム (漂白剤) ベースの製品を使用するときは、必ず製造業者の推奨手順に従い、使用中は手袋を着用し、使用後はアルコールで湿らせた布または綿棒で残留分を除去して、デバイスを取り扱うときは長時間皮膚と接触しないようにしてください。

液状 (ウェット ティッシュを含む) の次亜塩素酸ナトリウムに暴露されると、この化学物質の強力な酸化性によりデバイスの金属面が酸化 (腐食) しやすくなります。あらゆる漂白剤ベースの製品が、デバイス、バッテリー、クレードルの金属の電気端子に接触しないようにしてください。このような消毒剤がデバイスの金属に触れた場合は、クリーニングの手順の後、アルコールで湿らせた布または綿棒でただちに除去することが重要です。

## 有害成分

化学薬品の中には、デバイスの樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要な場合があります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB- リゾフォルムがあります。

## クリーニング方法

デバイスに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまるように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

### クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、デバイスの筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用してデバイスを扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱ってください。デバイスを扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてからデバイスを扱うようにしてください。

### 必要なクリーニング材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュペーパー
- 綿棒
- イソプロピルアルコール
- 管つき圧縮空気の缶

### クリーニングの頻度

モバイルデバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。クリーニングは必要に応じた頻度で構いませんが、常に最適な画像をキャプチャできるように、カメラウィンドウの定期的なクリーニング、特に汚れや埃の多い環境で使用した後のクリーニングを推奨しています。

---

## TC56 のクリーニング

### 筐体

アルコール脱脂綿で、ボタンを含め筐体を拭きます。

### ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまるように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

### カメラと出力ウィンドウ

レンズ用ティッシュペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にカメラと出力ウィンドウを拭いてください。

---

## コネクタのクリーニング

コネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. モバイルコンピュータからメインバッテリーを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを3回以上繰り返します。

5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 4 ~ 6 を繰り返します。



注意: ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管を自分の顔に向けないように注意してください。

7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から 1.2cm (0.5 インチ) ほど離してください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

### クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの前面も、綿棒で拭く必要があります。



注意: ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管を自分の顔に向けないように注意してください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から 1.2cm ほど離してください。
6. 綿棒のコットンの屑をすべて取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

## トラブルシューティング

次の表は、発生する可能性がある典型的な問題と問題を解決するための対処方法を示します。

### TC56

表 16 TC56 のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
電源ボタンを押しても TC56 の電源がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	TC56 のバッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが正しく取り付けられていない。	バッテリーを正しく取り付けます。
	システムがクラッシュした。	リセットします。
電源ボタンを押しても、TC56 の電源がオンにならないが、LED が 2 つ点滅する。	データを維持できるレベルのバッテリー残量があるが、充電が必要。	TC56 のバッテリーを充電または交換します。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも TC56 が動作しない場合は、リセットします。
	バッテリーの充電中に TC56 をクレードルから取り外した。	TC56 をクレードルに差し込みます。24 ページの「 <a href="#">バッテリーの充電</a> 」を参照してください。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C (32°F) 未満になるか 40°C (104°F) を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	TC56 の電源がオンになっていない。	電源ボタンを押します。
ホスト コンピュータとのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、TC56 をクレードルから取り外したか、ホスト コンピュータから切断した。	TC56 をクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブル接続が間違っている。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールまたは設定が誤っている。	セットアップを実行します。
Wi-Fi でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Wi-Fi 無線がオンになっていない。	Wi-Fi 無線をオンにします。
	アクセス ポイントの範囲から外れている。	アクセス ポイントの近くに移動します。

表 16 TC56 のトラブルシューティング (続き)



問題	原因	対処方法
Bluetooth でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Bluetooth 無線がオンになっていない。	Bluetooth 無線をオンにします。
	別の Bluetooth デバイスの範囲から外れている。	もう一つのデバイスの 10m (32.8 フィート) 以内に移動します。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。
TC56 の電源が突然切れる。	TC56 が非アクティブになっている。	ディスプレイは使用しないまま一定時間が経過するとオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーを交換します。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	デバイスが反応しない。	デバイスをリセットします。
TC56 のメモリが満杯というメッセージが表示される。	TC56 に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホスト コンピュータに保存します (または SD カードを使用してメモリを追加します)。
	TC56 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが TC56 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。  >  [Apps] (アプリ) を選択します。使用していないアプリケーションを選択し、[UNINSTALL] (アンインストール) をタップします。



表 16 TC56 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
TC56 が読み取ったバーコードがデコードされない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	TC56 にスキャン アプリケーションをロードするか、DataWedge を有効にします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	出力ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	TC56 を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に TC56 がプログラムされていない。	スキャンするバーコードのタイプに対応するように、TC56 をプログラムします。EMDK または DataWedge アプリケーションを参照します。
	TC56 がビープ音を鳴らすようにプログラムされていない。	正しく読み取ったときに TC56 がビープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザー光線の放射が停止する場合は、バッテリー レベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、バッテリー残量が少ないことを TC56 が通知する前に、スキャナがシャットオフします。注: この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店またはグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
TC56 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m (32.8 フィート) 以内にデバイスを近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
TC56 のロックを解除できない。	ユーザーが正しくないパスワードを入力している。	ユーザーがパスワードの入力を 8 回間違えると、再試行する前にコードの入力が求められます。 パスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

# 技術仕様

## はじめに

以降のセクションでは、デバイスの技術仕様について説明します。

## TC56

表 17 TC56 技術仕様

項目	説明
物理特性	
寸法	高さ : 155 mm (6.1 インチ) 幅 : 75.5 mm (2.9 インチ) 奥行き : 18.6 mm (0.73 インチ)
重量 :	249g (8.8 オンス) (バッテリー搭載時)
ディスプレイ	5.0 インチ 高解像度 (1280 x 720)、非常に明るい画像で、屋外でも見ることができ、タッチ パネルに光学的に結合されている
タッチ パネル	スタイラスペンまたは指または手袋をはめた指先入力 (別売の導電性スタイラスペン) によるデュアル モード容量方式タッチ、Corning Gorilla Glass 4
バックライト	発光ダイオード (LED) バックライト
バッテリー	充電式リチウムイオン、Power Precision +、標準容量、 $\geq 15.48$ ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh、バッテリー サイクル回数を長くするためバッテリー テクノロジーを向上、バッテリー メトリックにバッテリー残量をリアルタイムに表示できるためバッテリー管理が容易、急速 充電 (最大 2.4 mA)
拡張スロット	ユーザーがアクセス可能な microSD に対応 (最大 32GB の SDHC および最大 128GB の SDXC)
SIM	1 nanoSIM スロット
接続インタフェース	USB (Universal Serial Bus) 2.0 High Speed (ホストとクライアント)
ネットワーク接続	WWAN、WLAN、WPAN (Bluetooth)
通知	可聴音、多色 LED、バイブ

表 17 TC56 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
キーパッド	画面キーパッドとエンタープライズ キーボード
音声およびオーディオ	2 個のマイクをサポート ( 雑音消去機能付き )、バイブレータ通知、スピーカ、Bluetooth 無線ヘッドセットに対応 / 高性能スピーカ フォン、PTT ヘッドセットに対応、セルラ回路切り替えボイス、HD Voice
ボタン	プログラム可能な戻るボタン、デュアル専用スキャン ボタン、専用プッシュトゥーク ボタン、音量上 / 下ボタン
性能特性	
CPU	Snapdragon 650 64 ビット Hexa-Core 1.8GHz ARM Cortex A72、電力の最適化
オペレーティング システム	Zebra のモビリティ拡張機能 (Mx) を搭載した Android 7.1.2 Nougat (AOSP および GMS オプションの両方にインストール済み)
メモリ	標準: 2GB RAM/16GB フラッシュ オプション: 4 GB RAM/32 GB フラッシュ
出力	USB: 5VDC @ 500mA ( 最大 )
ユーザー環境	
動作温度	-20°C ~ 50°C (-4°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
相対湿度	オペレーティング: 5 ~ 95% ( 結露なきこと )
耐落下衝撃性能	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F) を超える温度で、1.2m (4 フィート) の高さからコンクリートを覆うタイルに複数回落下しても動作可能 MIL-STD 810 G 適合の高耐久性ブーツを装着した状態で、1.8m (6 フィート) の高さから複数回落下しても動作可能
転倒	0.5m (1.6 フィート) の転倒を 500 回繰り返しても動作可能、IEC の耐転倒衝撃仕様に準拠および高水準達成
シーリング	IP67 および IP65 ( 該当する IEC シーリング加工仕様に適合 )
静電気放電 (ESD)	±15kVDC 大気放電、±10kVDC 直接放電、±10kVDC 間接放電
振動	4G PK サイン波 (5Hz ~ 2kHz)、0.04g2/Hz ランダム (20Hz ~ 2kHz)、試験時間は 1 軸あたり 60 分間で 3 軸実施
耐熱衝撃性	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) の急激な温度変化
インタラクティブ センサ テクノロジ (IST)	
モーション センサ	3 軸加速度計 (MEMS Gyro 搭載)
光センサ	ディスプレイ バックライトの明るさを自動調整
近接センサ	音声通話中にユーザーがハンドセットを頭に当てていることを自動的に検出し、ディスプレイ出力とタッチ入力を無効化

表 17 TC56 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
無線 LAN データ / 音声通信	
無線	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/d/h/i/k/r/w、Wi-Fi™ 準拠、IPv4、IPv6、1x1 SISO
サポートされるデータ速度	5GHz: 802.11a/n/ac - 最大 433.3Mbps 2.4GHz: 802.11b/g/n - 最大 72.2Mbps
動作チャンネル	チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz) チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825 MHz) チャンネル帯域幅: 20、40、80MHz 実際の動作チャンネル / 周波数は、各地域の規制および承認機関によって異なります
セキュリティと暗号化	WEP (40 または 104 ビット)、WPA/WPA2 Personal (TKIP および AES)、WPA/WPA2 Enterprise (TKIP および AES) — EAP-TTLS (PAP、MSCHAP、MSCHAPv2)、EAP-TLS、PEAPv0-MSCHAPv2、PEAPv1-EAP-GTC および LEAP 移動中のデータ: FIPS 140-2 レベル 1 保存データ: FIPS 140-2 レベル 1
認証	WFA (802.11n、802.11ac、WMM-AC、Voice Enterprise、WMM-PS)、Miracast、 WFA (Mobile AP / Personal Hotspot)
高速ローミング	PMKID キャッシュ、Cisco CCKM、802.11r、OKC
無線 WAN データおよび音声通信	
周波数帯	世界共通: LTE: 700,800/900/1800/2100/2600 (FDD 28、20、8、3、1、7)、 UMTS/HSPA/HSPA+: 850/900/AWS/1900/2100、 GSM/GPRS/EDGE: 850/900/1800/1900 南北アメリカ: LTE: 700/850/1900/AWS (FDD 13、12、17、5、2、4)、 UMTS/HSPA/HSPA+: 850、900、AWS、1900、2100、 GSM/GPRS/EDGE: 850/900/1800/1900、 CDMA: 850、1900 (BC0、BC1)
GPS	Integrated、Autonomous、Assisted GPS (A-GPS)、Navstar、GLONASS、BeiDou
無線 PAN データおよび音声通信	
Bluetooth[Bluetooth]	クラス 2、Bluetooth v4.1 (Bluetooth スマート テクノロジー)、Bluetooth 広帯域サポート HFPv1.6、Bluetooth v4.1 Low Energy (LE)
データ収集仕様	
2D イメージャ	LED 照準器付き SE4710 イメージャ (1D および 2D)
カメラ	背面 - 13MP オートフォーカス、f/2.4 絞り、背面カメラ フラッシュ LED は バランスがとれた白色光を生成し、タッチ モードに対応

表 17 TC56 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
Near Field Communications (NFC)	ISO 14443 タイプ A および B、F、FeliCa および ISO 15693 カード、P2P モードおよび UICC とホストを介したカード エミュレーション
2D イメージャ エンジン (SE4710) の仕様	
読み取り幅	水平 - 48.0° 垂直 - 36.7°
画像解像度	1280 ( 縦 ) x 960 ( 横 ) ピクセル
回転	360°
ピッチ	通常より ±60°
スキュー許容差	通常より ±60°
周辺光	直射日光: 10,000 フィート キャンドル (107,639 ルクス)
焦点範囲	読み取り部前面からの距離: 17.7cm (7.0 インチ)
レーザー照準波長	可視半導体レーザー (VLD): 655nm ± 10nm 中央点光電力: 0.6mW ( 通常 ) パターン角度: 48.0° 水平、38.0° 垂直
照明システム	LED: 温白色 LED パターン角度: 505 輝度で 80°

表 18 データ収集読み取り可能コード

項目	説明
1D バーコード	Code 128、EAN-8、EAN-13、GS1 DataBar Expanded、GS1 128、GS1 DataBar Coupon、UPCA、Interleaved 2 of 5、UPC Coupon Code
2D バーコード	PDF-417、QR Code

# 索引

## 数字

- 1 スロット USB/充電専用クレードル キット ..... 161
- 4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器キット付き) ..... 161
- 4 スロット バッテリー充電器キット ..... 162
- 5 スロット イーサネット クレードル キット ..... 161
- 5 スロット充電専用クレードル キット ..... 161

## A

- ActiveEdge タッチ ゾーン ..... 82

## B

- Bluetooth ..... 145, 155
  - PIN ..... 156
  - セキュリティ ..... 155
  - 電源の状態 ..... 156
  - プロファイル ..... 156
- Bluetooth 通話 ..... 78
- Bluetooth ヘッドセット ..... 67
- Bluetooth ヘッドセットの使用 ..... 67

## D

- DataWedge ..... 55, 144
- Datawedge のデモ ..... 115
- DC 電源コード ..... 164
- DWDEmo ..... 56

## E

- EAP ..... 152

## M

- microSD カード ..... 18, 27

## N

- Near Field Communication ..... 145
- Near Field Communications ..... 159
- NFC ..... 159
- NFC アンテナ ..... 17

## P

- PTT Express ..... 118
- PTT ボタン ..... 16

## R

- RS507 スキャニング ..... 136, 137
- RS6000 スキャニング ..... 135
- RxLogger ..... 122

## S

- SIM カード ..... 28

## T

- TTY ..... 81

## U

- USB ..... 65
- USB を使用したファイルの転送 ..... 65

## W

- WEP ..... 152
- Wi-Fi ネットワーク ..... 152
- WLAN ..... 145
- WLAN に接続 ..... 152
- WPA ..... 152

## あ

アプリケーション	54
アルバム	103, 110

## い

イーサネット接続	177
イメージ スキャン	131

## う

ウェイクアップ ソース	39
-------------	----

## お

オーディオ アダプタ	162
音声モード	67
音量の調節	68

## か

会議通話	75
カメラ	17, 57, 97
カメラの設定	99
画面	
ロック解除	59
画面の回転	33
画面のタイムアウト	34
画面のフォント サイズ	35
画面のロック解除	59
カレンダー	55

## き

機内モード	32
機能	16
ギャラリー	56, 102
緊急通話	67
近接センサ	17

## く

クリーニング	200
クリーニング方法	200
クレードル	
コネクタのクリーニング	202
クレードル マウント	161

## こ

構成	11
高耐久性充電/USB ケーブル	162
高耐久性ブーツ	162
コード	209

## さ

サービスに関する情報	13
サウンド設定	37
サウンド レコーダ	57, 117
サスペンド モード	64

## し

時刻の設定	33
自動転送	80
写真	97
写真の撮影	97
写真設定	99
写真転送	66
シリアル番号	12

## す

スキャン	131, 133
スキャン アプリケーション	115
スキャン ボタン	16
スタイラスペン	163
ステータス アイコン	42
スピーカ	16
スピーカ モード	67

## せ

セキュリティ	152
設定	57
ウェイクアップ ソース	39
カメラ	99
サウンド	37
タッチ パネル モード	35
通知 LED	36
ディスプレイ	33
ビデオ	101
フォント	35

## そ

ソフト ホルスタ	163
ソフト リセット	63

## た

ダイヤラの使用	69
ダウンロード	55
タッチスクリーン	50
タッチ モード	35

## ち

着信音	80
-----	----

## つ

通知アイコン ..... 44

## て

ディスプレイ  
  クリーニング ..... 201  
ディスプレイの設定 ..... 33  
低バッテリー通知 ..... 32  
適応型周波数ホッピング ..... 155  
データ収集 ..... 131  
デバイスのリセット ..... 63  
電源 ..... 163  
電子メール ..... 56  
電卓 ..... 55

## と

時計 ..... 55  
トラブルシューティング ..... 203  
トリガ ハンドル ..... 162  
トリガ ハンドル キット ..... 163

## は

発信先固定 ..... 80  
発信者 ID ..... 81  
発信制限 ..... 81  
バッテリー ..... 17, 162  
  管理 ..... 31  
  最適化 ..... 32  
  使用量の監視 ..... 31  
  低電力通知 ..... 32  
  マネージャ ..... 86  
バッテリー交換 ..... 25  
バッテリー使用量 ..... 31  
バッテリーの充電 ..... 24  
バッテリー マネージャ ..... 86  
ハード リセット ..... 63  
パノラマ ..... 98  
パノラマ写真 ..... 98  
パノラマ写真の撮影 ..... 98  
ハンズフリー イメージャ ..... 132  
ハンドストラップ ..... 163  
ハンドセット モード ..... 67

## ひ

光センサ ..... 16  
ピックアップ ..... 131  
日付の設定 ..... 33  
ビデオ ..... 97, 98  
ビデオの設定 ..... 101  
ビデオの録画 ..... 98

## ふ

ファイル転送 ..... 65  
ファイル ブラウザ ..... 56, 92  
フィードバック ..... 14  
フォント サイズ ..... 35  
フォント サイズの設定 ..... 35  
ブラウザ ..... 55

## へ

ヘッドセット ジャック ..... 17  
ヘッドセット モード ..... 67

## ほ

ボイスメールの設定 ..... 80  
ホーム画面 ..... 41  
ホーム画面回転 ..... 34

## む

無線ローカル エリア ネットワーク ..... 145

## も

モデル番号 ..... 12

## ゆ

有害成分 ..... 200  
有線ヘッドセット ..... 68  
有線ヘッドセットの使用 ..... 68  
指の使用 ..... 35

## り

リセット ..... 63

## れ

連絡先 ..... 55, 96

## わ

割込通話 ..... 81



